

ファクシミリ取扱説明書

FAX-360DL/360DW



お客様相談窓口

(コールセンター)

☎0120-161-170

<http://solutions.brother.co.jp>

ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。本製品の取り扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のお客様相談窓口(コールセンター)にお気軽にお申し付けください。なお、ご利用の際は、おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間

月曜日～金曜日：
午前9:00～午後8:00

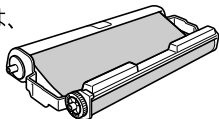
土曜日：
午前9:00～午後5:00

営業日

月曜日～土曜日

(日・祝日および当社(ブラザー販売(株))
休日は休みとさせていただきます。)

「リボンカートリッジ(PC-551)」は「当社指定品」をお使いください。当社指定以外のリボンカートリッジをお使いいただくと、故障の原因になります。(詳しくは、76ページをご覧ください。)



本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようになっています。

1章 準備する



2章 ご使用の前に



3章 電話



4章 ファクス



5章 コピー



6章 留守番機能



7章 ナンバー・ディスプレイ



8章 活用する



9章 こんなときには



10章 付録



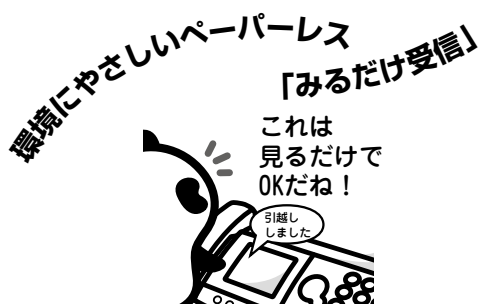
特 長



※ FAX-360DWをお使いの場合や、子機を増設している時のみ(35ページ)

FAX-360DW をお使いの場合や、子機を増設しているときは、子機同士で通話ができます。「子機と子機で話す」(P.35 ページ)

子機の電話帳には電話番号が最大 100 件まで登録できます。(P.37 ページ) また、バックライト付の明るい液晶部分を見ながら簡単に検索することができます。(P.30 ページ)



ファクスが届いたらディスプレイで確認できます。印刷することもできますが、見るだけで済ませることもできるので紙とリボンのむだになりません。「受信したファクスをディスプレイで見る(みるだけ受信)・印刷する」(P.45 ページ)



約 6 × 8cm の液晶ディスプレイで操作の状況や、次に何をするのかがわかりやすく表示されます。「ディスプレイ」(P.17 ページ)

電話帳表示では、お好みに合わせて大・中・小の文字サイズが選べます。「ディスプレイの文字サイズ」(P.18 ページ) 通信結果や、リボンの残量などもピクト(絵文字)でわかりやすくお知らせされます。

NTTの「ネーム・ディスプレイ」に対応
(親機のみ)



電話をかけてきた相手の電話番号だけでなく、名前も表示されるサービス「ネーム・ディスプレイ」に対応しています。「ネーム・ディスプレイ」を利用する(親機)」(P.62 ページ)

※「ナンバー・ディスプレイ」のご契約と、「ネーム・ディスプレイ」のご契約が必要です。(有料)

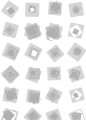
※相手の名前を本機の電話帳に登録していなくても表示されます。

※子機は対応していません。

バリエーション豊富
4和音着信・着信ボイス



親機に 32 曲・18 ボイス、子機に 6 曲の着信メロディがセットされています。「着信音の設定」(P.65 ページ)



目 次

特 長	
目 次	1
安全にお使いいただくために	3

第1章 準備する

親機を準備する	9
接続する	9
ケータイ通話お得サービスを利用する	9
自動で回線種別を設定する	10
手動で回線種別を設定する	10
記録紙をセットする	11
子機を準備する	12
充電する	12
他の機器を接続して使う	13
電話回線にパソコンも接続する	13
接続に関する制限事項を確かめる	14

第2章 ご使用の前に

各部の名称とはたらき（親機）	15
外観図	15
操作パネル	16
ディスプレイ	17
ディスプレイと操作のしかた	17
ディスプレイの文字サイズ	18
各部の名称とはたらき（子機）	19
外観図	19
ディスプレイ	19
操作パネル	20
初期設定をする	21
現在の日付・時刻を設定する	21
名前とファクス番号を登録する（発信元登録）	22

第3章 電 話

電話やファクスの受けかた	23
電話・ファクスの受けかたを変更する	24
呼出回数設定	25
再呼び出し設定	26
ケータイ通話お得サービスを利用する	27
ケータイ通話お得サービスとは	27
NTT コミュニケーションズの	
0033 モバイルサービスのご案内	27
ケータイ通話お得サービスを設定する	28
事業者識別番号を変更する	28
電話をかける／受ける	29
電話をかける	29
電話を受ける	29
いろいろな電話のかけかた	30
通話のときは	31
いろいろな通話のしかた	31
電話を取り次ぐ	32
内線で話す	34
親機と子機で話す	34
子機と子機で話す	35
3人で同時に話す（三者通話）	36

電話帳に登録する	37
電話帳の登録	37
履歴からの登録／電話帳の変更・削除	39

第4章 ファクス

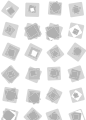
ファクスを送る	40
原稿のセットのしかた	40
ファクスを送る（自動送信）	40
話をしてから送る（手動送信）	40
いろいろなファクスの送りかた	41
送付書送信	42
コメントを登録する	43
ファクスを受ける	44
自動的に受ける（自動受信）	44
子機で受ける	44
電話に出てから受ける（手動受信）	44
受信したファクスをディスプレイで見る	
（みただけ受信）・印刷する	45
いろいろなファクスの受けかた	46

第5章 コピー

コピーする	47
コピーのしかた	47
原稿に合わせて濃度や画質を調整する	48
濃度の調整	48
画質の調整	48
原稿・記録紙について	49
原稿のサイズと紙厚	49
原稿の読み取り範囲	49
使用できない原稿	49
記録紙について	49

第6章 留守番機能

留守番機能を利用する	50
出かけるとき	50
帰ってきたとき	51
メッセージを設定する	52
応答メッセージの設定	52
留守応答メッセージの選択	53
メッセージの録音時間の設定	53
留守録モニターの設定	53
外出中の便利な使いかた	54
暗証番号の設定	54
暗証番号の消去	54
リモコンアクセス	54
留守録転送	56
ファクス転送	57



目次

第7章 ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する	58
ナンバー・ディスプレイとは	58
ナンバー・ディスプレイを設定する	59
キャッチホン・ディスプレイを利用する	59
着信鳴り分けを設定する	60
電話帳に登録した電話番号ごとに着信音を 鳴り分ける〔親機〕	60
電話帳に登録している相手からの着信音を 鳴り分ける〔子機〕	60
いろいろなナンバー・ディスプレイの利用のしかた （親機）	61
ネーム・ディスプレイを利用する（親機）	62
履歴を利用する	63
着信履歴を利用する	63
発信履歴を利用する	64

第8章 活用する

着信音と保留音を設定する	65
着信音の設定	65
保留音の設定（親機）	66
音量を設定する	68
モーニングアラームを設定する（親機）	69
モーニングアラームの設定	69
レポート、リストを印刷する	70
通信管理レポート	70
いろいろなレポート、リストの印刷のしかた	71

第9章 こんなときは

お手入れのしかた	72
本機を清掃する	72
原稿読取部を清掃する	72
記録部を清掃する	73
紙がつまったら	74
原稿がつまったときは	74
記録紙がつまったときは	75
リボンがなくなったら	76
リボンカートリッジを交換する	76
子機のバッテリーを交換する	78
エラーメッセージが表示されたら（親機）	79
エラーメッセージが表示されたら（子機）	82
故障かな？と思ったら	83
停電になったとき	91
通話がうまくいかないときは	92
通話や子機の使用に影響を及ぼす 可能性のある環境	92
特別設定について	93
特別回線対応	93
通話音質調整	93
安心通信モード	94
ダイヤルトーン設定	94
子機通信チャンネル（親機）	94
通話パワー（子機）	95
子機増設モード	95

第10章 付録

文字の入れかた（親機）	96
入力できる文字と入力制限	96
入力画面とボタン操作	97
入力例	97
文字の入れかた（子機）	98
入力できる文字と入力制限	98
入力画面とボタン操作	99
入力例	99
ユーザー辞書に登録する（親機）	100
機能一覧（親機）	101
機能一覧（子機）	104
初期状態に戻す（親機）	105
個人情報を消去する	105
機能設定をもとに戻す	106
親機を強制リセットする （修理を依頼される前に）	106
主な仕様	107
親機	107
子機	107
消耗品などのご注文について	108
リモコンアクセスカード	109
索引	111

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この「安全にお使いいただくために」では、お客様や第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

表示と記号の意味は次のようになっています。いつも快適な状態で安全にお使いいただけるよう、内容をよくご理解いただいてから、本製品をご使用ください。



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される内容を示します。



記号は「してはいけないこと（禁止）」を意味しています。図中のイラストは、具体的な禁止内容を示しています。（左の例は分解禁止を意味しています。）



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。



「してはいけないこと」を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。



「さわってはいけないこと」を示しています。



●

記号は「しなければいけないこと（指示）」を意味しています。図中のイラストは、具体的な指示内容を示しています。（左の例はプラグをコンセントから抜くことを意味しています。）



「分解してはいけないこと」を示しています。



!

「しなければいけないこと」を示しています。



「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。



!

「電源プラグを抜くこと」を示しています。



「水ぬれ禁止」を示しています。



!

「アース線を接続すること」を示しています。

■ 本書の記載について

お願い	誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。
メモ	本製品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。
注意	本製品を取り扱う上での注意事項を示しています。

〈お客様へのお願い〉

- 本製品は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく、クラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口（コールセンター）：☎0120-161-170」までご連絡ください。
- お客様や第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。
- 電話帳に登録した内容、メモリーに受信したファクスなどで重要な情報は、必ず印刷して保管してください。「電話帳リストを印刷する」（☞71 ページ）、「受信したファクスをディスプレイで見る（みるだけ受信）・印刷する」（☞45 ページ）
本製品は、静電気・電氣的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリーに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本製品のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 取扱説明書など、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ「消耗品などのご注文について」（☞108 ページ）へご注文ください。

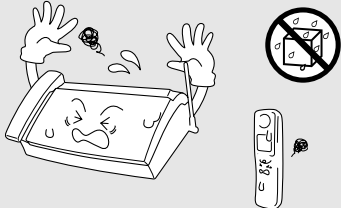
安全にお使いいただくために

■ 設置、配線についてのご注意

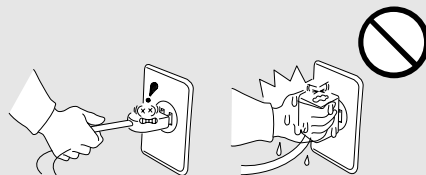


警告

- 水のかかる場所（風呂場や加湿器のそばなど）や湿度の高い場所には設置しないでください。漏電による感電、火災の原因となります。



- 電源コードやACアダプタを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コンセントから抜くときは、必ず電源プラグまたはACアダプタの本体を持って抜いてください。ぬれた手で電源コードやACアダプタを抜き差ししないでください。感電ややけどの原因となります。



- バッテリーは必ず専用のものをお使いください。
- バッテリーを指定以外の機器に使用しないでください。
- 専用の充電器、ACアダプタを使用してください。



- 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。



- いちじろしく低温な場所、急激に温度が変化する場所には設置しないでください。装置内部が結露するおそれがあります。



- 電源はAC100V 50Hz、または60Hzでご使用ください。それ以外の電源電圧でご使用になると、火災や感電、故障の原因となります。
- 国内のみでご使用ください。電波法上、海外ではご使用にできません。



- 万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。



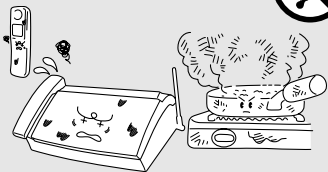
・アース線を取り付けられるところ

電源コンセントのアース端子
銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
接地工事（D種）が行われている接地端子

・アース線を取り付けてはいけないところ

ガス管
電話専用アース
避雷針
水道管や蛇口

- 火気や熱器具、揮発性可燃物やカーテンに近い場所に設置しないでください。火災や感電、故障の原因となります。



- たこ足配線はしないでください。
- 電源コードやACアダプタを破損するようなことはしないでください。下記をしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

- ・加工する
- ・無理に曲げる
- ・高温部に近づける
- ・引っ張る
- ・ねじる
- ・たばねる
- ・重いものをのせる
- ・挟み込む
- ・金属部にかける
- ・折り曲げを繰り返す

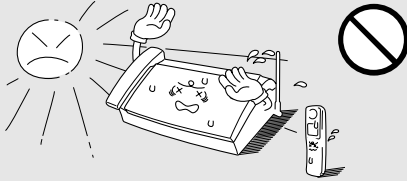




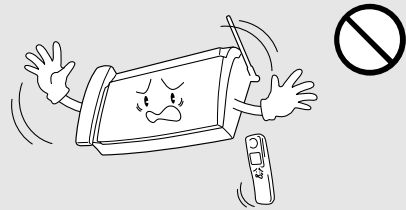
⚠ 注意

以下の場所には設置しないでください。故障や変形の原因となります。

- 直射日光のあたるところや暖房設備のそばなど、温度の高い場所



- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所

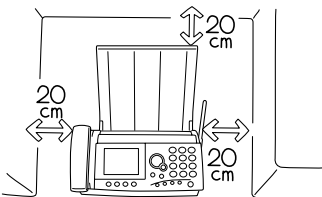


- 本製品には電源スイッチがついていませんので、電源コードや AC アダプタは抜きやすい場所にあるコンセントに確実に差し込んでください。
雷が降り始めたら安全のために電源コードや AC アダプタをコンセントから抜き、電話機コードを本製品から抜いてください。



お願い

- 本製品をお使いいただける環境は次のとおりです。
温度：5～35℃
湿度：45～80%
- 本製品を正しく使用し性能を維持するために、設置スペースを確保してください。



● 電波障害時の対処

本製品の近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したりする場合があります。本製品の電源コードをコンセントからいったん抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試してください。

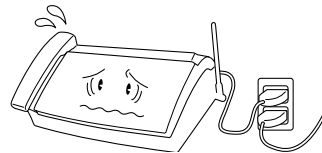
- ・本製品をテレビなどから遠ざける。
- ・本製品、またはテレビなどの向きを変える。

- 以下のような場所には設置しないでください。故障や変形の原因となります。

- ・テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど、磁気が発生する場所
- ・エアコン、換気口など、風が直接あたる場所
- ・ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
- ・換気の悪い場所

- 電源コンセントの共用にはご注意ください。

コピー機などの高電圧機器や携帯電話の充電器と同じ電源は避けてください。



安全にお使いいただくために

■ 使用するときのご注意

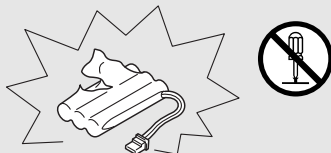
⚠ 危険

バッテリーについて

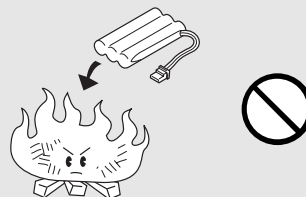
- 液漏れしたときは、液が皮膚や衣服に付着したり、目に入らないようにしてください。液が目に入ると、失明のおそれがあります。もし目に入ったら、こすらずにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



- 分解、改造をしないでください。
- バッテリー端子をショートさせないでください。やけどをする可能性があります。
- コードの被覆やビニールカバーをはがしたり、傷をつけたりしないでください。



- バッテリーを加熱したり、火中に投げ込まないでください。



- バッテリーを子機から取り出して充電しないでください。
- 温度の高いところでは充電しないでください。
- 金属製品と一緒に保管しないでください。
- バッテリーの極性（赤／黒）を間違えないように入れてください。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。



⚠ 警告

以下のように使用すると故障や火災、感電の原因となります。

- 分解、改造をしないでください。（法律で罰せられることがあります。）修理などはコールセンターにご相談ください。



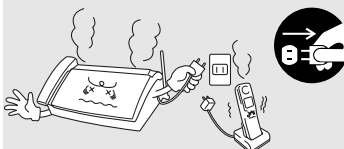
- 火気を近づけないでください。



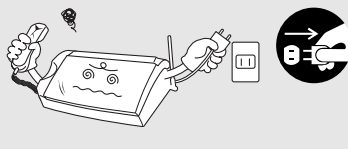
- 充電端子を金属でショートさせたり、金属の異物を入れないでください。



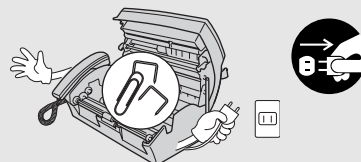
- 煙が出たり、変なにおいがしたときは、すぐに電源コードや AC アダプタをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



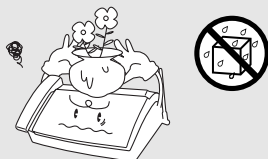
- 本製品を落としたり、破損したときは、電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



- 異物が入ったときは、電源コードやバッテリーを外して、コールセンターにご相談ください。



- 本製品に水や薬品、ペットの尿などの液体が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。万一、液体が入ったときは、電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



- 差し込み部のホコリなどは定期的にとってください。電源コードをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

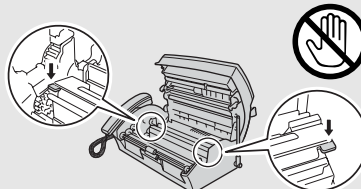


- 電源プラグや AC アダプタは根元まで確実に差し込んでください。傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。



けがをするおそれがあります。

- さわらないでください。



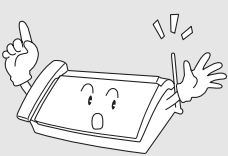
- 次のような場所で設置・使用しないでください
本製品の電波で、誤動作による事故の原因になることがあります。
■ 医用電気機器に近い場所（手術室・集中治療室・CCU*など）※ CCU：冠動脈疾患監視病室
■ 自動ドア・火災報知器などの自動制御機器に近い場所
■ 心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以内の位置



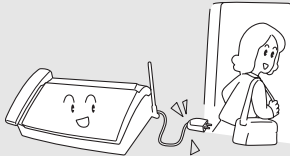


⚠ 注意

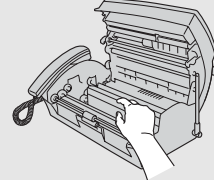
- 本製品を移動するときは、アンテナを手前に倒してください。誤ってアンテナが目にあたっ、けがや事故の原因となることがあります。



- 長期間不在にするときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。



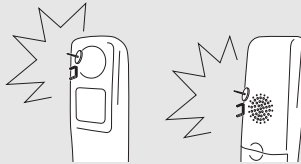
- 記録ヘッドは発熱している場合があります。手が直接記録ヘッドにさわらないようにしてください。また、カバーを閉めるときに指などをはさまないように注意してください。



- 子機を壁掛けにするときは、落下のおそれがあり、けがの原因となる場合がありますので、確実に取り付け・設置してください。
(☞ かんたん設置ガイド)



- 子機のスピーカーには磁石が使われています。金属片などを吸いつける可能性がありますので、金属片(ホチキスの針、がびょう、針など)がついていたら取り除いてご使用ください。



お願い

- 落下、衝撃を与えないでください。
- 本製品のディスプレイを持って移動させたり、引っ張ったりしないでください。
- 正常動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。
- 本製品の上に重いものを置かないでください。
- 指定以外の部品は使用しないでください。
- 原稿排出の妨げになりますので、本製品前方には物を置かないでください。
- 海外通信をご利用の際、回線の状況によっては正常な通信ができないことがあります。
- ご利用の電話会社の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りのご利用されている電話会社の支店・営業所へご相談ください。
- 本製品に貼られているラベル類ははがさないでください。
- 雑音が入るときは、アース線を取り付けてください。
- バッテリーをはじめて使用する際に、さびや発熱、その他異常と思われることがあったときは、使用しないでお買い上げの販売店に持参してください。

■ 電波について

- 本製品は、2.40GHz ~ 2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です

移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、干渉距離は80 m です。

本製品には、それを示す右記のマークが貼付されています。

2.4 FH8

- 本製品の使用周波数に関わるご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

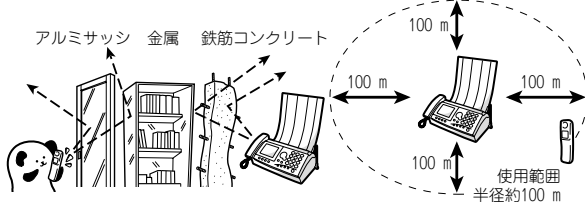
1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、混信回避のため設置場所を変えるなどして互いに干渉が起きないようにしてください。

安全にお使いいただくために

■ 子機の設置、使用環境について

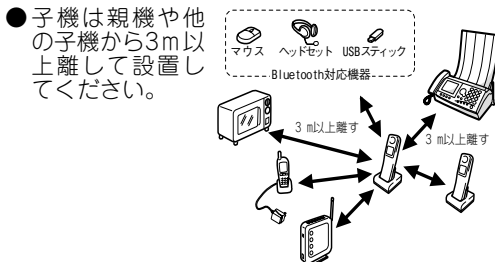
● 子機の設置場所を確かめる

- 親機から障害物のない直線距離で約 100 m 以内のところでお使いください。マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や金属製の扉・家具の近くなど、周辺的环境によっては電波の届く範囲が狭くなる場合があります。
※ 親機と子機の周りで内線通話をして、通話ができる範囲をお確かめください。



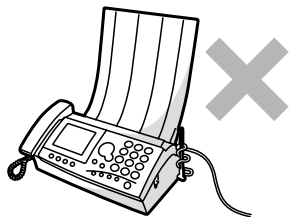
- 本製品に他社の子機を増設することはできません。

- 親機、子機を電気製品（電子レンジ、無線 LAN 機器、Bluetooth™ 対応機器、携帯電話や PHS の充電器や AC アダプタ、OA 機器など）やセキュリティシステム、他の電話機および装置から 3 m 以上離して設置してください。



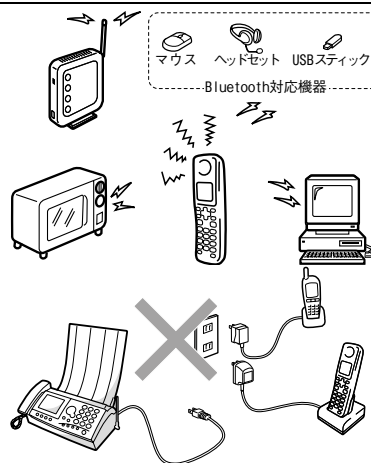
● 通話が途切れたり、雑音が入る場合について

- 電源コード、電話機コード、AC アダプタコードを、アンテナに巻きつけたり引っ掛けたりすると、子機の着信音が鳴らなかったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。



- 以下のような場合は雑音が入ることがあります。

- ・電気製品（電子レンジ、OA 機器、携帯電話や PHS の充電器や AC アダプタなど）の近くに設置しているとき
- ・無線 LAN 機器、携帯電話、PHS などの AC アダプタを親機の電源コードや子機用の AC アダプタと同じコンセントに接続しているとき



- 移動しながら子機を使用しているときは、使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。

- ご近所、同じマンション内で別のコードレス電話機を使用しているときは、雑音が入ることがあります。一時的に親機をご使用ください。

- 受話口や送話口（マイク）を手でふさぐと、相手の声が聞こえにくくなったり、自分の声が相手に聞こえにくくなります。



● 他の機器の動作や性能への影響について

- その他、下記の機器でも 2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。なるべく、設置場所や使用場所を離してください。

- ・ 火災報知器
- ・ 工場や倉庫などの物流管理システム
- ・ マイクロ波治療器
- ・ 自動ドア
- ・ 自動制御機器
- ・ アマチュア無線局
- ・ ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- ・ 無線 LAN 機器
- ・ 鉄道車両や緊急車両の識別システム
- ・ ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- ・ 万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
- ・ その他、Bluetooth™ 対応機器や VICS（道路交通網システム）など

● 故障ではありません

- 電波を使用しているため、電話がかかってくると親機または子機の着信音が少し遅れて鳴ることがあります。これは故障ではありません。そのままお使いください。

● “傍受” にご注意ください

- 本製品は、デジタル信号を利用した傍受されにくい製品ですが、コードレス子機を使っている通話は電波を使っているため、第三者が故意または偶然に受信することもあります。大切な通話は、親機のご使用をおすすめします。

“傍受” とは

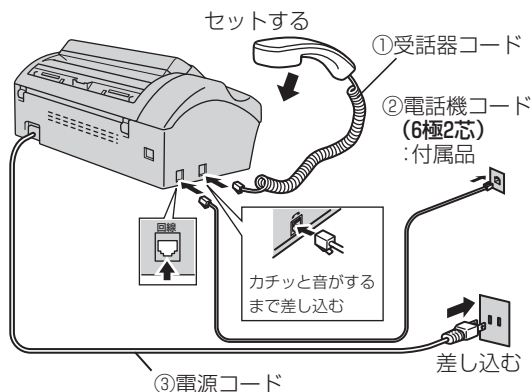
無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

親機を準備する

接続する

電源を入れる前に、①受話器コード、②電話機コード、最後に③電源コードの順に接続します。

ご使用のパソコンにPHONE端子またはTEL端子がある場合は一つの電話回線でパソコンと本機の両方を接続してお使いいただけます。他の機器に接続して使用する場合は、「他の機器を接続して使う」(P.13ページ)を参照してください。



1 受話器コードを接続する

2 電話機コードを接続する

必ず受話器を親機にセットしてください。

3 電源コードを接続する

電源コードを接続すると、ケータイ通話お得サービスを設定する画面が表示されます。(接続の順番を間違えると、設定が正しく行われなことがあります。)

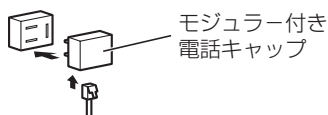
注意

- 電話機コードと電源コードと一緒に束ねないでください。
- 電源コードを接続するときは、携帯電話の充電器などと同じ電源からとらないでください。通話時に雑音が入ることがあります。

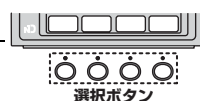
メモ

電話コンセントがモジュラー式ではないときは

- 3ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。



- 直接配線式の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。

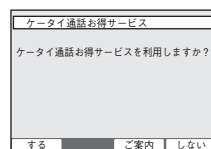


を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

ケータイ通話お得サービスを利用する

「接続する」の手順のあと、ケータイ通話お得サービスの利用を設定する画面が表示されます。

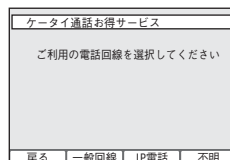
1 するを押す



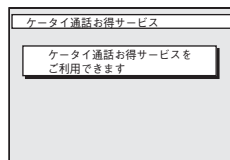
メモ

ケータイ通話お得サービスを利用しない場合は、**しない** または **○** を押してください。

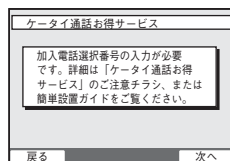
2 本機の電話回線を選ぶ



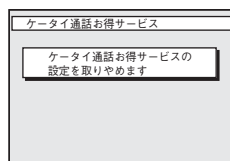
- ・「一般回線」の場合は **一般回線** を押します。ケータイ通話お得サービスをご利用できます。



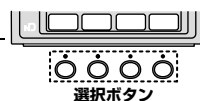
- ・「IP電話サービス」の場合は **IP電話** を押します。加入電話選択番号 (IP電話解除番号) の設定が必要です。(P.28ページ)



- ・電話回線がわからない場合は **不明** を押します。ケータイ通話お得サービスをご利用できません。



親機を準備する



○を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

自動で回線種別を設定する

ケータイ通話お得サービスを設定すると、回線種別（ダイヤル回線またはプッシュ回線）の自動設定が始まります。ただし、利用している回線種別がダイヤル回線10PPSのときは自動設定できないため、手動で設定してください。「手動で回線種別を設定する」(※10ページ)

チェック中

回線チェック中です

「電話機コードを接続してください」と表示されたときは、電話機コードを接続し直してください。正しく接続されていないと回線種別を判別できません。



プッシュまたはダイヤル回線20PPSのどちらかに判別されます

チェック終了

プッシュ回線です

- 回線種別の自動設定が終了すると回線の種別が表示され、日付・時計表示に切り替わります。
- 回線種別の自動設定終了後、「177」(天気予報)につながることをご確認ください。(通話料金がかります) つながらないときは、手動で回線種別を設定してください。「手動で回線種別を設定する」(※10ページ)
- 電話回線に何らかの問題があり、回線種別が自動設定できないことがあります。「回線種別が設定できませんでした」または「回線を接続し機能ボタンから回線種別を設定してください」のメッセージが表示されたときは、手動で回線種別を設定してください。「手動で回線種別を設定する」(※10ページ)

メモ

- 構内交換機 (PBX) やマンションアダプタなど、一般と異なる回線につないでいる場合は、手動で回線種別を設定してください。「手動で回線種別を設定する」(※10ページ)
- IP フォンアダプタをご使用の場合は、アダプタを一時的に外し、電話回線に直接つないでから電源コードを接続し直すと回線種別を自動設定できます。この手順で自動設定できないときは、手動で回線種別を設定してください。「手動で回線種別を設定する」(※10ページ)
- ひかり電話 (NTT)、光プラス (KDDI)、メタルプラス (KDDI) などをご利用の場合は、手動で回線種別を設定してください。「手動で回線種別を設定する」(※10ページ)

メモ

- 「回線を接続し機能ボタンから回線種別を設定してください」が表示された場合は、約30秒経過するとデモ画面 (販売店の店頭で使われるファクスの機能紹介画面) が表示されメロディが鳴ります。○を押してデモ画面を終了させてください。
- デモ画面が止まらないときは○を押してデモ画面を終了し、機能ボタン(1*)(1*)(1*)を押してください。

手動で回線種別を設定する

利用している回線種別がダイヤル回線10PPSのときや自動で回線種別を設定できないときは、手動で回線の種別を設定してください。

お願い

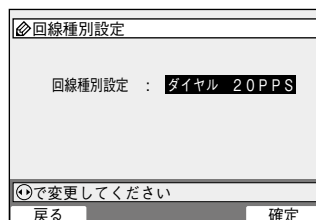
回線の種別を設定する前に

本機の受話器をとって「ツー」という音が聞こえることを確認してください。

- 聞こえないときは、受話器および電話機コードを正しく接続し直してください。「接続する」(※9ページ)
- 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

1

機能(1*)(1*)を押す



2

で回線の種別を選ぶ

プッシュ回線 / ダイヤル 10PPS /
ダイヤル 20PPS / 自動設定

メモ

- 回線の種別がわかっているときは、その種別を選んでください。
- 回線の種別がわからないときは、最初に「ダイヤル 20PPS」を選んでみてください。
- 回線の種別を調べたいときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

3

確定を押す

「受けつけました」と表示されます。

4

○を押す

・ 回線種別の手動設定終了後、「177」(天気予報)につながることをご確認ください。(通話料金がかります)

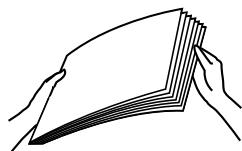
お願い

「177」(天気予報)につながらないときは、次の順に回線の種別を替え、つながるまで設定し直してください。

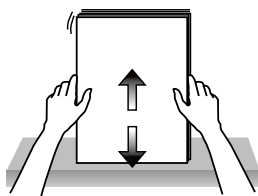
- ・ 「ダイヤル 20PPS」: ダイヤル回線 20PPS
- ・ 「プッシュ回線」: プッシュ回線
- ・ 「ダイヤル 10PPS」: ダイヤル回線 10PPS

記録紙をセットする

1 記録紙をよくさばく

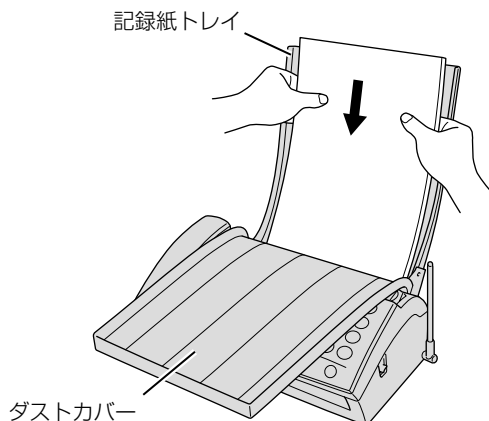


2 さばいた側を下にしてそろえる



3 記録紙トレイのダストカバーを開ける

4 記録紙をそろえ、印刷面を裏向きにして静かにセットする



注意

- 記録紙は A4 サイズ (210 × 297 mm) のコピー用紙または普通紙をご使用ください。「記録紙について」(P.49 ページ)
- 紙をさばかずにセットすると記録紙が正常に送られないことがあります。
- 紙づまりを防止するため、印刷された用紙を記録紙排出口の周りにためないように取り除いてください。
- 記録紙を追加するときは、記録紙トレイに残っている記録紙をすべて取り除き、追加する記録紙と合わせてよくさばいてセットしてください。
- 印刷中に記録紙を追加しないでください。
- 厚さの異なる記録紙を混ぜてセットしないでください。

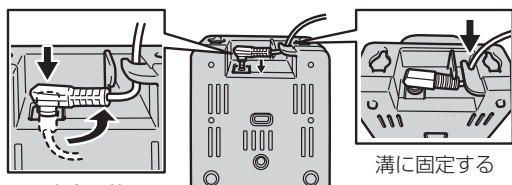
子機を準備する

充電する

注意

- 初めてお使いいただくときは、必ず12時間以上充電してください。
- ACアダプタの電源を携帯電話の充電器と同じ電源からとらないでください。子機が正常に動作しない原因となります。
- 子機を充電器にセットしないで長時間放置しておくとバッテリーが消耗して使用できなくなります。

1 ACアダプタの電源プラグを充電器に差し込む



奥まで完全に差し込み、横に回して上図のようにセットする

溝に固定する

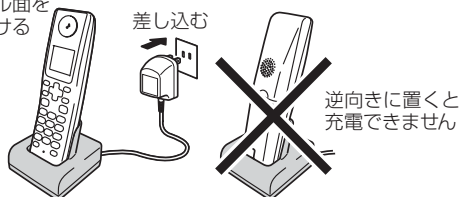
2 子機にバッテリーをセットする 「子機のバッテリーを交換する」(P.78ページ)

3 ACアダプタをコンセントに差し込み、子機を充電器にセットする

- ・ 充電器に子機をセットするとディスプレイに「ジ・1ウテ・ソチウ」と表示され、 が点滅し充電表示ランプが点灯します。
- ・ 充電が完了するとディスプレイに が点灯し「ジ・1ウテ・ソチウ」の表示と充電表示ランプが消灯します。

ダイヤル面を前に向ける

差し込む



逆向きに置くと充電できません

お願い

- 子機を使用していないときは、必ず充電器にセットしてください。
- バッテリーの残量が極端に少なくなっているときは、充電器にセットしても「ジ・1ウテ・ソチウ」と表示されなかったり、充電表示ランプが点灯しないことがあります。しばらく充電すると表示されます。

メモ

充電器の端子が汚れていると、充電できなかったり子機が使用状態になることがあります。こまめに掃除してください。(P.72ページ)

他の機器を接続して使う

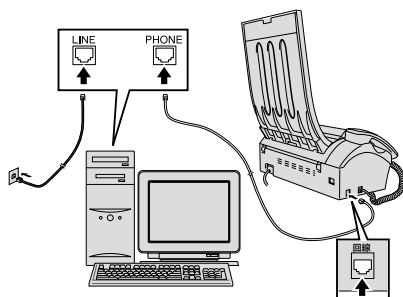
電話回線にパソコンも接続する

■ 一般回線でパソコンモデムを使う場合、PHONE (TEL) 端子を使う場合

パソコン本体に「PHONE (TEL) 端子」がある場合は、一つの電話回線でパソコンと本機を下図のように接続していただくことができます。

ただし、1本の電話回線を利用していますので、同時に両方で電話回線をご利用いただくことはできません。

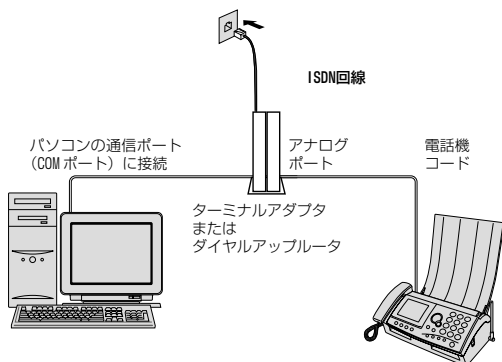
- 1本の電話回線に複数台の電話機を接続（ブランチ接続（並列接続））すると、ナンバー・ディスプレイなどに不具合が発生し、誤動作の原因となりますのでおやめください。「ブランチ接続（並列接続）」はしないでください（※14ページ）
- パソコン本体に「PHONE (TEL) 端子」がない場合は、市販の自動切換機などをご利用ください。



■ ISDN 回線をご利用の場合

本機をISDN回線のターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータに接続するときは、次の設定と確認を行ってください。

- 本機：回線種別を「プッシュ回線」に設定する
- ターミナルアダプタ：本機を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する



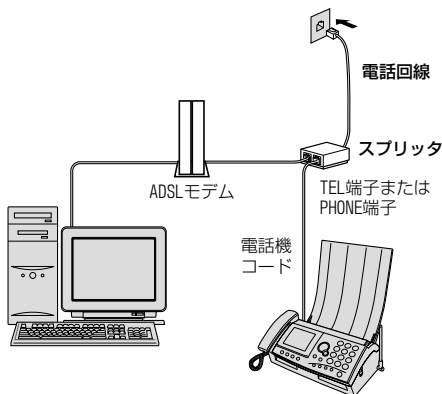
メモ

- 本機が使用できないときは、「故障かな？と思ったら」（※83ページ）を参照してください。また、ターミナルアダプタの設定を確認してください。ターミナルアダプタの設定の詳細は、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。製造メーカーにお問い合わせください。
- ナンバー・ディスプレイにご契約されている場合は、ターミナルアダプタのデータ設定と本機の設定「ナンバー・ディスプレイを設定する」（※59ページ）が必要です。
- ファクスの送受信がうまくいかないときは、「特別設定について」（※93ページ）を参照してください。

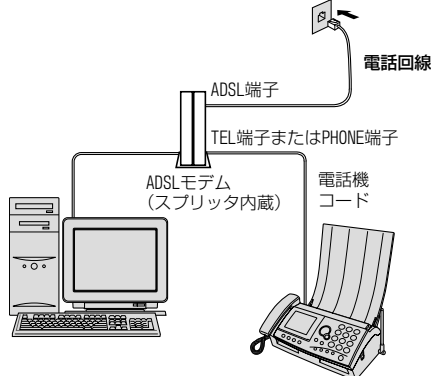
■ ADSL 回線をご利用の場合

本機をADSL回線のスプリッタに接続するときは、スプリッタのTEL端子またはPHONE端子に接続してください。

例1)



例2)



お願い

- 例1で接続の場合、本機とパソコンは必ず「スプリッタ」で分岐してください。「スプリッタ」より前（電話回線側）で分岐するとブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。
- 通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなる、誤ってダイヤルするなどの問題が発生した場合は、スプリッタを交換すると改善されることがあります。ADSL 契約会社、またはスプリッタの製造メーカーへお問い合わせください。
- ADSL 回線をご使用の場合、ノイズが多い・誤ダイヤル・声小さいなどの障害が発生することがあります。

準備する
第1章

ご使用する前に
第2章

電話
第3章

ファックス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときには
第9章

付録
第10章

録

他の機器を接続して使う

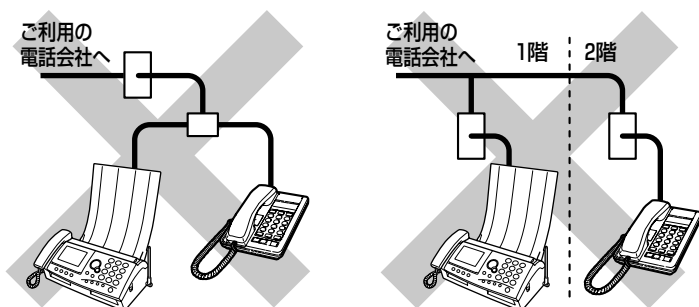
接続に関する制限事項を確かめる

■ ブランチ接続（並列接続）はしないでください

ブランチ接続（並列接続）とは、一つの電話回線に複数台の電話機を接続することです。

ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

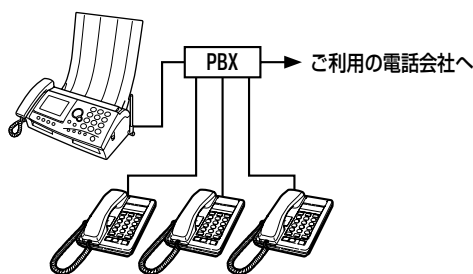
- ・ファクスを送ったり受けたりしているときに、ブランチ接続（並列接続）されている電話機の手話器をとるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起きることがあります。
- ・電話がかかってきたとき、着信音が鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないことがあります。
- ・コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
- ・本機で保留にした場合、ブランチ接続（並列接続）された電話機では本機の保留状態を解除できません。
- ・ブランチ接続（並列接続）された電話機から親機や子機への転送はできません。
- ・ナンバー・ディスプレイ、ネームディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
- ・パソコンを接続すると、本機が正常に動作しない場合があります。



■ 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどに接続する場合

構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどをお使いになる場合は、各製造メーカーまたは販売店にお問い合わせください。また、本機の特別回線対応の設定を「PBX」にしてください。（P.93ページ）

例）構内交換機（PBX）の場合



メモ

ビジネスホンとは

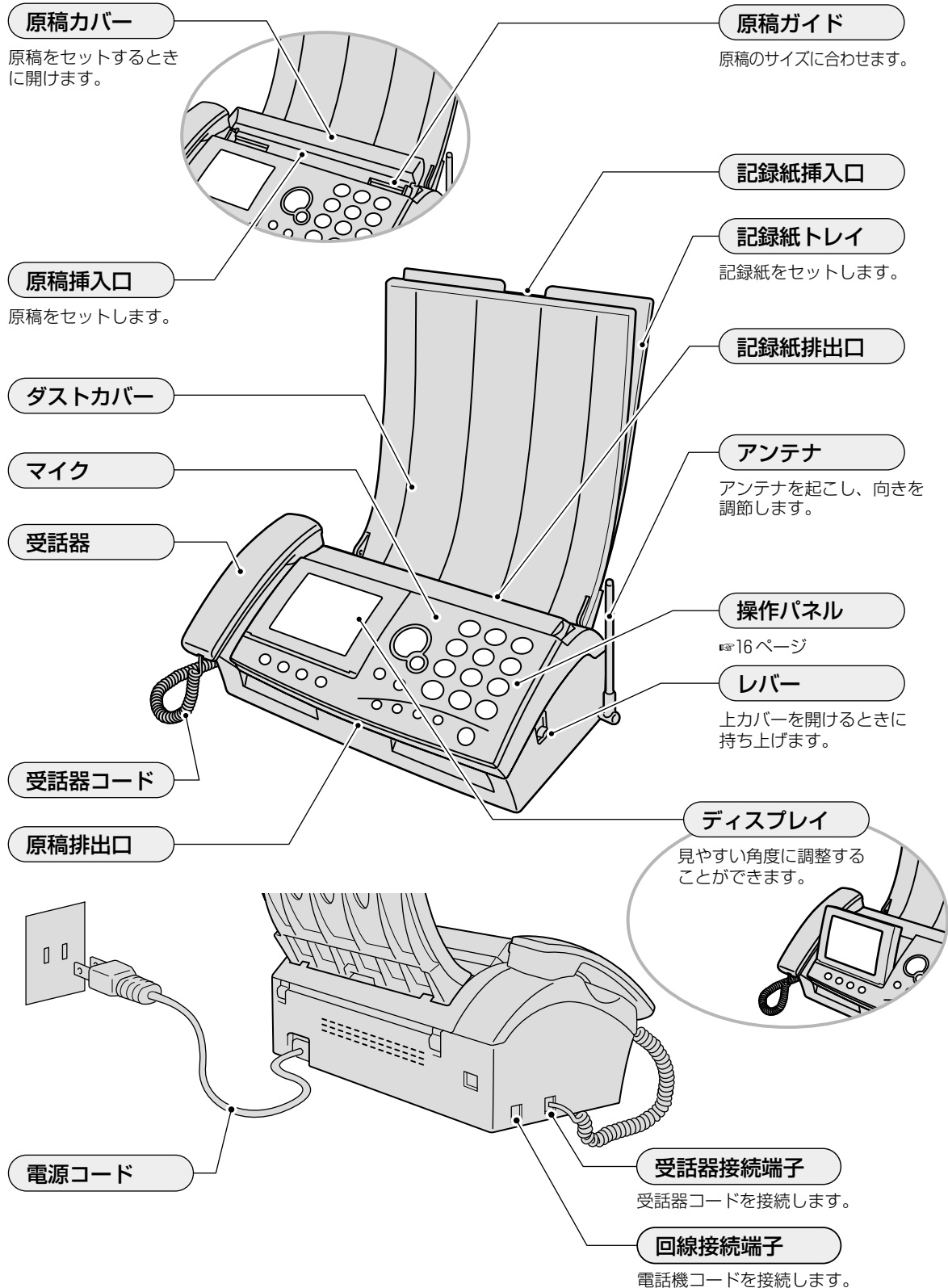
電話回線を2本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

ホームテレホンとは

電話回線1本で複数の電話機を設置できて、内線通話なども可能な家庭用の簡易交換機です。

各部の名称とはたらき（親機）

外観図



第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファクス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナンバーディスプレイ

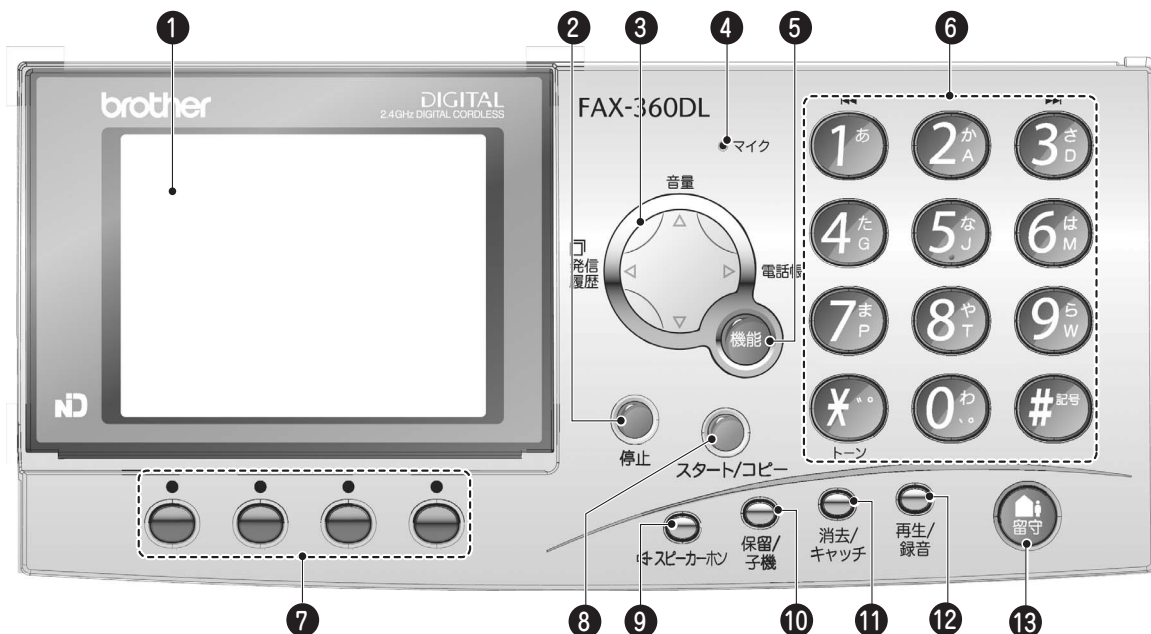
第8章
活用する

第9章
こんなときは

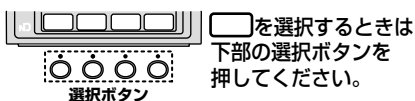
第10章
付録

各部の名称とはたらき（親機）

操作パネル



ボタン	名称／機能	ボタン	名称／機能
①	ディスプレイ 操作手順や本機の状態、メッセージなどが表示されます。（※17ページ）	⑥	トーンボタン 一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）を利用するとき（※29ページ）に押します。
②	停止ボタン 操作を途中で中止するとき、または待ち受け画面に戻るときに押します。	⑦	記号ボタン 記号を入力するときに押します。（※96ページ）
③	マルチセレクトボタン ディスプレイの項目を選択します。	⑧	戻しボタン（留守番機能） 録音されたメッセージを聞き直すときに押します。（※51ページ）
	電話帳ボタン 電話帳を表示するときに押します。	⑨	送りボタン（留守番機能） 録音された次のメッセージを聞くときに押します。（※51ページ）
	発信履歴ボタン 最後にかけた番号にかけ直すとき（※30ページ）、発信履歴を表示するとき（※64ページ）に押します。	⑩	選択ボタン 画面に表示された項目を選択します。（※17ページ）
④	音量ボタン 着信音量、受話音量、スピーカー音量を調整するときに押します。（※68ページ）	⑪	スタート/コピーボタン 送信／受信するとき、またはコピーするときに押します。（※47ページ）
⑤	マイク スピーカーホンで通話するときに使用します。（※29ページ）	⑫	スピーカーホンボタン 受話器を持たずに通話するときに押します。（※29ページ）
	機能ボタン 機能を設定するときに押します。（※101ページ）	⑬	保留/子機ボタン 保留にして相手にメロディを流すとき（※31ページ）、または子機を呼び出すときに押します。
⑥	ダイヤルボタン ダイヤルするときや文字を入力するときに押します。	⑭	消去/キャッチボタン メッセージ（※51ページ）、着信履歴（※63ページ）、発信履歴（※64ページ）、または電話帳に登録された内容などを消去するとき（※39ページ）に押します。また、キャッチホンを使うときに押します。（※31ページ）
		⑮	再生/録音ボタン メッセージを再生するとき（※51ページ）、または通話を録音するとき（※31ページ）に押します。
		⑯	留守ボタン 留守モードにすると、または留守モードを解除するとき（※50ページ）、ダイヤル番号入力時にポーズを入れるとき（※38、96ページ）に押します。



ディスプレイ

現在の状態やメッセージ、操作手順などを表示します。通話をしていない状態では、次のように「待ち受け画面」が表示されています。表示の内容と意味は次のとおりです。

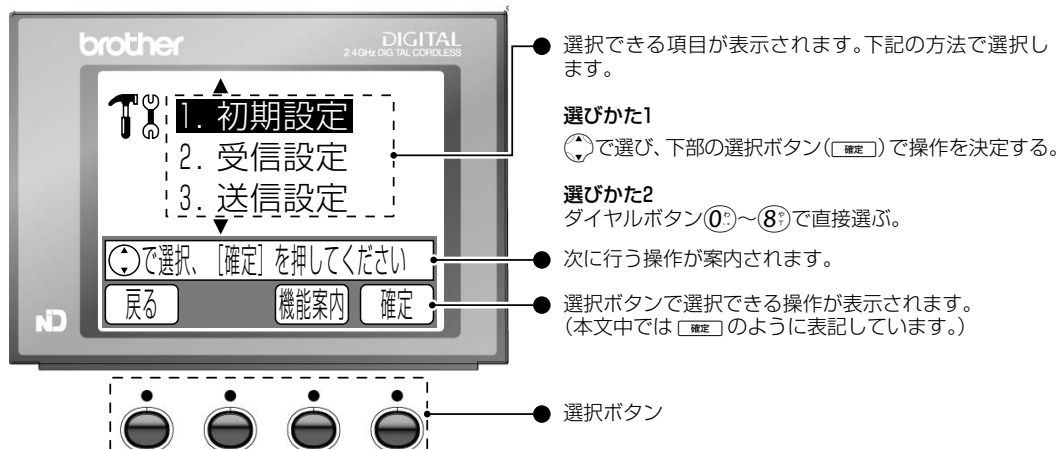


メモ

- ディスプレイの右側面が強く光るのは光源があるからです。故障ではありません。
- ディスプレイのコントラストを調整するときは機能^①7^②を押します。で画面のコントラストを設定し**確定**を押して○を押します。

ディスプレイと操作のしかた

本機では、ディスプレイに表示された項目を^④(マルチセレクトボタン)や選択ボタンで選択します。



準備する 第1章

ご使用の前に 第2章

電話 第3章

ファクス 第4章

コピー 第5章

留守番機能 第6章

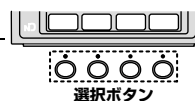
ナンバーディスプレイ 第7章

活用する 第8章

こんなときには 第9章

付録 第10章

各部の名称とはたらき（親機）



選択ボタン

□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

ディスプレイの文字サイズ

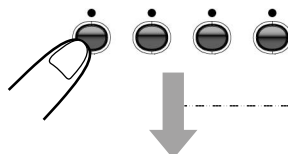
電話帳を表示しているときは、ディスプレイに表示されている文字のサイズを3段階に切り替えることができます。



電話帳



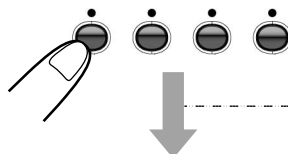
表示「大」



文字サイズを押す



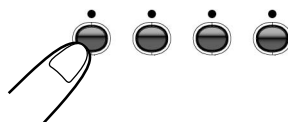
表示「中」



文字サイズを押す



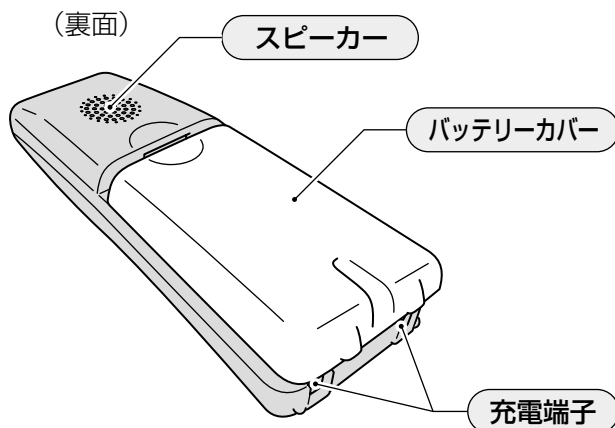
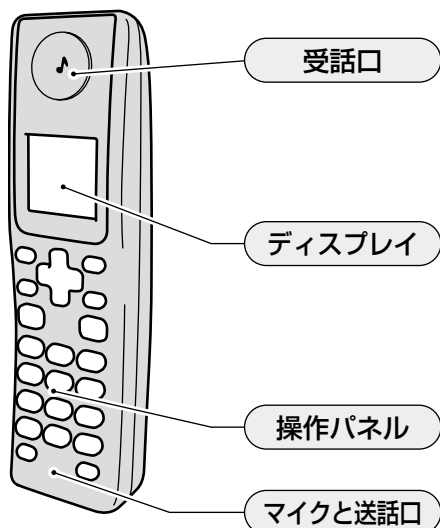
表示「小」



文字サイズを押す

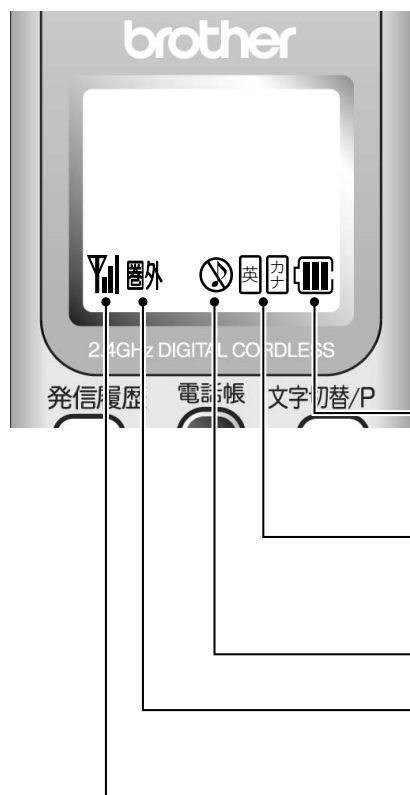
各部の名称とはたらき（子機）

外観図



ディスプレイ

■ 表示の見かた



※メモ

- ディスプレイのコントラストを調整するときは
機能(設定)を押して「カ」/「コントラスト」を選び、機能(設定)を押します。
「+」で明るさを設定し、機能(設定)を押します。
- ディスプレイのバックライトを点灯させるには
(子機ライト機能)
ディスプレイが待ち受け画面のときに、機能(設定)を2秒以上押す。
・ バックライトを消灯させるには
操作パネルのいずれかのボタンを押すか、子機を充電器に戻す。
・ 子機のバッテリー残量が少なくなると
設定が解除され、バックライトは消灯します。

〈ピクト（絵文字）〉



バッテリーの残量の目安を表示します。
〈バッテリー残量の目安〉

- ① : 20% 以上 ② : 20% 未満
③ : 10% 未満 ④ : 要充電



入力できる文字の種類が表示されます。

- : アルファベット（大文字、小文字）、数字が入力できます。
 : 半角カタカナが入力できます。



着信音量を OFF に設定しているときに表示されます。



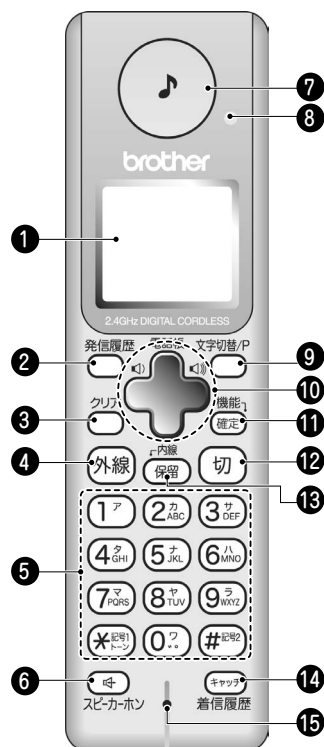
通話中、電波の届かない場所にいるときは の代わりに「圏外」が表示されます。



通話中の電波の状態が表示されます。 の数が多いほど、電波状態が良好です。

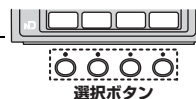
各部の名称とはたらき（子機）

操作パネル



ボタン	名称／機能	ボタン	名称／機能
①	ディスプレイ 操作手順や本機の状態、メッセージなどが表示されます。（※19ページ）	⑨	文字切替/P 文字入力の種類を変えるとき、またはダイヤル番号入力時にポーズを入れるとき（※38、98ページ）に押します。
②	発信履歴 発信履歴ボタン 最近かけた相手にもう一度ダイヤルするときに押します。	⑩	マルチセレクトボタン ディスプレイの項目を選択します。
③	クリア クリアボタン 文字を消すときに押します。		電話帳 電話帳ボタン 電話帳を表示するときに押します。
④	外線 外線ボタン 電話をかけるとき、受けるときに押します。（※29ページ）		音量 音量ボタン 着信音量、受話音量、スピーカー音量を調整するときに押します。（※68ページ）
⑤	ダイヤルボタン ダイヤルするときや文字を入力するときに押します。	⑪	機能／確定ボタン 各機能を設定するとき、または設定内容や子機ライト（※19ページ）を確定するときに押します。
	記号1／トーンボタン 記号を入力するとき（※98ページ）、または一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）を利用するとき（※29ページ）に押します。	⑫	切 切ボタン 電話を切るとき、または操作を途中で中止するときに押します。
	記号2ボタン 記号を入力するときに押します。（※98ページ）	⑬	内線／保留 内線で通話するとき、または保留にして相手にメロディを流すとき（※31ページ）に押します。
⑥	スピーカーホン スピーカーホンボタン 子機を持たずに通話するときに押します。（※29ページ）	⑭	キャッチ／着信履歴 キャッチボタン キャッチホンを使うとき、着信履歴を表示するときに押します。
⑦	受話口 相手の声が聞こえます。	⑮	マイクと送話口 子機を持って通話するとき、スピーカーホンで通話するときに使用します。（※29ページ）
⑧	充電表示ランプ 充電中に点灯します。充電が完了すると消灯します。		

初期設定をする



を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

現在の日付・時刻を設定する

親機の日付と時刻はディスプレイに表示されるほか、ファクスを送信したときに送り先の記録紙に送信日時として印刷されます。また、親機では着信履歴や発信履歴もこの設定に基づいて表示されますので必ず設定してください。

親機

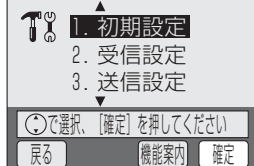
親機の日付と時刻を設定します。

(例)「2006年8月3日 午前9時5分」に設定します。

1 機能を押す



2 で「1. 初期設定」を選び「確定」を押す

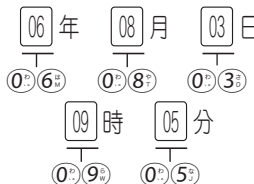
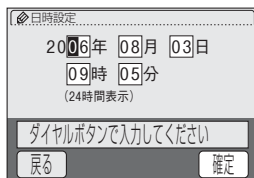


3 で「2. 日時設定」を選び「確定」を押す



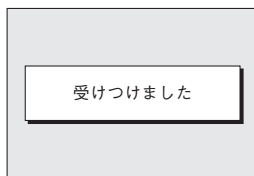
4 日時を入力する

- ・機能(1)(2)を続けて押しても右の画面が表示されます。
- ・「年」は西暦の下2桁を入力します。



5 「確定」を押す
「受けつけました」と表示されます。

6 〇を押す
停止
登録した日付と時刻が表示されます。



子機

子機の日付と時刻を設定します。

(例)「2006年8月3日 午前9時5分」に設定します。

1 機能を押す

▶メイト・ウオンセッテイ
ハクションリキ
チャクシンリキ

2 で「トクイセッテイ」を選び機能を押す

チャクシンリキ
ガ メンノコントラスト
▶トクイセッテイ

3 日付(0?)(6?)(0?)(8?)(0?)(3?)を入力し機能またはを押す

ヒツ?ケ?
▶2006/08/03
0~9?ヘンコウ

4 時刻を4桁(24時間制)で入力し機能を押す
・午前9時5分のとき: (0?)(9?)(0?)(5?)

ジゴク?
▶09:05
0~9?ヘンコウ

5 切を押す

メモ

- 数字を入れ間違えたときは
⬅(親機)または⬅(子機)で間違えた箇所まで■(カーソル)を移動させ、入力し直してください。
- 設定の終了について
「確定」(親機)または機能(子機)を押して設定を終了すると「受けつけました」(親機)「ウツクマツ」(子機)と表示され、メニュー画面が表示されます。続けて設定するときは⬅(親機)または⬅(子機)を押してください。終了するときは〇(親機)または切(子機)を押してください。
- 設定を途中で中止するときは
〇(親機)または切(子機)を押してください。

準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

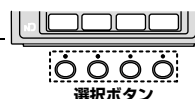
ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときには
第9章

付録
第10章

初期設定をする



○を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

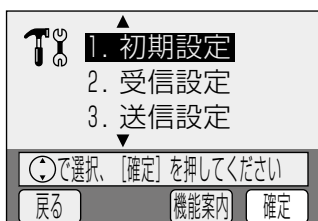
名前とファクス番号を登録する（発信元登録）

発信元となるファクス番号のほか電話番号や名前を登録します。ファクスを送信したときに登録したファクス番号と名前が相手の記録紙に印刷されます。ファクス番号は必ず登録してください。

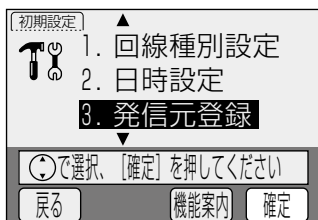
1 機能を押す



2 方向キーで「1. 初期設定」を選び「確定」を押す



3 方向キーで「3. 発信元登録」を選び「確定」を押す



4 ファクス番号と電話番号を入力する（ファクス番号を入力したら方向キーで電話番号入力枠に移動する）

- ・機能①③を続けて押しても下記の画面が表示されます。
- ・ファクスと電話を同じ番号で使用するときは、どちらも同じ番号を入力してください。
- ・ファクス番号と電話番号は 20 桁まで登録できます。
- ・入力を間違えたときは方向キーで数字を選択し、文字削除を押します。
- ・項目を移動するときは方向キーを押します。

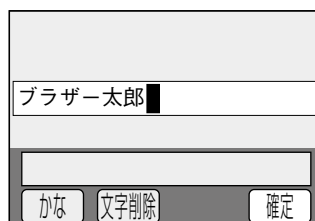


メモ

- 入力を間違えたときは、方向キーで間違えた箇所まで（カーソル）を移動し、文字削除を押します。
- 電話番号は「送付書」に印刷されます。（※42 ページ）

5 方向キーで名前の入力枠に移動し「入力」を押す

- ・「文字の入れかた（親機）」（※96ページ）
- ・「入力」を押すとディスプレイの中央に名前の入力枠が表示されます。
- ・名前は、全角で16文字、半角で32文字まで登録できます。
- ・名前を入力したら「確定」を押します。



6 「確定」を押す

「受けつけました」と表示されます。

7 停止を押す

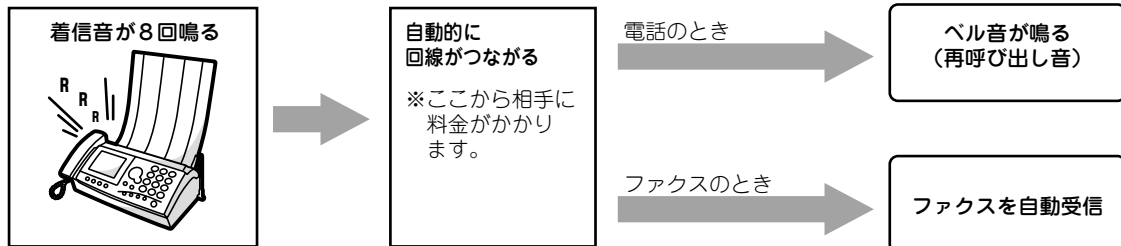


電話やファクスの受けかた

電話やファクスを受信するときのモードは、大きく「在宅モード」と「留守モード」の2つに分けることができます。どちらのモードも着信してから本機が応答するまでに鳴る着信音（ベル音）の回数を変えることができます。いろいろな用途に合わせて設定してください。「呼出回数の設定」（※25ページ）

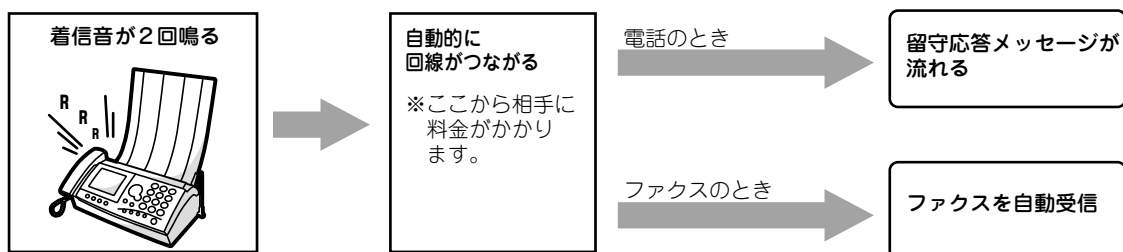
お買い上げ時は、次のように設定されています。

■ 家にいるとき（在宅モード：留守ランプが点灯していないとき）



- ・お買い上げ時の呼出回数は8回に設定されています。（推奨設定値：4～15回）
- ・ファクスが自動受信できないときには、呼出回数を6回以下に設定してください。
- ・「呼出回数の設定」（※25ページ）

■ 留守にするとき（留守モード：留守ランプが点灯しているとき）「留守番機能を利用する」（※50ページ）



メモ

- 着信音をメロディまたはボイスに設定していても
回線が再呼び出しに切り替わるとベル音（再呼び出し音）が鳴ります。
- 「再呼び出し設定」を「相手にメッセージ」に設定しているときは
自動的に回線がつながると相手には
「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話のかたは呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスのかたは発信音のあとに送信してください。」というメッセージが流れます。
そのあと電話に出ないと相手には
「ただいま近くにおりません。後ほどおかけ直してください。」というメッセージを流して回線が切れます。「再呼び出し設定」（※26ページ）

電話やファクスの受けかた

電話・ファクスの受けかたを変更する

電話・ファクスの受けかたを変更したい場合は、変更したい内容にあわせて、以下の手順で設定してください。
「呼出回数設定」(P.25ページ)、「再呼び出し設定」(P.26ページ)

■ 着信音を鳴らさずにファクスを受けたい場合（無鳴動受信）

着信音の呼び出し回数を0回にします。



自動的に
回線がつながる
※ここから相手に
料金がかかります。

電話のとき

ベル音が鳴る
(再呼び出し音)

ファクスのとき

ファクスを自動受信

[推奨設定値]

呼出回数 0回

再呼び出し設定 ON

・ファクス受信後の「ピー」という音を鳴らしたくない場合は、「ボタン確認音量」を「OFF」に設定してください。
(P.68ページ)

・着信音はメロディまたはボイスに設定しているときでも、回線が再呼び出しに切り替わるとベル音が鳴ります。

■ ファクス専用として使う場合

再呼び出し設定を「OFF（ファクス専用）」にします。



自動的に
回線がつながる
※ここから相手に
料金がかかります。

電話のとき

電話に出られません

ファクスのとき

ファクスを自動受信

[推奨設定値]

呼出回数 1～8回

再呼び出し設定 OFF（ファクス専用）

■ ファクスを自動受信しない場合（受話器を上げてファクスを受信する）

着信音の呼び出し回数を「無制限」にします。



受話器を
とる

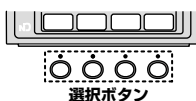
回線がつながる
※ここから相手に
料金がかかります。

電話の
とき

通話

ファクスの
とき

○を押して受信
スタート/コピー



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

選択ボタン

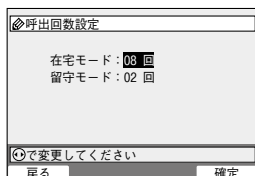
呼出回数の設定

着信してから本機が応答するまでに鳴る呼出回数を設定します。

お買い上げ時は「在宅モード」8回、「留守モード」2回に設定されています。

- 呼出回数を0回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけ着信音を鳴らすことができます。(無鳴動受信) 回線状況が悪い場合、ファクスのときでも数回着信音が鳴ることがあります。

1 機能 2 1を押す



2 在宅モードの呼出回数を選び を押す

00~15/無制限

3 留守モードの呼出回数を選び 確定を押す

00~07/トールセーバー

「受けつけました」と表示されます。

4 停止を押す 設定を終了します。

メモ

トールセーバー機能

「呼出回数の設定」の「留守モード」で「トールセーバー」を設定すると、外出先から留守番電話のメッセージが入っているかどうかを確認できます。外出先から自宅に電話をかけて、留守番メッセージが再生されるまでの呼出回数を確認します。

メッセージがあるとき………呼出2回
メッセージがないとき………呼出5回

着信音が3回鳴った時点で、メッセージが記憶されていないことがわかります。3回鳴った時点で電話を切れば通話料はかかりません。2回鳴って電話がつながったときは、「リモコンアクセス」(P.54ページ)によって音声メッセージを確認するなど、本機を操作することができます。

準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

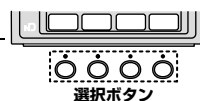
ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときには
第9章

付録
第10章

電話やファクスの受けかた



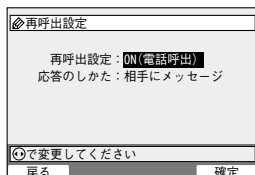
選択ボタン

□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

再呼び出し設定

在宅モード時の受信のしかたや対応のしかたを選択します。
お買い上げ時は「ON(電話呼出)／相手にメッセージ」に
設定されています。

1 機能 2 再呼び出し設定を押す



2 在宅モードのときの受信のしかたを選ぶ

ON(電話呼出)／OFF(ファクス専用)

手順 2 で「ON (電話呼出)」を選んだとき

3 を押す

4 在宅時の応答のしかたを選び 確定を押す

相手にベル／相手にメッセージ

・「相手にベル」

本機が電話を受けたとき、相手に「トゥルー、トゥルー」という呼出音が聞こえるように設定します。

・「相手にメッセージ」

本機が電話を受けたとき、相手に設定した在宅
応答メッセージを流します。

お買い上げ時は「この電話は電話とファクスに
接続されています。電話のかたは呼び出して
おりますので、そのまましばらくお待ちください。
ファクスのかたは発信音のあとに送信してくだ
さい。」というメッセージが流れます。

メモ

「相手にベル」のときは約 30 秒間、「相手にメッセ
ージ」のときは約 50 秒間呼び出します。

そのあと電話に出ないと相手には
「ただいま近くにおりません。後ほどおかけ直しく
ださい。」というメッセージを流して回線が切れます。

- ・ 応答メッセージの内容は変更することができま
す。「応答メッセージの設定」(52 ページ)
- ・ 「受けつけました」と表示されます。

5 停止を押す

設定を終了します。

手順 2 で「OFF (ファクス専用)」を選んだとき

3 確定を押す

「受けつけました」と表示されます。

4 停止を押す

設定を終了します。

ケータイ通話お得サービスを利用する

ケータイ通話お得サービスとは

固定電話から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の前に事業者識別番号（※28ページ）をダイヤルすると、固定電話の電話会社が設定した料金でご利用できるサービスです。

「ケータイ通話お得サービス」を「する」に設定をすると、本機から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の前に事業者識別番号を自動的につけてダイヤルすることができます。「ケータイ通話お得サービスを設定する」（※28ページ）お買い上げ時の事業者識別番号は、[0033]（NTTコミュニケーションズ）に設定されています。

＜例＞ 090-XXXX-XXXXをかけると
0033-090-XXXX-XXXXとダイヤルします。

（事業者識別番号）

（携帯電話番号）

固定電話から携帯電話番号をダイヤルします。



「0033-090-XXXX-XXXX」
事業者識別番号「0033」は自動的につけられます。

携帯電話に固定電話番号が表示されます。



注意

- NTT 東日本・西日本の「ひかり電話」や NTT 東日本・西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス※、ケーブルTV局が提供する電話サービスをご利用時は、この機能はご利用になれませんので「しない」に設定してください。
※直収電話サービスとは、NTT 東日本・西日本の電話回線を介さずに、直接お客様の自宅と各サービス事業者を結ぶ電話サービスです。（例 日本テレコムのおとくライン、KDDI のメタルプラス、平成電電のCHOKKA など）
- 事業者識別番号は変更することができます。「事業者識別番号を変更する」（※28ページ）
- ケータイ通話お得サービスは、登録した各事業者によりサービス提供エリアが異なります。サービス提供エリアについては、各事業者にお問い合わせください。
- ケータイ通話お得サービスを利用するときは、携帯電話番号の前に事業者識別番号や加入電話選択番号（IP 電話解除番号）※をダイヤルしないでください。電話をかけることができなくなったり、通話料が異なる場合があります。
- ケータイ通話お得サービスを「する」に設定していても、ケータイ通話お得サービスを利用せず、電話をかけることができます。この場合は、通話状態にしてから  を押した後に、ご利用になる事業者識別番号や加入電話選択番号（IP 電話解除番号）※をダイヤルしてください。
※ IP 電話サービスを利用時、一時的に IP 電話を利用しないための番号です。
- 直収電話サービスについては、各サービス事業者へお問い合わせください。
- 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンに接続している場合は、設定を「しない」にしてください。（ケータイ通話お得サービスを利用できません）
- 電話をかけても、しばらく「ソー」という音だけが聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 事業者識別番号を自動的につけて電話をかけた場合、電話がつながるまで時間がかかる場合がありますが故障ではありません。
- 国内の携帯電話会社への通話が対象です。対象となる携帯電話番号は、「090」「080」から始まる番号のみです。PHS への通話は利用できません。
- マイラインおよびマイラインプラスの登録に関係なく利用できます。
- 通話先、通話時間や発信事業者の料金体系により、料金は安くならない場合があります。サービスについては、各事業者へお問い合わせください。

NTTコミュニケーションズの0033モバイルサービスのご案内

- お申し込み手続きは不要です。定額料もかかりません。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、フリーアクセス（「0800」で始まる番号）など一部サービスを利用できない場合があります。電話を通話状態にしてから電話をかけてください。
- 携帯電話への通話料金はNTTコミュニケーションズご利用分として請求されます。
- NTTコミュニケーションズが提供する「固定電話から携帯電話への通話サービス（0033モバイル）」詳細については、NTTコミュニケーションズのカスタマーズフロントにお問い合わせください。

NTT コミュニケーションズ カスタマーズフロント

コールコール
☎ 0120-506506

受付時間：午前9:00～午後9:00（年末年始除く）

本機の機能・設定については、弊社のお客さま相談窓口（コールセンター）：☎ 0120-161-170にお問い合わせください。

準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファックス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

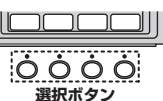
ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときには
第9章

付録
第10章

ケータイ通話お得サービスを利用する



を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

注意

●NTT東日本・西日本の「ひかり電話」やNTT東日本・西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス※、ケーブルTV局が提供する電話サービスをご利用時は、この機能はご利用になれませんので「しない」に設定してください。

※直収電話サービスとは、NTT東日本・西日本の電話回線を介さずに、直接お客様のご自宅と各サービス事業者を結ぶ電話サービスです。(例 日本テレコムのおとくライン、KDDIのメタルプラス、平成電電のCHOKKA など)

ケータイ通話お得サービスを設定する

お買い上げ時は、事業者識別番号「0033」に設定されています。

- 機能 0^h 6^m を押す
- で「する」または、「しない」を選び
確定 を押す
 - ・「する」
ケータイ通話お得サービスが利用できます。
 - ・「しない」
ケータイ通話お得サービスが利用できなくなります。
手順6に進んでください。
- 電話回線を選び 確定 を押す

一般回線 / IP電話 / その他

 - ・「一般回線」(一般回線をご利用の場合)
一般回線 を押します。設定が完了します。
 - ・「IP電話」(IP電話サービスをご利用の場合)
IP電話 を押します。加入電話選択番号(IP電話解除番号)を設定します。
 - ・「その他」(ひかり電話(NTT)や直収電話サービスなどをご利用の場合)
その他 を押します。ケータイ通話お得サービスは、ご利用になれません。

手順3で「IP電話」を選んだとき

- 次へ を押す
- 加入電話選択番号を入力して 確定 を押す
ダイヤルボタン(0^h～9^w)を使って入力します。

[加入電話選択番号(IP電話解除番号)の例](2006年1月現在)

事業者名	サービス名	加入電話選択番号
Yahoo!BB (ソフトバンクBB)	Yahoo!※1 BBフォン	0000p※2
OCN (NTT コミュニケーションズ)	OCN※1 ドットフォン	0000
KDDI (DION)	KDDI-IP電話※1	0009※3

その他のIP電話サービスをご利用のお客様は、ご利用中のIP電話事業者に加入電話選択番号とポーズ入力「p」(Ⓟで入力)が必要かお問い合わせください。加入電話選択番号(IP電話解除番号)は予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

※1 Yahoo!BB光、OCN光サービス、KDDIメタルプラスはご利用になれません。

※2 Yahoo!BBをご利用の場合は「0000」のあとにポーズ「p」(Ⓟで入力)を入力してください。

※3「IP電話対応機器(NTT東日本・西日本提供)」をご利用の場合は「0000」を入力してください。

メモ

- 加入電話選択番号を空白にしたまま設定するとケータイ通話お得サービスが利用できなくなります。
- 加入電話選択番号は、携帯電話に発信するときにだけIP電話を使わずにNTTなどの一般回線で発信するための番号です。

- はい を押す
加入電話選択番号を修正するときはいいえを押して入力し直してください。

手順3で「一般回線」「その他」を選んだとき

- 停止 を押す
- メモ
- 携帯電話以外への通常の発信は、IP電話サービスを利用します。
 - ケータイ通話お得サービスは、次の場合も利用できます。
 - ・「184」「186」などの番号を付けたとき(「184」をつけるなど非通知で電話をかけると携帯電話に電話番号は表示されません。)
 - ・再ダイヤル(※30ページ)、発信履歴(※30ページ)からかけ直すとき
(事業者識別番号はディスプレイに表示されません)
 - ・電話帳からかけるとき
 - ・着信履歴からかけ直すとき(ナンバー・ディスプレイ利用時)
 - 「する」に設定しているときは、ディスプレイに が表示されます。
 - 「する」に設定していても、その通話に限り、ケータイ通話お得サービスを利用しない場合は 停止 を押してからダイヤルしてください。

事業者識別番号を変更する

「0033」(NTTコミュニケーションズ)以外のサービスをご利用のとき事業者識別番号を変更します。
お買い上げ時は、事業者識別番号「0033」に設定されています。

- 機能 0^h 7^p を押す
- 事業者識別番号を入力して 確定 を押す
ダイヤルボタン(0^h～9^w)を使って入力します。

[事業者識別番号の例](2006年1月現在)

事業者	識別番号
NTTコミュニケーションズ	0033
NTT東日本	0036
NTT西日本	0039

事業者識別番号、サービス内容および通話料などにつきましては、ご利用になる固定電話の各事業者にお問い合わせください。

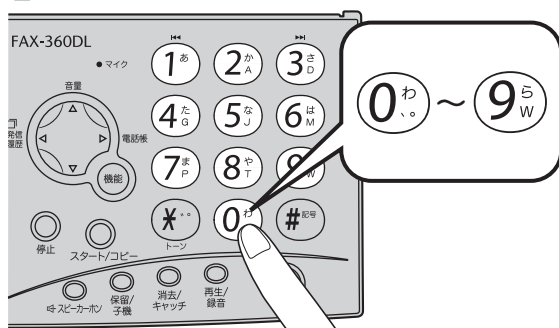
- 停止 を押す

電話をかける／受ける

電話をかける

親機

1 受話器をとってダイヤルする



2 通話が終わったら受話器を戻す

子機

1 充電器から子機をとってダイヤルする



注意

充電器から子機をとり、操作をせずに 30 秒経過すると外線ボタンが点滅して警告音が鳴り、さらに 30 秒経過すると回線が自動的に切れます。このときは、外線ボタンを押してからダイヤルボタンを押してください。

2 通話が終わったら子機を充電器に戻す 充電器に戻さないときは(切)を押します。

メモ

子機は充電器に正しく置いてください。正しく置いたとき、子機の充電表示ランプが点灯します。

メモ

● 受話器や子機を置いたまま電話をかけるには（スピーカーホン通話）

○（親機）または（子機）を押してダイヤルする。

相手が出たらマイクに向かって通話する。通話が終わったら ○（親機）または（切）（子機）を押す。

● トーン（プッシュ）信号によるサービスを利用するときは

サービス先にダイヤルしたあと、ダイヤル回線のときのみ（*）（親機）または（*）（子機）を押す。

（プッシュ回線では（*）（親機）または（*）（子機）を押す必要はありません。）

電話を受ける

親機

1 受話器をとって通話する

2 通話が終わったら受話器を戻す

子機

1 充電器から子機をとって通話する 充電器に置いていないときは(外線)を押します。

2 通話が終わったら子機を充電器に戻す 充電器に戻さないときは(切)を押します。

メモ

● 受話器や子機を置いたまま電話を受けるには（スピーカーホン通話）

○（親機）または（子機）を押し、マイクに向かって通話する。

通話が終わったら ○（親機）または（切）（子機）を押す。

● 着信音は

電波を使用しているため、親機または子機の着信音が少し遅れて鳴ることがあります。

準備する
第1章

ご使用する前に
第2章

電話
第3章

ファックス
第4章

コピー
第5章

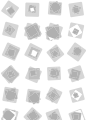
留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときには
第9章

付録
第10章



電話をかける／受ける

いろいろな電話のかけかた

名前で検索してかける		電話帳に登録した相手を検索してかける（登録は 37 ページ）	
親機	受話器をとって	 電話帳 押す	 スタート/コピー 押す  で相手を選ぶ ● 名前の左に▲または▼が表示されているときはその方向に表示されていない名前があることを示しています。
子機	充電器から子機をとって	 押す	 外線 押す  で相手を選ぶ
メモ ● 名前で検索するときは 〈親機〉  電話帳 押す ▶ 読み仮名に対応した 0 ⁰ ～9 ⁹ （ダイヤルボタン）押す ▶  で相手を選ぶ 〈子機〉  押す ▶ 頭文字に対応した 0 ⁰ ～9 ⁹ （ダイヤルボタン）押す ▶  で相手を選ぶ ● 文字の入力のしかたは 「文字の入れかた（親機）」（☎96ページ） 「文字の入れかた（子機）」（☎98ページ） ● 名前の読み仮名（親機）または頭文字（子機）を入力しないときは 「カナ（五十音順）→アルファベット→数字→記号」の順に表示されます。			
最近かけた相手にかける		発信履歴からかける（発信履歴は 64 ページ）	
親機	 発信履歴 押す	 で相手を選ぶ	受話器をとって ▶ スタート/コピー 押す
子機	充電器から子機をとって	切 押す ▶ 外線 の消灯を確認 ▶ 発信履歴 押す	 で相手を選ぶ ▶ 外線 押す
最近かかってきた相手にかける		ナンバー・ディスプレイの着信履歴からかける（着信履歴は 63 ページ）	
親機	着信履歴 押す	 で相手を選ぶ	受話器をとって ▶ スタート/コピー 押す
子機	充電器から子機をとって	切 押す ▶ 外線 の消灯を確認 ▶ キャッチ 着信履歴 押す	 で相手を選ぶ ▶ 外線 押す
最後にかけた相手にかける		再ダイヤル機能で最後にかけた相手にかける	
親機	受話器をとって	 発信履歴 押す	
子機	充電器から子機をとって	発信履歴 押す	



を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

通話のときは

いろいろな通話のしかた

保留にする		通話中に保留する（保留メロディの設定は 66 ページ）
親機	通話中 ▶ 押す ▶ 通話に戻るには	・保留後に受話器を戻したとき ▶ 受話器をとる ・保留後に受話器を戻さなかったとき ▶ 押す
子機	通話中 ▶ 押す ▶ 通話に戻るには ▶ または 押す	メモ 保留メロディは待たせている相手にだけ聞こえます。
受話器をとらずに通話する		通話中に受話器とスピーカホンとの通話を切り替える（スピーカホン通話）
親機	通話中 ▶ 押す ▶ 受話器を戻す ▶ スピーカホンの通話をやめるには ▶ 受話器をとる	
子機	通話中 ▶ 押す ▶ スピーカホンの通話をやめるには ▶ 押す	
メモ スピーカホン通話で自分の声が反響するときは、「通話音質調整」（※93ページ）の設定を変更してみてください。		
通話を録音する		通話中に通話の内容を録音する（録音時間の設定は 53 ページ）
親機	通話中 ▶ 押す ▶ 録音をやめるには ▶ 押す	メモ ● 設定した録音時間が過ぎたときは録音は自動的に終了します。 ● 留守録メモリーがいっぱいときは通話の内容は留守録メモリーに記憶されるため、録音できません。 ● 録音した内容を聞くときは受話器を戻して を押します。 ● 録音した内容を消去するときは「音声メッセージを確認する」（※51ページ） ● スピーカホンで通話しているときは録音できません。 ● 三者通話で通話しているときは録音できません。
キャッチホンを利用する		キャッチホンで通話中に別の電話やファクスを受ける
親機	通話中に「ブッブツ」と聞こえたら ▶ 押す	・声が聞こえたら電話です。 ▶ 新しい相手と通話する ▶ 元の相手に戻るには ▶ 押す ・「ボーボー」と聞こえたらファクスです。 ▶ 押す ▶ 元の相手に戻り通話が終わったら ▶ 押す ▶ スタート/コピー ▶ ファクスを受信
子機	通話中に「ブッブツ」と聞こえたら ▶ 押す	・声が聞こえたら電話です。 ▶ 新しい相手と通話する ▶ 元の相手に戻るには ▶ 押す ・「ボーボー」と聞こえたらファクスです。 ▶ 押す ▶ 元の相手に戻り通話が終わったら ▶ 押す ▶ スタート/コピー（親機） ▶ 「受信しますか？」と表示されたら ▶ 押す ▶ ファクスを受信
注意 ● 「キャッチホン／キャッチホンⅡ」をご利用いただくためには、NTTとのご契約（有料）が必要です。 ● ISDN回線を利用しているときはターミナルアダプタの設定が必要です。 ● ブランチ接続（並列接続）しているときはキャッチホンは正常に動作しません。 ● 電話回線にガス検出器などが接続されているときは誤動作することがあります。 ● ファクスを受信したときはファクス受信後に電話が切れるので、元の相手の通話に戻ることはできません。 ● 親切受信を「する」に設定したときは「ボーボー」と聞こえたあと、ファクスを自動受信することがあります。自動受信したくないときは親切受信の設定を「しない」にしてください。（※46ページ） ● ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けたときは画像が乱れたり通信が中断することがあります。そのときは「キャッチホンⅡ」のご利用をおすすめします。		
メモ ● 待たせている相手には保留メロディが流れます。 ● ファクスを受けるときは元の相手との通話は手短かに終わってください。通話が長いとファクスが受信できなくなることがあります。 ● 通話相手を変えるときは「キャッチ」ボタンを押すごとに変わります。 ● キャッチホンを無視したときは相手が電話を切ったあともしばらくキャッチホンの着信音が鳴り続けることがあります。		

準備する
第1章ご使用する前に
第2章電話
第3章ファクス
第4章コピー
第5章留守番機能
第6章ナンバーディスプレイ
第7章活用する
第8章こんなときには
第9章付録
第10章

通話のときは

電話を取り次ぐ

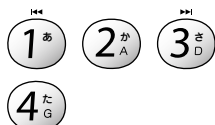
用件を伝えてから電話を取り次ぐ

■ 親機から子機へ

親機でとった電話を子機に取り次ぎます。

1 電話中に[○]保留/子機を押す
保留になり、相手にこちらの声が聞こえなくなります。

2 取り次ぐ子機の内線番号を押す
子機が1台のときは^①を押します。



呼び出している子機が出ないときは、[○]保留/子機を押して相手に不在を伝えます。

3 子機を充電器からとる(充電器に置いていないときは[○]内線保留 または [○]外線を押す)
子機に電話を伝えます。



このとき、子機の[○]切を押すと親機に保留中の相手につながります。

4 子機に電話を伝えたら受話器を戻す
子機に保留中の相手につながります。



■ 子機から親機へ

子機でとった電話を親機に取り次ぎます。

1 電話中に[○]内線保留を押す
保留になり、相手にこちらの声が聞こえなくなります。

2 ⁺で「お中」を選び^{機能}確定を押す
呼び出している親機が出ないときは、[○]内線保留を押して相手に不在を伝えます。

3 親機の受話器をとる
親機に電話を伝えます。



このとき、親機の受話器を戻すと子機に保留中の相手につながります。

4 親機に電話を伝えたら[○]切を押す
親機に保留中の相手につながります。

※E

親機と子機の内線番号について

親機と子機の内線番号は次のように設定されます。
増設できる子機は、親機に付属の子機を含めて4台です。

機種 \ 内線番号		① [※]	② [※]	③ [※]	④ [※]
FAX-360DL	親機	子機1	増設子機1	増設子機2	増設子機3
FAX-360DW	親機	子機1	子機2	増設子機1	増設子機2

■ 子機1から子機2へ

FAX-360DWをお使いの場合や子機を増設している場合は、子機でとった電話を別の子機に取り次ぐことができます。「子機と子機で話す」(※35ページ)

ここでは子機1で受けた電話を子機2へ取り次ぐ場合を例として説明します。

- 1 電話中に^{内線}保留を押す
保留になり、こちらの声が相手に聞こえなくなります。
- 2 で「**3+2**」を選び^{機能}確定を押す
呼び出している子機2が出ないときは、^{内線}保留を押して相手に不在を伝えます。

メモ

子機1から子機2を呼び出し中に、子機1の^切を押すまたは、充電器に戻すと子機2を30秒呼び続けます。子機2が出ないと子機1を呼び出し、さらに30秒経過すると自動的に電話が切れます。

- 3 子機2の^{内線}保留を押す
- 4 子機2に電話を伝える



取り次ぎをしないときや、子機1と保留中の相手との通話に戻るときは、子機2の^切を押します。

- 5 取り次ぎ内容を伝えたら^切を押す
子機2に保留中の相手がつながります。

用件を伝えずに電話を取り次ぐ

電話をかんたんに取り次ぐことができます。

■ 親機から子機へ

- 1 電話中に^{保留}子機を押す
保留になり、こちらの声が相手に聞こえなくなります。
- 2 親機の受話器を戻す
- 3 子機を充電器からとる
(充電器に置いていないときは^{外線}を押す)
子機に保留中の相手がつながります。

■ 子機から親機へ

- 1 電話中に^{内線}保留を押す
保留になり、こちらの声が相手に聞こえなくなります。
- 2 子機を充電器に戻す
- 3 親機の受話器をとり、^{保留}子機を押す
親機に保留中の相手がつながります。

準備する
第1章

ご使用する前に
第2章

電話
第3章

ファックス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときには
第9章

付録
第10章

内線で話す

親機と子機で内線通話や呼び出しをすることができます。

親機と子機で話す

親機から子機または子機から親機へ内線電話をかけて通話します。

■ 親機から子機へ

1 受話器をとる

2 を押す

メモ

受話器をとらないで を押すとスピーカーホン通話になります。

3 通話する子機の内線番号を押す

4 子機を充電器からとる(充電器に置いていないときは  または を押す)

5 通話する



6 通話をやめるときは受話器を戻す(スピーカーホンでかけたときは を押す)

■ 子機から親機へ

1 子機を充電器からとって を押してから を押す

2 で「中」を選び を押す

3 親機の受話器をとる

4 通話する



5 通話をやめるときは を押す

メモ

内線通話中に外線がかかってきたとき

● 内線通話中に外線がかかってきたときは親機のベル音が鳴ります。(メロディまたはボイスに設定しているときや呼出回数を0回に設定しているときでもベル音が鳴ります。)

親機の受話器を戻して、もう一度受話器をとると電話につながります。

・ 親機がスピーカーホンを使って内線通話をしているときに外線がかかってくると、親機のベル音が鳴ります。このときは子機と通話できません。  または を押して内線通話を終えてから受話器をとって外線とお話してください。

● 次のときは内線電話中に外から電話がかかってきても着信音が鳴りません。

・ ナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にしている

親機と子機の内線番号について

親機と子機の内線番号については、32ページを参照してください。

お願い

親機がスピーカーホンで内線通話をしているとき、親機と子機を近づけないでください。近づけすぎるとハウリング(「キーン」という音がする)が発生することがあります。

子機と子機で話す

子機を2台以上使用しているとき、子機同士で通話することができます。
(外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。33ページの「電話を取り次ぐ」の「子機1から子機2へ」を参照してください。)

■ 子機 1（電話をかける側）

- 1 子機を充電器からとって **切** を押してから **内線保留** を押す
- 2 **+** で「**3#2**」を選び **機能1 確定** を押す
- 3 子機2が出たら話す
- 4 子機2との通話をやめるときは **切** を押す

■ 子機 2（電話を受ける側）

|||||▶ 子機2の内線着信音が鳴る

子機2を充電器からとります。(充電器から外れているときは、**内線保留** または **外線** を押します。)

|||||▶ 子機1と話す

メモ

- 内線通話をしているときは、子機のスピーカーホンを使用できます。
- 電波状態がよくないときは、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファックス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

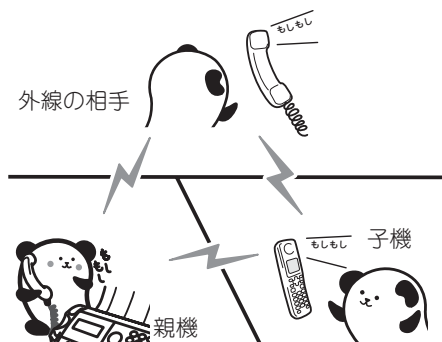
活用する
第8章

こんなときには
第9章

付録
第10章

3人で同時に話す（三者通話）

三者通話は、親機と子機と外線の相手、または子機同士と外線の相手の3人で同時に話すことができます。



■ 親機から子機を呼び出して三者通話をする

- 1 親機で外線通話中に  を押す
- 2 呼び出しする子機の内線番号を押す
- 3 子機が出たら3人で話すことを伝える
- 4 親機の  を押す
三者通話が始められます。

■ 子機から親機を呼び出して三者通話をする

- 1 子機で外線通話中に  を押す
- 2  で「お中」を選び  を押す
- 3 親機が出たら3人で話すことを伝える
- 4 子機の  を押す
三者通話が始められます。

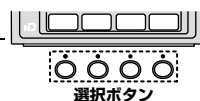
■ 子機1から子機2を呼び出して三者通話をする

- 1 子機1で外線通話中に  を押す
- 2  で「お中」を選び  を押す
- 3 子機2が出たら3人で話すことを伝える
- 4 子機1の  を押す
三者通話が始められます。

注意

- 三者通話は、外線の相手2人と本機の三者ではありません。
- 三者通話から二者通話にするときは、三者通話中の親機の受話器を戻す、または子機の  を押してください。
- 三者通話中に親機または別の子機に電話を取り次ぐときは、三者通話中の親機の受話器を戻す、または子機の  を押し、二者通話にしてから電話を取り次いでください。（※32ページ）
- 受話器や子機を置いたまま（※29ページ）で三者通話をする事ができます。スピーカホンで通話したときや親機と子機、子機と子機の距離が近いときは声が反響して聞き取りにくいことがあります。「通話音質調整」（※93ページ）の設定を変更してみてください。
- 外線の相手と話をしている親機または子機に、他の子機（または親機）が三者通話に割り込むことはできません。
- 三者通話に加わっていない親機には「子機使用中」、子機には「お中 通話中」と表示されます。このとき、電話帳登録や機能設定は操作できない場合があります。ディスプレイが待ち受け画面に戻ってから、操作してください。
- 三者通話中にキャッチホン（※31ページ）の割込音が聞こえたときは、 または  を押すと、三者通話のまま通話中にかかってきた外線の相手と話をすることができます。
- キャッチホン・ディスプレイ（※59ページ）をご利用の場合、三者通話中にかかってきた外線の電話番号は、親機または子機のディスプレイに表示されます。
- 三者通話中の親機や子機では、ダイヤルすることや保留にすることができません。
- 三者通話中に相手の声が聞こえにくかったり声が反響するときは、「通話音質調整」（※93ページ）の設定を変更してみてください。

電話帳に登録する



を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

選択ボタン

よく電話をかける相手や緊急時の連絡先などを「電話帳」に登録しておく、簡単な操作で電話をかけることができます。さらに、ナンバー・ディスプレイにご契約いただいている場合は、迷惑電話など受けたくない電話を拒否できたり、相手先に応じた着信音の鳴り分けを設定できます。(※60ページ)
鳴り分けの設定は、親機では相手先の電話番号に対して設定できますが、子機では電話番号ごとに着信音を設定することはできません。

電話帳の登録

- 電話帳には、親機・子機ともに最大100件まで登録することができます。なお、親機では1件につき2つの電話番号を登録できます。
- 電話帳には、名前（全角10文字（半角20文字）・読み仮名16文字（親機）、11文字（子機）まで）・電話番号（20桁まで（数字、「*」、「#」、「p」（ポーズ）のみ））を登録します。
※ただし、「*」、「#」は電話番号の途中に入れないでください。

親機

1 電話帳を押す

2 新規登録を押す

3 入力を押す

4 名前を入力する

- ・「文字の入れかた（親機）」(※96ページ)
- ・全角10文字まで入力できます。

読み仮名は自動的に半角16文字まで入力されます。

5 確定を押す

読み仮名を修正するときは、名前と同様の手順で入力し直します。

6 次へを押す

7 「TEL1」に電話番号を入力し 電話を押す

- ・20桁まで入力できます。
- ・「TEL2」を入力しないときは「確定」を押します。

8 「TEL2」に電話番号を入力し 確定を押す

- ・「受けつけました」と表示されます。
- ・続けて登録するときは「連続登録」を押します。

9 〇を押す

停止



「メモ」に関しては、38ページをご覧ください。

準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファックス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときには
第9章

付録
第10章

電話帳に登録する

子機

1  で「デノヲョウトウロク」を選び、を押す

▶デノヲョウトウロク

2 名前を入力し、を押す
・「文字の入れかた（子機）」（p.98ページ）
・11文字まで入力できます。

ナマエ?
ブラザ-ハナユ

3 電話番号を入力し、を押す
20桁まで入力できます。

TEL?
052123XXXX

4 を押す

メモ

電話番号の登録のしかた

●「186」または「184」などを付けて電話帳に登録するときは

同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されなかったり、着信鳴り分けができなくなります。

●構内交換機（PBX）で「0」発信のときには

「0」のあとに （親機）または （子機）でポーズ（約3秒間の待ち時間）を入れてください。

●国際電話のときには

国番号のあとに （親機）または （子機）でポーズ（約3秒間の待ち時間）を入れてください。

例) ①「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合

010 + 国番号 + （親機）または （子機）+ 市外局番 + 電話番号

例) ②「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録していない場合

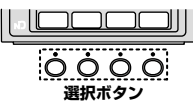
（国際電話サービス会社指定の番号）+ 010 + 国番号 + （親機）または （子機）+ 市外局番 + 電話番号

※ 入力したポーズは「p」（親機）「P」（子機）で表示されます。

●国際電話のかけかたの詳細については、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

●操作を中止するときは、（親機）または （子機）を押します。（登録中のデータは破棄されます。）

停止



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

履歴からの登録／電話帳の変更・削除

発信履歴から登録する		最近かけた10件の発信履歴から登録する
親機	P.37の手順1～6と同様に操作 ●「TEL1」に続いて「TEL2」を入力するときは、 ○を押して□内を繰り返します。	・登録を終了するとき 確定 押す ▶ ○ 押す 停止 ・登録を続けるとき 連続登録 押す
子機	機能1 押す ▶ 十字で「発信履歴」を選ぶ ▶ 機能1 押す ▶ 十字で登録する履歴を選ぶ ▶ 機能1 押す ▶ 十字で「名前」を選ぶ ▶ 機能1 押す ▶ 十字で「名前」を入力 ▶ 機能1 押す ▶ 機能1 押す ▶ 切 押す (文字の入れかたは98ページ)	
着信履歴から登録する		ナンバー・ディスプレイの着信履歴から登録する (ナンバー・ディスプレイは58ページ)
親機	P.37の手順1～6と同様に操作 ●「TEL1」に続いて「TEL2」を入力するときは、 ○を押して□内を繰り返します。	・登録を終了するとき 確定 押す ▶ ○ 押す 停止 ・登録を続けるとき 連続登録 押す
子機	機能1 押す ▶ 十字で「着信履歴」を選ぶ ▶ 機能1 押す ▶ 十字で登録する履歴を選ぶ ▶ 機能1 押す ▶ 十字で「名前」を選ぶ ▶ 機能1 押す ▶ 十字で「名前」を入力 ▶ 機能1 押す ▶ 機能1 押す ▶ 切 押す (文字の入れかたは98ページ)	
電話帳を変更する		登録した電話帳の名前や電話番号を変更する
親機	電話帳 押す ▶ 十字で変更する電話帳を選ぶ ▶ 修正 押す ▶ P.37の手順3以降と同様に操作	
子機	電話帳 押す ▶ 十字で変更する電話帳を選ぶ ▶ 機能1 押す ▶ 十字で「名前」を選ぶ ▶ 機能1 押す ▶ 名前を変更 ▶ 機能1 押す ▶ 電話番号を変更 ▶ 機能1 押す ▶ 切 押す (文字の入れかたは98ページ)	
電話帳を削除する		登録した電話帳を削除する
親機	電話帳 押す ▶ 十字で削除する電話帳を選ぶ ▶ 消去/キャッチ 押す ▶ はい 押す	
子機	電話帳 押す ▶ 十字で削除する電話帳を選ぶ ▶ 機能1 押す ▶ 十字で「名前」を選ぶ ▶ 機能1 押す ▶ 1を押す ▶ 切 押す	

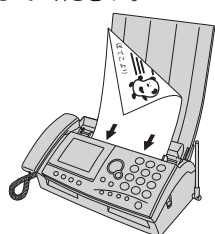
準備する
第1章ご使用の前に
第2章電話
第3章ファックス
第4章コピー
第5章留守番機能
第6章ナンバーディスプレイ
第7章活用する
第8章こんなときには
第9章付録
第10章

ファクスを送る

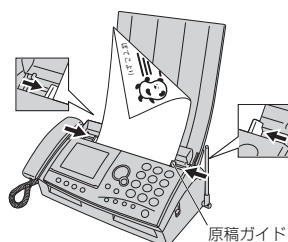
原稿のセットのしかた

ファクスを送信するときやコピーするとき、原稿挿入口に原稿をセットします。

- 1 原稿カバーを開けて、原稿をセットする
原稿は送信する面（コピーする面）を必ず裏向きにセットしてください。



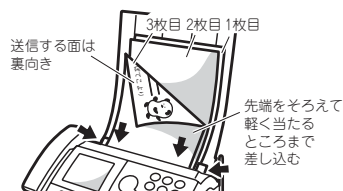
- 2 原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる



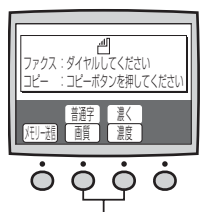
ファクスを送る（自動送信）

ファクスを送ります。

- 1 原稿カバーを開けて、原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる
一度にセットできる原稿は10枚までです。
「原稿・記録紙について」（P.49ページ）



- 2 ダイヤルする、または電話帳から相手先を選ぶ



● ボタンを押すと一時的に画質や濃度を調整できます。
(P.48ページ)

画質は、ファクス送信後に「普通字」に戻ります。設定は記憶されません。

- 3  を押す
スタート/コピー

注意

ファクスを途中でやめるには

 を押します。読み取られていない原稿を取り除き、残った原稿をメッセージにしたがって排紙します。

送れなかったときは

相手が通話中などで送信できなかったときは、5分おきに3回まで自動的に「再ダイヤル」します。このときディスプレイには「再ダイヤル待機中」が表示されます。（「再ダイヤル」を停止するときは  を押します）それでも送信できなかったときは、送信レポートの設定（P.71ページ）によりレポートが印刷されます。

話をしてから送る（手動送信）

相手と通話し、ファクスを送ることを伝えてから送ります。

注意

子機で電話をかけたときは「手動送信」はできません。

- 1 左記「ファクスを送る（自動送信）」の手順1と同様に原稿をセットする

- 2 相手に電話をかける



- 3 相手側（受信側）のスタートボタンを押してもらう



- 4 受話器から「ピーヒョロロ」と音がしたら  を押し、受話器を戻す

スタート/コピー



注意

送れなかったときは

「話をしてから送る」の手順でファクスを送信したときは自動再ダイヤルしません。

同じ相手に再度ダイヤルするときは、 を押します。

□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

選択ボタン

いろいろなファクスの送りかた

海外送信

海外への送信時に設定を「ON」にしてエラーを少なくする



メモ

国際電話のかけかた（ファクスも含め）については、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

メモリー送信

原稿をメモリーに記憶してからファクスを送る



メモ

通常のファクス送信とは違い、原稿を本機のメモリーに記憶してから送信するため、原稿の読みとりがはやく、すぐに原稿を使いたいときなどに便利です。

一括送信

複数の相手先（最大 100 箇所）に同じ原稿を送る



メモ

スタート/コピーを押したあとすぐに原稿の読み取りを開始し、メモリーに記憶してから送信します。

待機一覧

メモリー送信や一括送信で送信待ちのファクスを確認し、解除できます。



準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときには
第9章

付録
第10章

ファクスを送る

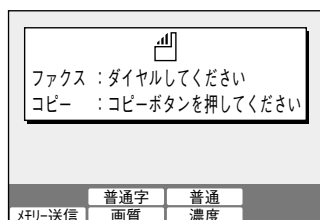
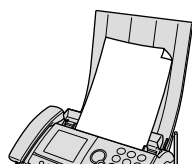
送付書送信

ファクスに送付書を付けて送信することができます。お買い上げ時は「いつも付けない」に設定されています。

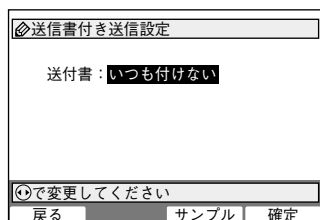
- あらかじめ登録しておいたオリジナルコメントを付けることができます。
- 送付書には、相手先名（電話帳を使って送信したときのみ）・こちらの名前・電話番号・ファクス番号・送付ページ数（「今回のみ付ける」に設定しているとき）・コメントが印刷されます。
- 「送付書」を設定するときは、事前に発信元登録をしてください。発信元登録をしていないときは「送付書」を設定することができません。「名前とファクス番号を登録する（発信元登録）」（※22ページ）

1 原稿カバーを開けて、原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

- ・「原稿のセットのしかた」（※40ページ）一度にセットできる原稿は10枚までです。
- ・「原稿・記録紙について」（※49ページ）



2 機能 3 1 を押す

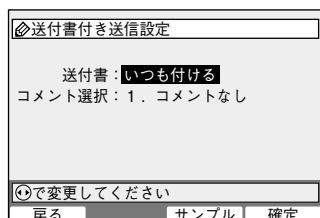


「サンプル」を押すと伝言メッセージのサンプルを印刷できます。

3 で送付書の付けかたを選び 確定 を押す

今回のみ付ける／今回のみ付けない／
いつも付ける／いつも付けない

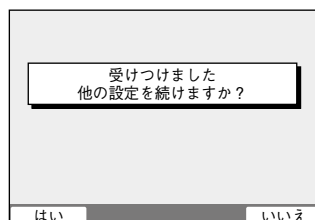
手順3で「いつも付ける」を選んだとき



4 を押し でコメントを選ぶ

1. (コメントなし) / 2. お電話ください / 3. 至急 / 4. 親展 / 5. (オリジナルコメント) / 6. (オリジナルコメント)

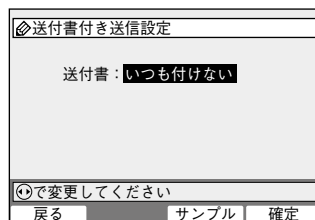
5 確定 を押す



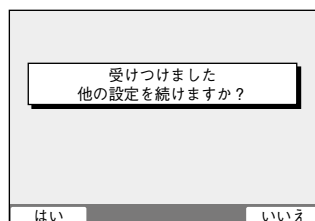
6 いいえ を押す

他の設定をするときは ☐ はい を押します。

手順3で「いつも付けない」を選んだとき

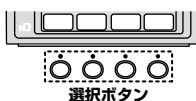


4 確定 を押す



5 いいえ を押す

他の設定をするときは ☐ はい を押します。



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

手順3で「今回のみ付ける」を選んだとき

4 ④を押して⑤でコメントを選ぶ

1. (コメントなし) / 2. お電話ください /
3. 至急 / 4. 親展 / 5. (オリジナルコメント) /
6. (オリジナルコメント)

5 ⑤を押して送信枚数を入力する

確定を押す

7 いいえを押す

他の設定をするときは[はい]を押します。

8 ファクス番号を入力し ⑥を押す

スタート/コピー

手順3で「今回のみ付けない」を選んだとき

4 確定を押す

5 いいえを押す

他の設定をするときは[はい]を押します。

6 ファクス番号を入力し ⑥を押す

スタート/コピー

コメントを登録する

送付書に付けるオリジナルコメントを登録します。
登録できるコメントの文字数は全角16文字、半角32文字
までです。

1 機能 ③(3) ②(2)を押す

2 ④でコメント番号を選び [入力]を押す

3 ダイヤルボタンでコメントを入力し [確定]を押す

4 確定を押す

5 いいえを押す

他の設定をするときは[はい]を押します。

準備する
第1章

ご使用する前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときには
第9章

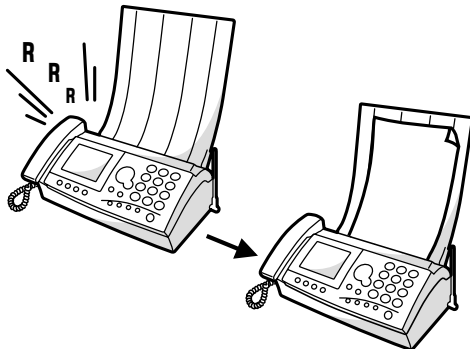
付録
第10章

ファクスを受ける

ファクスをご利用になる頻度によって、受信のしかたを設定することができます。
「電話やファクスの受けかた」(☞23ページ)

自動的に受ける(自動受信)

設定した回数の着信音が鳴り終わると自動的に応答し、相手がファクスのときは自動的に受信します。



注意

呼出回数を「無制限」に設定しているときは、自動的に受信しません。「電話・ファクスの受けかたを変更する」(☞24ページ)

メモ

- ファクスはメモリーに受信します。受信後に印刷したり、ディスプレイで内容を確認できます。初めから記録紙で受信したいときは、みるだけ受信を「しない」に設定してください。(☞46ページ)
ただし、みるだけ受信を「しない」に設定すると、ディスプレイで確認したり、あとでもう一度印刷したりすることはできません。
- 記録紙は、多め(64g/m²紙の場合40枚以下)にセットしておいてください。(☞49ページ)

子機で受ける

親切受信を「する」に設定しておくで、子機をとってから約7秒後にファクスを自動的に受信します。お買い上げ時の親切受信は「する」に設定されています。「親切受信」(☞46ページ)



お願い

親切受信を設定していないときや相手と話したあとに受信するときは、「ポー、ポー」という音が聞こえたら親機の  を押し、 を押してください。

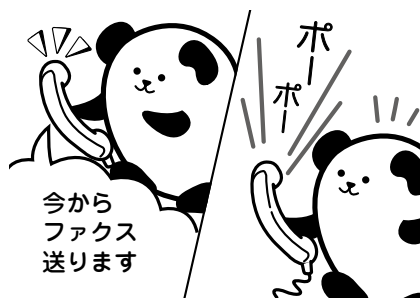
電話に出てから受ける(手動受信)

電話に出てからファクスを受信します。

1 電話を受ける



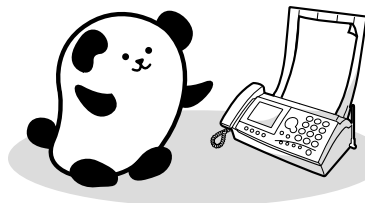
2 相手と話をしたあと、または「ポー、ポー」と音がしていたら、 を押す

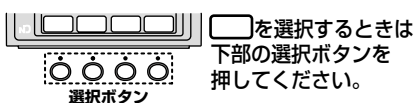


メモ

- 原稿がセットされているときは、取り除いてから  を押します。
- ファクスを受信すると通話は自動的に切れます。

3 受話器を戻す

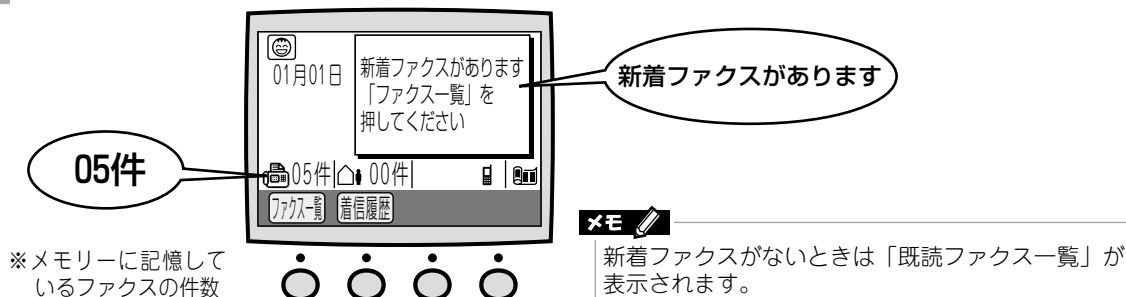




受信したファクスをディスプレイで見ると印刷する（みるだけ受信）・印刷する

新しく届いたファクスや以前受信したファクスの内容を確認できます。お買い上げ時のみるだけ受信は、「する」に設定されています。（※46ページ）

1 ファクスを受信したことが表示されたら「ファクス」を押す



2 「新着ファクス一覧」が表示される

既読ファクス一覧

以前受信したファクス一覧が表示されます。

データの消去

で選び「表示」を押してファクスの内容を表示しているときに「消去/キャンセル」を押す、消去するかどうかの確認メッセージにしたがって「はい」を押します。

メモ

メモリーに記憶できるファクスは、約60枚分※です。不要なファクスのデータは削除してください。

※ A4サイズ700文字程度の原稿を標準的画質（8ドット×3.85本/mm）で蓄積された場合の枚数です。原稿の内容や画質によって、メモリーに記憶できる枚数が異なります。メモリーは留守録と共用しているため音声メッセージの録音がある場合は、メモリーに記憶できるファクスの枚数が減少します。

表示

で選んだファクスの内容が表示されます。表示後、次の操作ができます。

次ページ：次のページを表示します。

回転：表示を90°ずつ右回転させます。

画面印刷：表示しているページを印刷します。

戻る：一覧表示に戻ります。

：たて方向にスクロールします。

：よこ方向にスクロールします。

：縮小表示します。押すたびに、3段階で縮小画面が切り替わります。

：拡大表示します。押すたびに、3段階で拡大画面が切り替わります。

印刷

印刷：で選んだファクスのみ印刷します。

一括印刷：表示しているすべてのファクスを印刷します。

準備する 第1章

ご使用する前に 第2章

電話 第3章

ファクス 第4章

コピー 第5章

留守番機能 第6章

ナンバーディスプレイ 第7章

活用する 第8章

こんなときは 第9章

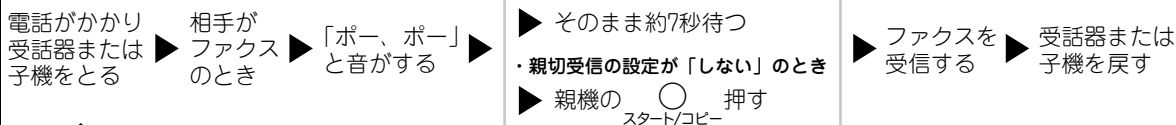
付録 第10章

ファクスを受ける

いろいろなファクスの受けかた

親切受信

かかってきた電話がファクスのとき、そのまま約 7 秒待つとファクスを自動的に受けることができます。

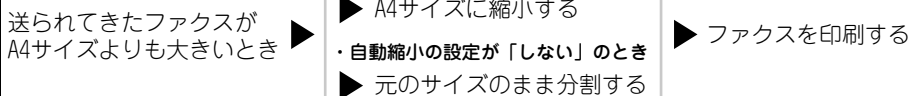


メモ

- お買い上げ時の設定は「する」に設定されています。
- 設定を「しない」にするときは
機能  ②  ③ を押し、 で「しない」を選んで  を押し  を押します。
- ファクスを自動的に受信できないときは
「ポー、ポー」と音がしても、回線の状態によりファクスを自動的に受信できないことがあります。このようなときは、親機の  を押してファクスを手動で受信してください。
- 親切受信の待ち受け時間は
電話に出たあと約40秒間です。
40秒経過すると「ポー、ポー」と音がしても、ファクスを自動的に受信することはできません。このようなときは、親機の  を押してファクスを手動で受信してください。
- 通話中、突然ファクスに切り替ってしまうときは
設定を「しない」にしてください。

A4 自動縮小受信

送られてきたファクスが A4 サイズよりも大きいとき、A4 サイズに縮小して印刷します。

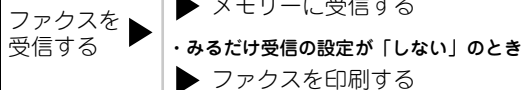


メモ

- お買い上げ時の設定は「する」に設定されています。
- 設定を「しない」にするときは
機能  ②  ④ を押し、 で「しない」を選んで  を押し  を押します。
- 「する」に設定されていても分割されてしまうときは
送られてきたファクス（送り元の原稿）の長さが550mmより短いときはA4サイズに縮小して印刷しますが、長さが550mmより長いときは縮小されずに分割して印刷されます。

みるだけ受信

記録紙の有無に関わらず、メモリーにファクスを受信します。受信したファクスは、ディスプレイで確認したり印刷することができます。



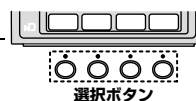
注意

見るだけ受信の設定に関係なく、受信データをメモリーに記憶します。データがメモリーを起えて受信できない場合は、データを削除し、エラーになったページから複数回に分けて送信してもらってください。

メモ

- お買い上げ時の設定は「する」に設定されています。
- 設定を「しない」にするときは
機能  ①  ⑤ を押し、 で「しない」を選んで  を押し  を押す。
- 設定を「しない」にしたときは
ディスプレイで確認したり、あとで印刷したりすることはできません。
送られてきたファクスは直接印刷されますので、必ず記録紙をセットしてください。

コピーする



を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

選択ボタン

コピーのしかた

1

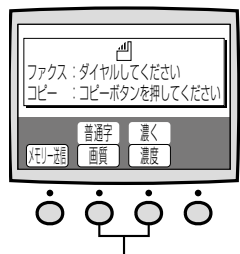
記録紙をセットする

- ・「記録紙をセットする」(P.11ページ)
- ・「原稿・記録紙について」(P.49ページ)

2

原稿カバーを開けて、原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

- ・「原稿のセットのしかた」(P.40ページ)
- 一度にセットできる原稿は10枚までです。
- ・「原稿・記録紙について」(P.49ページ)



- ボタンを押すと一時的に画質や濃度を調整できます。(P.48ページ)

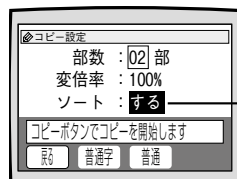
3

スタート/コピーを押す

拡大／縮小コピーや複数コピーをしないときは、ここでもう一度スタート/コピーを押すとコピーが始まります。

4

コピー内容を設定する



- ソートは部数を2部以上に設定し、ソートを押すと表示されます。



- ・コピーする枚数 01～99で入力します
- ・拡大・縮小率 100%、120%、125%、150%、50%、75%、87%、93%、自動
- ・ソート (並べ替え)
2枚以上の原稿を複数(2部以上)コピーするとき、ページ順に1部ごと仕分けてコピーすることができます。

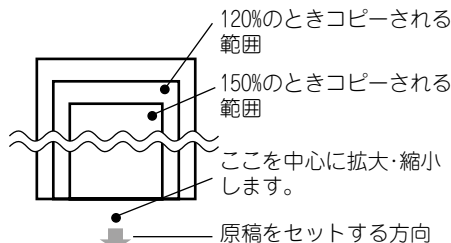
5

スタート/コピーを押す

コピーが始まります。

メモ

- 複数コピーやソートを「する」にしたときは原稿を読み取ったあとでコピーが始まります。
- コピーを途中でやめるには
○を押します。
停止
- 拡大／縮小コピーは
原稿を差し込んだ辺(へん)の中央を基準に行います。ただし、拡大したときは画像の一部が欠けることがあります。



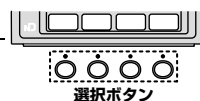
- 1枚目の原稿を読み取っているときに「メモリがなくなりました! 停止ボタンを押してください」と表示されたときは
○を押してコピーを中止し、不要なメモリを削除します。「受信したファクスをディスプレイで見る(みただけ受信)・印刷する」(P.45ページ)すでに1枚以上原稿を読み取っているときは、読み取ったページまでコピーできます。続けるときはスタート/コピーを押してください。

コピーするときの注意

- 法律で禁止されているもの
(絶対にコピーしないでください)
 - ・紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
 - ・外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
 - ・未使用の郵便切手や官製はがき
 - ・政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のあるもの
 - ・著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。
- その他注意を要するもの
 - ・民間発行の有価証券(株券、手形、小切手)、定期券、回数券
 - ・政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

準備する
第1章ご使用の前に
第2章電話
第3章ファクス
第4章コピー
第5章留守番機能
第6章ナビディスプレイ
第7章活用する
第8章こんなときには
第9章付録
第10章

原稿に合わせて濃度や画質を調整する



を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

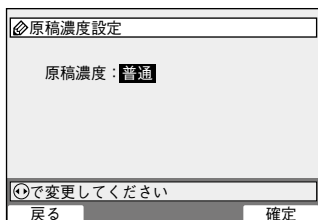
コピーするとき、ファクスを送るとき画質や濃度を原稿に合わせて調整します。

濃度の調整

コピーするとき、ファクスを送るとき濃度を設定します。

- お買い上げ時は、「普通」に設定されています。
- コピー終了後、ファクス送信後も設定は保持されます。

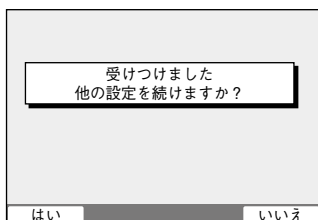
1 機能 3 (3) を押す



2 濃く／普通／薄く

濃く／普通／薄く

3 確定 を押す



4 いいえ を押す

他の設定をするときは [はい] を押します。

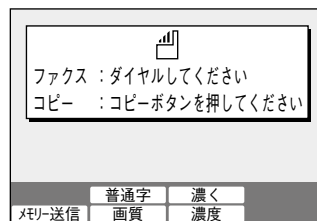
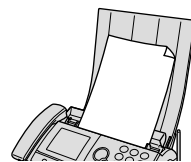
画質の調整

原稿の文字の大きさや種類によって読み取る画質を選択します。

- お買い上げ時は、「普通字」に設定されています。
- コピー終了後、ファクス送信後は元の設定に戻ります。
- コピーのときは、設定に関係なく「精細字」でコピーされます。
- 複数コピーのときは、設定に関係なく「細かい字」でコピーされます。

1 原稿カバーを開けて、原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

- ・「原稿のセットのしかた」(P40ページ)
一度にセットできる原稿は10枚までです。
- ・「原稿・記録紙について」(P49ページ)



ボタンを押すと
濃度を調整でき
ます。

2 画質 を押す

読み取る細かさを選択します。

普通字／細かい字／
精細字／写真

画質を選ぶ目安は次のとおりです。

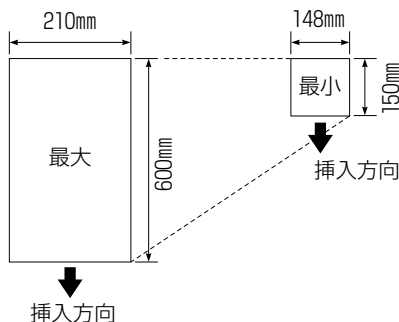
- ・「普通字」 : 大きくはっきりと見える文字
- ・「細かい字」 : 雑誌のように小さい文字
- ・「精細字」 : 新聞のように細かい文字
- ・「写真」 : 写真やカラーの原稿

原稿・記録紙について

原稿のサイズと紙厚

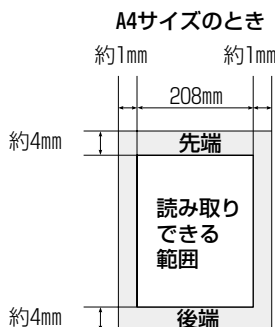
使用できる原稿のサイズと厚さは次のとおりです。
これ以外のサイズの原稿を使うときは、コピー機で拡大・縮小コピーをするか、薄く小さすぎる原稿は市販のキャリアシートに入れてセットしてください。

- **最大原稿サイズ**：210（幅）×600（長さ）mm
長さが400 mm以上の原稿は手で支えながら送信してください。
- **最小原稿サイズ**：148（幅）×150（長さ）mm
- **紙厚**：0.08～0.10mm
- **重量**：64g/m²～81.4g/m²（55～70kg紙）



原稿の読み取り範囲

原稿をセットしたとき、読み取ることのできない範囲（部）がありますのでご注意ください。
また、読み取ることのできる範囲は、原稿の紙質・紙厚・原稿をセットした状態などにより変化する場合があります。



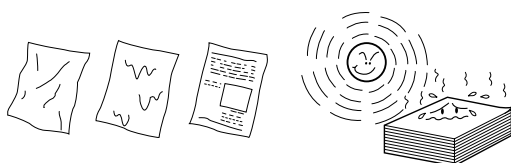
使用できない原稿

次のような原稿をセットすると原稿がつまったり破れたりすることがあります。必要な処置をしてセットしてください。

使用できない原稿	処置
ホチキスの針やクリップのついた原稿	ホチキスの針、クリップを外してください。
そり、折れ、しわのある原稿	たいらにするか、コピー機でコピーしてください。
●官製はがきのように厚い原稿 ●本のように閉じてある原稿	コピー機でコピーしてください。
●穴、破れのある原稿 ●貼り合わせた原稿 ●アート紙、銀紙、カーボン紙など表面が加工された原稿 ●インデックス、付せんなどはみ出た部分がある原稿 ●登記書のように薄くてやわらかい原稿 ●つるつるすべる原稿	コピー機でコピーしてください。 薄くて小さい原稿であれば、キャリアシートを使って使用することがある場合があります。
朱肉、修正液、インクなどが乾いていない原稿	完全に乾かしてください。

記録紙について

- A4サイズ（210×297 mm）のコピー用紙または普通紙をご使用ください。
- 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。



- 重量：64g/m²（55kg紙）または81.4g/m²（70kg紙）
用紙の厚さによってセットできる枚数が異なります。
64g/m²の用紙で約40枚、81.4g/m²の用紙で約30枚セットできます。

次のような用紙をセットしないでください。

用紙がつまったり、故障の原因になります。

- そり、折れ、しわのある用紙
- 湿っている用紙
- 穴、破れのある用紙
- 薄くてやわらかい用紙
- つるつるすべる用紙
- 感熱紙、アート紙のように表面が加工された用紙
- 新聞広告（裏紙）
- すでに印刷されている用紙の裏
- レポート用紙

留守番機能を利用する

出かけるとき

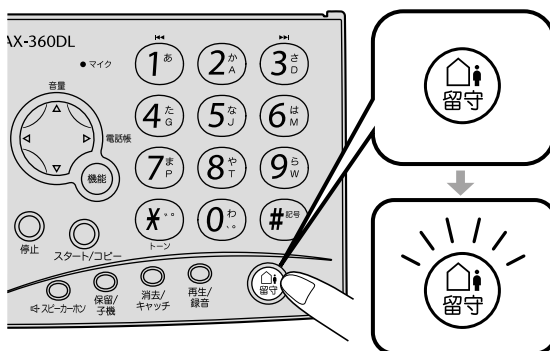
■ 留守モードを設定する

お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。子機では、留守モードを設定／解除することはできません。

留守ボタンを押す

ボタンが点灯し、「留守モード」がセットされます。

ただいま留守しております。
電話のかたは・・・



メモ

● 留守応答メッセージについて

本機にはあらかじめ固定留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて留守応答メッセージを2種類まで録音することができます。「応答メッセージの設定」(P52 ページ)

録音されている留守応答メッセージ:「ただいま留守しております。電話のかたは発信音のあとにお話してください。ファクスのかたは、そのまま送信してください。」

● 呼出回数について

着信してから、本機が自動的に応答するまでに鳴る呼出回数を設定することができます。「呼出回数の設定」(P25 ページ)

● メッセージの録音時間について

留守モード中にかかってきた相手からのメッセージを録音する時間(1回あたり)を設定することができます。「メッセージの録音時間の設定」(P53 ページ)

録音時間は、相手側の状況(声の質や周りの騒音など)によって変わることがあります。また、受信したファクスがメモリーに記憶されているときは録音時間が短くなります。

● 留守録モニターについて

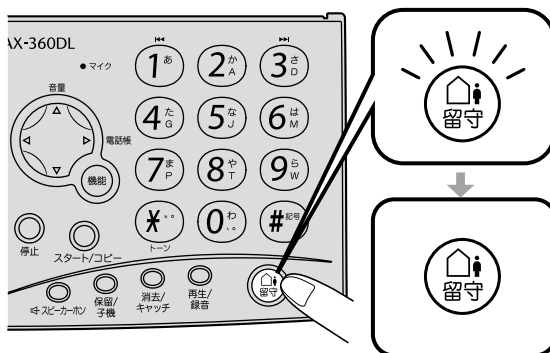
留守録モニターの音量を変更したいときは、スピーカー音量を変更してください。

「スピーカー音量を設定する」(P68 ページ)

■ 留守モードを解除する

留守ボタンを押す

ボタンが消灯し、「留守モード」が解除されます。



メモ

外出先から留守モードを設定または解除することができます。「外出中の便利な使いかた」(P54 ページ)



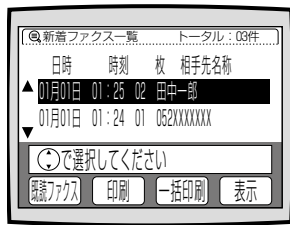
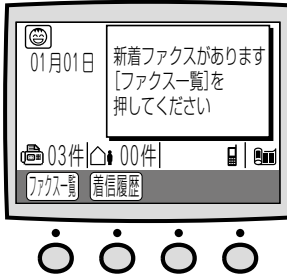
帰ってきたとき

■ ファクスが届いているとき

1

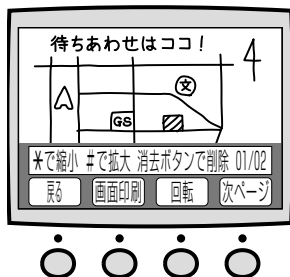
ファクスを押す

新着のファクス一覧が表示されます。



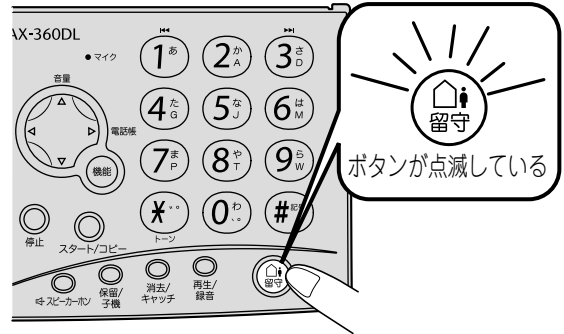
- 表示しているすべてのファクスを印刷するとき記録紙をセットして押します。
- 選択したファクスのみを印刷するとき記録紙をセットして押します。
- 印刷したあと削除するかどうかを選択します。

2 ④で見たいファクスを選び **表示**を押す



- 表示中の1ページを印刷するとき記録紙をセットして押します。(※45ページ)

■ 音声メッセージがあるとき



留守を押す

留守モードが解除され、新しく録音されたメッセージが再生されます。

メモ

再生を押すと、新しく録音されたメッセージが再生されます。新しいメッセージがないときは、保存されているすべてのメッセージが再生されます。

■ 音声メッセージを確認する

子機では、音声メッセージを再生/消去することはできません。

メッセージを聞き直す	
再生中のとき	①を押す
再生中でないとき	再生を押す
次のメッセージを聞く	
再生中に③を押す	
途中でメッセージの再生をやめる	
再生中に○を押す	
メッセージを消去する	
再生中のとき (そのメッセージが消去される)	消去/キャンセルを押す、確認してもう一度消去を押す
再生中でないとき (すべてのメッセージが消去される)	消去/キャンセルを押す、確認してはいを押す

準備する 第1章

ご使用の前に 第2章

電話 第3章

ファクス 第4章

コピー 第5章

留守番機能 第6章

ナンバーディスプレイ 第7章

活用する 第8章

こんなときには 第9章

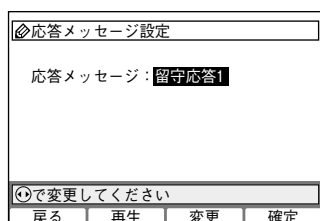
付録 第10章

メッセージを設定する

応答メッセージの設定

本機にはあらかじめ「在宅応答メッセージ」と「留守応答メッセージ」が録音されていますが、必要に応じて在宅応答メッセージ（1種類）と留守応答メッセージ（2種類）を録音（20秒まで）することができます。

1 機能 6 M 1 を押す



2 設定する応答メッセージを選び 確定 を押す

留守応答1 / 留守応答2 / 在宅応答

■ メッセージを録音するとき

3 変更 を押す



4 録音 を押す

5 受話器をとり、スタート/コピーを押してメッセージを録音する

6 終了したら受話器を戻す 録音内容が自動的に再生されます。

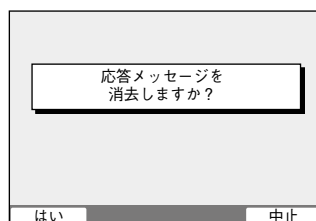
7 停止を押す 設定を終了します。

■ メッセージを消去するとき

3 変更 を押す



4 消去 を押す



5 はいを押す メッセージが消去されます。

6 停止を押す 設定を終了します。

■ メッセージを再生するとき

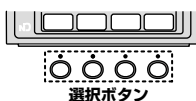
3 再生を押す メッセージが再生されます。



4 停止を押す 設定を終了します。

メモ

- 再呼び出し設定（※26 ページ）で「相手にメッセージ」を選択して、本機が自動的に電話を受けたとき、応答メッセージを設定していない場合は、本機に録音されている固定応答メッセージが再生されます。
- 再呼び出し設定（※26 ページ）で「相手にベル」に設定された状態で在宅応答メッセージを録音すると、在宅応答メッセージは自動的に「相手にベル」から「相手にメッセージ」に変更されます。



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

留守応答メッセージの選択

自分で留守応答メッセージを録音したとき、留守応答メッセージを選ぶことができます。

1 を押す
留守ボタンが点灯しているときは、を押してボタンを消灯させてから、再度を押してください。

2 メッセージ再生中に①¹または③³を押す
留守応答メッセージを選びます。

再生／再生1／再生2

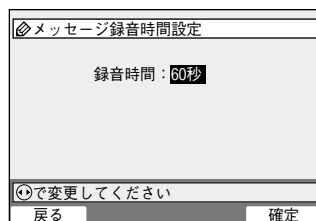
- ・「再生」
あらかじめ録音されている固定留守応答メッセージ
- ・「再生1」
自分で録音した留守応答メッセージ1
- ・「再生2」
自分で録音した留守応答メッセージ2
- ・メッセージを再生したあと、そのメッセージで留守モードにセットされます。
- ・メッセージ再生中に○を押すと、再生を中止して前回選択したメッセージで留守モードにセットされます。

メッセージの録音時間の設定

留守モードのときや通話を録音するとき、1回あたりの録音時間を設定します。

- お買い上げ時は、「60 秒」に設定されています。
- 1回の最大録音時間は約3分、総録音時間は約58分です。

1 ⑥⁶ ②²を押す



2 で録音時間を選び を押す

30/60/120/180秒

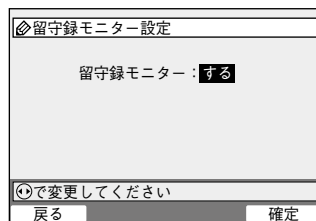
「受けつけました」と表示されます。

3 ○を押す
停止

留守録モニターの設定

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本機のスピーカーで聞く(モニターする)かどうかを設定できます。
お買い上げ時は、「する」に設定されています。

1 ⑥⁶ ③³を押す



2 で設定を選び を押す

する／しない

「受けつけました」と表示されます。

3 ○を押す
停止

留守録モニターの音量を変更したいときは、スピーカー音量を変更してください。「スピーカー音量を設定する」(P.68ページ)

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナンバーディスプレイ

第8章
活用する

第9章
こんなときは

第10章
録

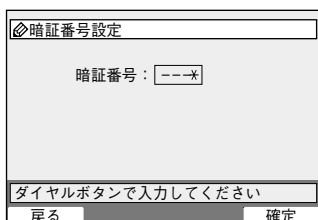
外出中の便利な使いかた

暗証番号の設定

留守録転送やリモコンアクセスをするためには、あらかじめ暗証番号を設定しておく必要があります。

- お買い上げ時は、暗証番号の設定はされていません。暗証番号が設定されていない場合（---*）は、リモコンアクセスや留守録転送機能を使用することはできません。

1 機能 6 は M 4 た G を押す

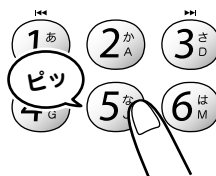


以前に設定した暗証番号を変更するときは、ディスプレイの「---*」に現在の暗証番号（3桁）が表示されます。

2 暗証番号を入力する

暗証番号はダイヤルボタンの0[※]～9[※]、*[※]、#[※]を使って入力します。

必ず、3桁の暗証番号を入力してください。暗証番号は、3桁の番号と最後の「*」（固定）で構成されます。



○を押した場合、暗証番号は設定されず待ち受け画面に戻ります。

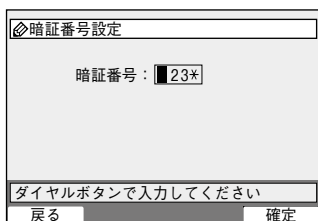
3 確定を押す

暗証番号の消去

一度入力した暗証番号を消去します。

1 機能 6 は M 4 た G を押す

カーソルが先頭にあることを確認してください。

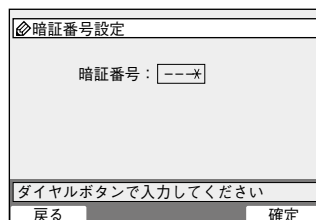


○を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

2 ○を押す

停止

暗証番号が消去されます。



3 確定を押して○を押す

停止

リモコンアクセス

トーン信号でリモコンコードを入力し、外出先から本機を操作することができます。

本書には「リモコンアクセスカード」(P109ページ)があります。切り取ってお持ちいただくと外出先から操作するときに便利です。

リモコンアクセスするためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。

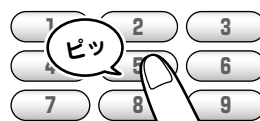
1 外出先から電話する

2 本機からの応答メッセージが流れてきたら # * を続けて押す

「暗証番号を入れてください」と音声でお知らせします。

3 暗証番号を入力する

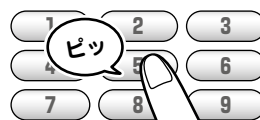
0～9、*、#を使って3桁の暗証番号と最後に「*」を入力します。



暗証番号を受けつくと音声メッセージの件数を音声でお知らせします。

4 リモコンコードを入力する

リモコンコードについて「リモコンコード表」(P55ページ)



[例] 録音されている音声メッセージを再生するときは 9 1 を押します。

5 終了するときは 9 0 を続けて押す

■ リモコンコード表

コード	操作内容	
■音声メッセージ		
91	音声メッセージを再生する	再生中に $\textcircled{1}$ ：メッセージを最初から再生 メッセージとメッセージの間で $\textcircled{1}$ ：前のメッセージを再生 再生中に $\textcircled{2}$ ：次のメッセージを再生 再生中に $\textcircled{9}$ ：再生を中止 録音されているメッセージを再生したあと、録音された日時を音声でお知らせします。
93	メモリーに録音されているすべての音声メッセージを消去する	「消去しました」と音声でお知らせします。 一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がします。
■設定		
951	留守録転送、ファクス転送の設定を「しない」にする	
952	ファクス転送を設定する（番号が登録されていないときは設定不可）	
954	ファクス転送先を設定する	$\textcircled{9}\textcircled{5}\textcircled{4}$ のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、 $\textcircled{\#}$ を2回押してください。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に「ファクス転送」になります。
956	みるだけ受信を「する」に設定する	
957	みるだけ受信を「しない」に設定する	
■メモリー操作		
962	メモリーに記憶されたファクスを取り出す	$\textcircled{9}\textcircled{6}\textcircled{2}$ のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、 $\textcircled{\#}$ を2回押して受話器を戻してください。
971	受信したファクスが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がします。 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がします。
972	音声メッセージが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がします。 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がします。
■モード変更		
981	留守モードにする	「留守に設定しました」と音声でお知らせします。
982	在宅モードにする （留守モードを解除する）	「留守設定を解除しました」と音声でお知らせします。
■リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する	

メモ

「リモコンアクセスカード」（109ページ）を切り取ってお使いいただくと便利です。

準備する
第1章ご使用の前に
第2章電話
第3章ファクス
第4章コピー
第5章留守番機能
第6章ナンバーディスプレイ
第7章活用する
第8章こんなときには
第9章付録
第10章

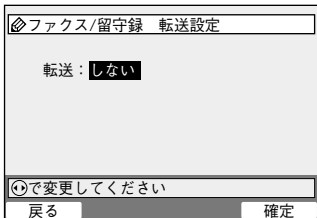
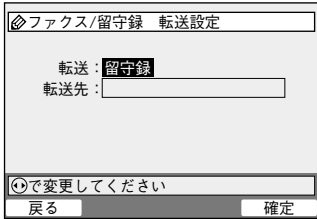
外出中の便利な使いかた

留守録転送

留守モードのときに音声メッセージが録音されると、外出先の指定した電話に転送します。

- ファクス転送と同時に設定することはできません。
- NTTのボイスワープサービスとは異なります。
- 転送先の電話が話し中のとき、呼び出しても電話に出ないとき、電話に出ても暗証番号が押されないときは、10分おきに5回まで再ダイヤルします。
- 留守モードのときのみ転送できます。

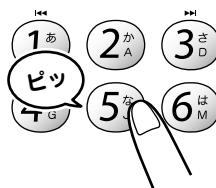
■ 留守録転送する

- 機能 **6** **5** を押す

- で「留守録」を選び を押す


しない／ファクス／留守録

暗証番号が設定されていないときは、「留守録転送の設定ができません！ 暗証番号を登録してください」が表示され、暗証番号の入力画面になります。暗証番号を設定してください。「暗証番号の設定」(P54ページ)

- 転送先の電話番号を入力し **確定** を押す



「受けつけました」と表示されます。

- を押す
 停止
 留守モードに設定すると、ディスプレイに **留守録転送** が表示されます。

■ 転送先で確認する

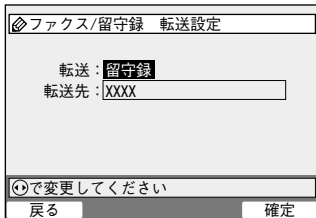
- 電話がかかってきたら、音声ガイダンスにしたがって暗証番号を入力する
 0～9、*、#を使った3桁の暗証番号と最後に「*」を入力してください。
 「暗証番号の設定」(P54ページ)

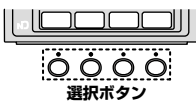
- メッセージを聞く



- ・2件以上あるときは連続して再生されます。
- ・再生終了後に電話は自動的に切れます。

■ 解除する

- 機能 **6** **5** を押す

- で「しない」を選び **確定** を押す
 しない／ファクス／留守録
 「受けつけました」と表示され、ディスプレイの **留守録転送** 表示が消えます。
- を押す
 停止



を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

ファクス転送

ファクスが着信すると、本体のメモリーに受信して外出先の指定したファクシミリに転送します。

- 留守録転送と同時に設定することはできません。
- 転送先のファクシミリが通話中のときは、5分おきに3回まで再ダイヤルします。

■ ファクス転送する

- 機能 6 ^は 5 ^な を押す
- で「ファクス」を選び を押す
- 転送先のファクス番号を入力し 確定 を押す
- を押す
 停止
 ディスプレイに **ファクス転送** が表示されます。

■ 解除する

- 機能 6 ^は 5 ^な を押す
- で「しない」を選び 確定 を押す
 しない/ファクス/留守録
 「受けつけました」と表示され、ディスプレイの **ファクス転送** 表示が消えます。
- を押す
 停止

準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときは
第9章

付録
第10章

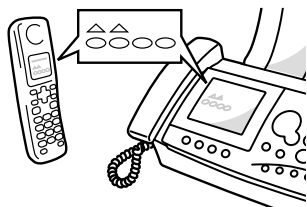
ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは

本機では、NTTとのご契約によってナンバー・ディスプレイサービスをご利用いただくことができます。サービスの詳細については、NTT（116：無料）にお問い合わせください。

注意

- 本機の設定だけでは、「ナンバー・ディスプレイ」は利用できません。**NTT とのご契約が必要です。（有料）**同時に利用できないサービスについては、NTT お問い合わせください。
- ISDN 回線を利用されているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタが必要になります。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されているときは、誤動作することがあります。



■電話番号表示機能

電話がかかってくると、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。



■名前表示機能

親機と子機の電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前がディスプレイに表示されます。

※ 電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、「ネーム・ディスプレイ」のご契約にかかわらず、本機に登録された名前が表示されます。



■着信鳴り分け機能

親機では、電話番号ごとに着信音を指定できます。また、かかってきた電話番号が非通知の場合の着信音を設定することができます。

子機では、子機の電話帳に登録している相手からの着信音を設定することができます。

着信音は、次の中から指定して登録します。

- ・記憶されているベル音（親機 4 種類、子機 1 種類）
- ・着信メロディ、着信ボイス（親機 32 曲・18 ボイス、子機 6 曲）



■迷惑電話防止機能

迷惑電話などの受けたくない電話を、着信音が鳴らないようにすることができます。

■非通知着信拒否／公衆電話拒否機能

相手の電話番号が非通知、または公衆電話の場合、着信を拒否し、お断りメッセージを流します。

※ ISDN 回線でご利用のターミナルアダプタによっては、着信を拒否できない場合があります。



■着信履歴機能

電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。

記録した電話番号は次のように活用できます。

- ・ディスプレイに表示する
- ・「着信履歴」として印刷する（親機のみ）
- ・親機または子機の電話帳に登録する
- ・記録した電話番号に電話をかける

着信履歴は30件まで記録できます。31件以上になると、古い順に消去されます。



を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

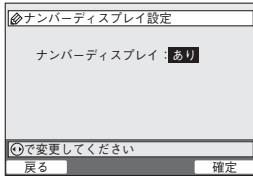
ナンバー・ディスプレイを設定する

NTTのご契約後、ナンバー・ディスプレイを利用するときは「あり」に、利用しないとき、または利用を一時的に中止するときは「なし」に設定します。「あり」に設定しているときは、「着信鳴り分け」「迷惑電話防止」「着信拒否」「着信拒否モニター」などが設定できます。

■ 設定する

お買い上げ時は、ナンバー・ディスプレイ「あり」に設定されています。

1 機能(8) 1を押す



2 でナンバー・ディスプレイの設定を選び 確定を押す

あり/なし

- ・「あり」
ナンバー・ディスプレイが使用できます。
(NTTのご契約が必要です。)
- ・「なし」
ナンバー・ディスプレイが使用できなくなります。
「受けつけました」と表示されます。

3 を押す

停止

メモ

- 「なし」に設定しているときは
「着信鳴り分け」「着信拒否」「着信拒否モニター」などのメニューは表示されません。
- ナンバー・ディスプレイを利用するときは
呼出回数を3回以上に設定してください。2回以下に設定していると、子機のディスプレイに相手の電話番号が表示できないことがあります。「呼出回数の設定」(P25 ページ)

■ 電話がかかってきたときは

電話がかかってくると、相手の名前や電話番号が表示されます。

1 着信音が鳴り、ディスプレイに相手の名前が表示される

電話帳に名前を登録していないときは、電話番号が表示されます。



＜親機＞

＜子機＞

● その他の表示

- ・非通知(親機) ヒツジ (子機)
相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
- ・公衆電話(親機) コウシュウデン (子機)
公衆電話からかけてきたとき
- ・表示圏外(親機) ヒョウシケンガイ (子機)
相手がサービス対象地域外から電話をかけてきたとき、サービス未実施のCATV電話サービスからかけてきたとき
- ・161 (Fネット)
Fネットでファクスを受信したとき

注意

ナンバー・ディスプレイをご契約いただいている場合は、必ずナンバー・ディスプレイ「あり」に設定してください。ナンバー・ディスプレイ「なし」に設定すると、電話に出てもすぐに電話が切れてしまう場合があります。

メモ

電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、本機に登録された名前が表示されます。また、ネーム・ディスプレイのご契約をしている場合は、電話帳に登録していなくても相手の名前を表示することもできます。

キャッチホン・ディスプレイを利用する

キャッチホン・ディスプレイはNTTが行っているサービスで、外線通話中にかかってきた相手の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。サービスの詳細についてはNTT(116: 無料)にお問い合わせください。お買い上げ時は、キャッチホン・ディスプレイ「なし」に設定されています。

注意

- 本機の設定だけでは、ディスプレイに相手の電話番号は表示されません。キャッチホン・ディスプレイをご利用いただくためには、「キャッチホン」または「キャッチホンⅡ」と「ナンバー・ディスプレイ」をご契約の上、NTTのご契約が必要です。(有料) 同時に利用できないサービスについては、NTTにお問い合わせください。
- ISDN回線を利用されているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタが必要になります。
- 構内交換機(PBX)に接続しているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- ブランチ接続(並列接続)をしているときは、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されているときは、誤動作することがあります。
- 子機はキャッチホン・ディスプレイが10秒間表示されます。
- 通話中、キャッチホン・ディスプレイが入ると「ピポッ、ザー」とデータ通信音が聞こえ、通話が途切れます。

●設定方法は、機能(8) 6を押し、上記「ナンバー・ディスプレイ」設定の手順2、3と同様に操作します。

準備する
第1章

ご使用する前に
第2章

電話
第3章

ファックス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバー・ディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときには
第9章

付録
第10章

ナンバー・ディスプレイを利用する

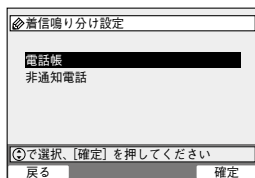
着信鳴り分けを設定する

親機では、ナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にすると、電話帳に登録した電話番号ごとに着信音を設定することができます。また、番号非通知の電話に対して着信音を設定することもできます。
子機では、子機の電話帳に登録している相手からの着信音を設定することができます。

■ 電話帳に登録した電話番号ごとに着信音を鳴り分ける〔親機〕

お買い上げ時は、「ベル1」に設定されています。

1 機能 8 や 2 か を押す



2 着信音を設定する「電話帳」「非通知電話」のどちらかを選択し 機能 確定 を押す

- ・「電話帳」を選んだときは
電話帳に登録した電話番号ごとに着信音を設定します。
- ・「非通知電話」を選んだときは
電話番号非通知で着信したときの着信音を設定します。

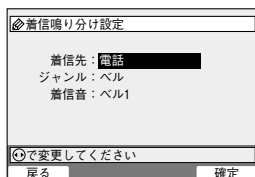
メモ

「非通知着信拒否」(※61 ページ) の設定を「する」に設定すると、「非通知電話」で設定した着信音は鳴りません。着信音を鳴らすには、設定を「しない」にしてください。

手順2で「電話帳」を選んだときは手順3へ

手順2で「非通知電話」を選んだときは手順5へ

3 着信音を設定する電話番号を選び 機能 確定 を押す



4 着信方法を選び 機能 確定 を押す

電話／ファクス／迷惑指定

- ・「電話」
着信音が鳴ります。
- ・「ファクス」
着信音は鳴らず、自動的にファクスを受信します。
- ・「迷惑指定」
着信音が鳴りません。
「迷惑電話防止」(※61 ページ)

5 着信音のジャンルを選び 機能 確定 を押す

ベル4／着信ボイス12／
楽しいメロディ5／癒しのメロディ15／
季節のメロディ12／目覚ましボイス6

ジャンルは「メロディー覧」(※67 ページ)

6 着信音を選ぶ

ベル4／メロディ32／ボイス18

着信音は「メロディー覧」(※67 ページ)

7 機能 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

8 機能 停止 を押す

メモ

- 電話帳に登録していても着信鳴り分けを設定していない相手からの電話は、「着信音の設定」(※65 ページ) で設定したベル音(メロディまたはボイス)が鳴ります。
- 「TEL1」、「TEL2」の両方に電話番号が登録されているとき、着信鳴り分けは「TEL1」のみ設定できます。「TEL2」から電話がかかってくると、「TEL1」で設定した音で鳴ります。

■ 電話帳に登録している相手からの着信音を鳴り分ける〔子機〕

1 機能 機能 確定 を押す

▶ メイト・ウオラッティ
ハグジリルキ
チャクジリルキ

2 機能 機能 確定 を押す

3 機能 機能 確定 を押す

2. チャクジリ ナリワケ
▲▼ センタノカケイ

4 機能 機能 確定 を押す

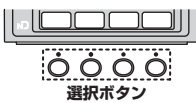
▶ ヘル
アウ・エ・マリア
オキナフルト・ケイ

ヘル／アウ・エ・マリア／オキナフルト・ケイ／ガ・ボット／
キラキラ・シンキヨリ／ハレノワツ

5 機能 切 を押す

メモ

- 子機は、電話番号ごとに着信音を設定することはできません。
- 子機の電話帳に登録していない相手からの着信音は、「着信音の設定」(※65 ページ) で設定した着信音になります。



を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

いろいろなナンバー・ディスプレイの利用のしかた（親機）

ナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にする必要があります。「ナンバー・ディスプレイを設定する」(P59ページ)

迷惑電話防止

受けたくない電話やファクスの着信音を鳴らないようにする

迷惑電話として設定したい電話番号を電話帳に登録する必要があります。電話帳から該当の電話番号を削除すると、機能が解除されます。



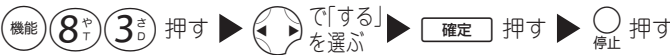
メモ

- 電話がかかってきたときは
着信音は鳴りませんが、親機のディスプレイには相手の名前または電話番号が表示されます。
- 相手の電話は
呼出し中、通常の呼出音が聞こえます。
- 設定を変更するときは
「着信鳴り分けを設定する」(P60ページ)

非通知着信拒否

番号非通知の電話を着信を拒否してお断りのメッセージを流す

お買い上げ時は「しない」に設定されています。



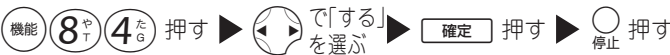
メモ

- 電話がかかってきたときは
着信音を鳴らさずに電話を受け
「恐れ入りますが、電話番号の前に186を付けて電話番号を通知しておかけ直してください。」
のメッセージを3回流したあと自動的に電話を切ります。
- 親機のスピーカーからは
着信拒否メッセージと相手の声を聞くことができます。(表内下記の着信拒否モニター参照)
- ファクスを受信したときは
自動的に電話を切り、ファクスは受信しません。

公衆電話拒否

公衆電話からの電話を着信を拒否してお断りのメッセージを流す

お買い上げ時は「しない」に設定されています。



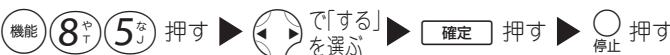
メモ

- 電話がかかってきたときは
着信音を鳴らさずに電話を受け
「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」
のメッセージを3回流したあと自動的に電話を切ります。
- 親機のスピーカーからは
着信拒否メッセージと相手の声を聞くことができます。(表内下記の着信拒否モニター参照)

着信拒否モニター

非通知着信拒否と公衆電話拒否の着信拒否メッセージと相手の声を聞く

お買い上げ時は「しない」に設定されています。



メモ

- 着信拒否メッセージが聞こえている間は
受話器をとって電話に出ることができます。

準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバー・ディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときには
第9章

付録
第10章

ナンバー・ディスプレイを利用する

ネーム・ディスプレイを利用する（親機）

ネーム・ディスプレイはNTTが行っているサービスで、電話がかかってきたときに相手の名前、電話番号を本機の電話帳に登録していなくてもディスプレイに表示されます。サービスの詳細についてはNTT（116：無料）にお問い合わせください。ネーム・ディスプレイはナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にする必要があります。「ナンバー・ディスプレイを設定する」（※59ページ）

子機には対応していません。

かける人

① 相手の電話番号をダイヤル



03-1234-5678
ブラザー太郎

電話をかけるときに、「発信者名」が発信電話番号とともに相手の電話機に表示されるので、安心して電話に出られます。

ご自分の「発信者名」を通知するには

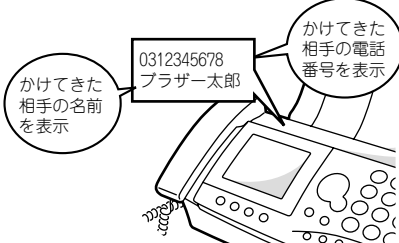
NTT東日本・NTT西日本にお申し込みください。費用はかかりません。

② 発信者番号と「発信者名」を通知



受ける人

③ 発信電話番号とともに「発信者名」を表示



電話に出る前に、かけてきた相手の「発信者名」が発信電話番号とともに、電話機に表示されるので、安心して電話に出ることができます。

「発信者名」をご自分の電話機に表示させるには

「ネーム・ディスプレイ」、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。NTT東日本・NTT西日本にお申し込みください。

メモ

● 提供地域

全国（NTT 東日本、NTT 西日本のサービス提供地域）
※一部交換機の種類などにより提供できない地域があります。

● 発信者名を表示する通話

NTT 東日本および NTT 西日本の契約者回線から発信され、発信者名を通知する通話について発信者名を通知します。なお、発信者のお客様が「マイライン」でどの会社を選択されていても発信者名を表示します。

● 表示される文字

10 文字以内の漢字などで発信者名が表示されます。

● 料金

月額使用料：住宅用、事務用とも 100 円（INS ネット 1500 については 1,000 円）

※別に、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。

（参考）ナンバー・ディスプレイ料金（2006年2月現在）

(1) 月額使用料	加入電話、ライトプラン	400円（住宅用）、1,200円（事務用）
	INSネット64、INSネット64ライト	600円（住宅用）、1,800円（事務用）
	INSネット1500	18,000円
(2) 工事料		2,000円

お問い合わせは

ナンバー・ディスプレイカスタマーセンター

ハッシュバシコウサキ

☎0120-848-521

受付時間 9:00 ～ 17:00

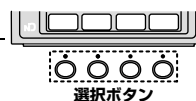
（日曜祝日は休業とさせていただきます）

お申し込みは

局番なしの「116：無料」

受付時間 9:00 ～ 17:00

（年末年始を除き、土日・祝日も営業しております）



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

履歴を利用する

着信履歴を利用する

着信履歴を利用するためには、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。「ナンバー・ディスプレイとは」(P.58 ページ)

- 最近かかってきた着信履歴が30件まで記憶されています。
- 着信履歴を利用して電話をかけることができます。また、着信履歴から電話帳を登録「着信履歴から登録する」(P.39 ページ)したり、着信履歴を印刷することができます。
- ナンバー・ディスプレイの契約をしていないときや着信履歴がないときは、「ナンバー・ディスプレイの着信履歴がありません」(親機)または「チャットリキ ナ」(子機)と表示されます。
- 操作を中止するときは、○(親機)または切(子機)を押します。

着信履歴を見る

親機	着信履歴 押す → 繰り返すとき → 停止 押す
子機	外線 消灯していることを確認 → キャッチ 着信履歴 押す → 繰り返すとき → 切 押す

着信履歴から電話する

親機	着信履歴 押す → 電話する履歴を選ぶ → 受話器をとる → スタート/コピー 押す
子機	外線 消灯していることを確認 → キャッチ 着信履歴 押す → 電話する履歴を選ぶ → 外線 押す

着信履歴を1件ごと削除する

親機	着信履歴 押す → 削除する履歴を選ぶ → 消去/キャッチ 押す → はい 押す → 停止 押す
子機	外線 消灯していることを確認 → 機能 押す → 電話する履歴を選ぶ → 機能 押す → 削除する履歴を選ぶ → 機能 押す → 電話する履歴を選ぶ → 機能 押す → 1 ア 押す → 切 押す

着信履歴をすべて削除する

親機	機能 8 や 7 プ 押す → はい 押す → 停止 押す
子機	外線 消灯していることを確認 → 機能 押す → 電話する履歴を選ぶ → 機能 押す → 機能 押す → 電話する履歴を選ぶ → 機能 押す → 1 ア 押す

着信履歴を印刷する

親機	記録紙をセットする → 着信履歴 押す → 印刷 押す → 開始 押す
----	-------------------------------------

準備する 第1章

ご使用の前に 第2章

電話 第3章

ファックス 第4章

コピー 第5章

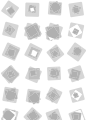
留守番機能 第6章

ナンバー・ディスプレイ 第7章

活用する 第8章

こんなときは 第9章

付録 第10章



履歴を利用する

発信履歴を利用する

ナンバー・ディスプレイの契約をしていなくても、発信履歴は利用することができます。

- 最近かけた発信履歴が親機と子機にそれぞれ10件まで記憶されています。
- 発信履歴を利用して電話をかけることができます。また、発信履歴から電話帳を登録「発信履歴から登録する」(P.39ページ) することができます。
- 操作を中止するとき、○ (親機) または (切) (子機) を押します。

発信履歴を見る

親機	押す → で履歴を見る → ○ 押す (停止) 繰り返すとき: で履歴を見る → ○ 押す (停止)
子機	(外線) 消灯していることを確認 → 発信履歴 押す → で履歴を見る → (切) 押す 繰り返すとき: で履歴を見る → (切) 押す

発信履歴から電話する

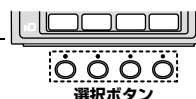
親機	押す → で電話する履歴を選ぶ → 受話器をとる → ○ スタート/コピー 押す
子機	(外線) 消灯していることを確認 → 発信履歴 押す → で電話する履歴を選ぶ → (外線) 押す

発信履歴を1件ごと削除する

親機	押す → で削除する履歴を選ぶ → 押す → はい 押す → ○ 押す (停止) 繰り返すとき: で削除する履歴を選ぶ → 押す → はい 押す → ○ 押す (停止)
子機	(外線) 消灯していることを確認 → 機能1 押す → 確定 押す → で「ハッパル」を選ぶ → 機能1 押す → 確定 押す → で削除する履歴を選ぶ → 機能1 押す → 確定 押す → で「1件削除」を選ぶ → 機能1 押す → 確定 押す → 1 押す → (切) 押す 繰り返すとき: (切) 押す → で「ハッパル」を選ぶ → 機能1 押す → 確定 押す → で削除する履歴を選ぶ → 機能1 押す → 確定 押す → で「1件削除」を選ぶ → 機能1 押す → 確定 押す → 1 押す → (切) 押す

発信履歴をすべて削除する

子機	(外線) 消灯していることを確認 → 機能1 押す → 確定 押す → で「ハッパル」を選ぶ → 機能1 押す → 確定 押す → 機能1 押す → 確定 押す → で「1件削除」を選ぶ → 機能1 押す → 確定 押す → 1 押す 繰り返すとき: 1 押す → で「ハッパル」を選ぶ → 機能1 押す → 確定 押す → で「1件削除」を選ぶ → 機能1 押す → 確定 押す → 1 押す
----	---



電源ボタンを押すときは下部の選択ボタンを押してください。

着信音と保留音を設定する

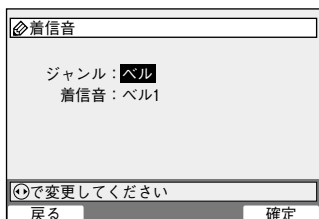
着信音の設定

着信したときの着信音の鳴りかたを設定します。

親機

- お買い上げ時は、ジャンル「ベル」、曲「ベル1」に設定されています。
- 受話器を置いた状態で設定できます。

1 機能 7[※] 1[※]を押す



現在選択されている着信音が表示されます。

2 機能 7[※] 2[※]を押す

ジャンルについて「メロディー一覧」(※67ページ)

ベル4 / 着信ボイス12 /
楽しいメロディ5 / 癒しのメロディ15 /
季節のメロディ12 / 目覚ましボイス6

3 機能 7[※] 3[※]を押す

4 機能 7[※] 4[※]を押す

着信音について「メロディー一覧」(※67ページ)

ベル1~4 / メロディ・ボイス1~50(曲名・ボイス)

5 機能 7[※] 5[※]を押す

「受けつけました」と表示されます。

6 機能 7[※] 6[※]を押す

停止

子機

- お買い上げ時は、「ベル」に設定されています。
- 着信音として利用できるのは「ベル / 充電11~6」のみです。
- 充電器に置いているとき、または「外線」が消灯しているときに設定できます。

1 機能 8[※]を押す

▶ メイト・ウオッセイ
ハッジンルキ
チャクジンルキ

2 機能 8[※] 1[※]を押す

3 機能 8[※] 2[※]を押す

1. チャクシンオン
▲▼ センタク/カケイ

4 機能 8[※] 3[※]を押す

▶ ベル
アウ・エ・マリア
オオナフルト・ケイ

5 機能 8[※] 4[※]を押す

ベル / アウ・エ・マリア / オオナフルト・ケイ /
ガ・ボ・ット / キラキラボ・シンキョリ [ベル] / ハナノワルツ

メモ

呼出回数を0回に設定していると、親機はメロディまたはボイスに設定していても外線が再呼び出しに切り替わるとベル音(再呼び出し音)が鳴ります。着信音をメロディにしたいときは、呼出回数を3回以上に設定してください。「呼出回数設定」(※25ページ)

お願い

構内交換機(PBX)やターミナルアダプタなどに接続している場合で、着信音を「ベル1」に設定しているときは、メニュー選択時に聞こえる「ベル1」の音と異なるベル音が鳴ることがあります。

準備する
第1章

ご使用する前に
第2章

電話
第3章

ファックス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときには
第9章

付録
第10章

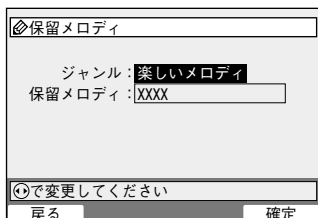
着信音と保留音を設定する

保留音の設定（親機）

保留音のメロディを設定します。お買い上げ時は、「花のワルツ」に設定されています。

- 親機で設定した保留音が子機の保留音になります。
- 受話器を置いた状態で設定してください。

1 機能 7 2 を押す



2 でジャンルを選ぶ

ジャンルについて「メロディー一覧」(P.67ページ)・目覚ましボイス・ベル・着信ボイスは、保留音に設定することができません。

楽しいメロディ5／癒しのメロディ15／
季節のメロディ12

3 を押す

4 で保留音を選ぶ

保留音について「メロディー一覧」(P.67ページ)・ディスプレイには曲名が表示されます。

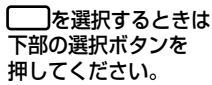
メロディ1～32(曲名)

5 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

6 を押す

停止



メロディ選択画面（着信音の場合）



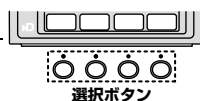
※保留音に設定することはできません

音量を設定する

着信音量・受話音量、スピーカー音量、ボタン確認音量を設定します。

着信音量を設定する		着信したときのベルやメロディ・ボイス、内線呼出の音量を設定する	
親機	 押す ▶  で設定する	メモ ● 設定するときは 待ち受け画面のときに設定できます。 ● お買い上げ時は 「2段階目」に設定されています。 音量はOFFと4段階の調整ができます。	● 2秒間操作しないときは 元の画面に戻ります。 ● 「OFF」に設定していても 自動着信したあと相手の電話を知らせる 「トゥルッ、トゥルッ」というベル音と内線や 取り次ぎの着信音は最小音量で鳴ります。
子機	 押す ▶  で設定する	メモ ● 設定するときは 充電器に置いているとき、または (外線)が消灯しているときに設定できます。 ● お買い上げ時は 「3段階目」に設定されています。 音量はOFFと4段階の調整ができます。 ● 2秒間操作しないときは 元の画面に戻ります。	● 「OFF」に設定したときは ディスプレイに「  」が表示されます。 ● 「OFF」に設定していても 内線や取り次ぎの着信音は最小音量で 鳴ります。
受話音量を設定する		受話器や子機を持って通話するときの音量を設定する	
親機	通話中  押す ▶  で設定する	メモ ● 設定するときは 受話器で通話中のときに設定できます。 ● お買い上げ時は 「1段階目」に設定されています。音量は 3段階の調整ができます。	● 2秒間操作しないときは 元の画面に戻ります。
子機	通話中  押す ▶  で設定する	メモ ● 設定するときは 子機で通話中のときに設定できます。 ● お買い上げ時は 「2段階目」に設定されています。 音量は4段階の調整ができます。	● 2秒間操作しないときは 元の画面に戻ります。 ● 通話中に「キーン」という音がしたときは ハウリングが発生しています。 音量を下げてご使用ください。
スピーカー音量を設定する		スピーカーの音量やスピーカーホンで通話するときの音量、留守録モニターの音量を設定する	
親機	 押す ▶  押す ▶  で設定する	メモ ● 設定するときは  を押して「ツー」という音が聞こえているとき、 またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。 ● お買い上げ時は 「2段階目」に設定されています。音量はOFFと4段階の 調整ができます。	● 2秒間操作しないときは 元の画面に戻ります。 ● 「OFF」に設定していても  を押すと最小音量で「ツー」という音が聞こえます。
子機	 押す ▶  押す ▶  で設定する	メモ ● 設定するときは  を押して「ツー」という音が聞こえているとき、 またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。 ● お買い上げ時は 「2段階目」に設定されています。 音量は4段階の調整ができます。	● 2秒間操作しないときは 元の画面に戻ります。 ● 通話中に「キーン」という音がしたときは ハウリングが発生しています。音量を下げてご使用ください。
ボタン確認音量を設定する		ボタンを押したときの音量、ファクス送受信時に「ピー」というブザー音の音量を設定する	
親機	 1  4  押す ▶  で設定する ▶  1分以内に 押す ▶  押す	メモ ● お買い上げ時は 「小」に設定されています。音量は「切／小／中／大」で設定できます。 ● 設定音量は 設定中のボタン音で確認できます。	● 1分以内に  を押さないときは 元の音量のままです。  を押さずに  を押したときも同様です。
子機	 押す ▶  押す ▶  で「3. だ だ だ だ」 を選ぶ ▶  押す ▶  で設定する ▶  押す ▶  押す	メモ ● 設定するときは 子機を充電器に置いているとき、または (外線)が消灯しているときに設定できます。	● お買い上げ時は 「ON」に設定されています。 音量は「ON／OFF」で設定できます。

モーニングアラームを設定する（親機）



を選択するときには下部の選択ボタンを押してください。

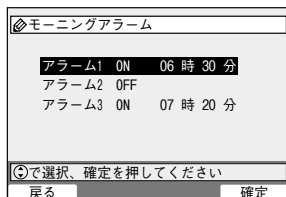
モーニングアラームの設定

設定した時刻に指定したメロディや目覚ましボイスを約3分間鳴らします。

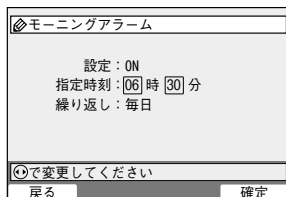
- 3分以内に2つ以上のアラームを設定したときは、最初のメロディまたはボイスが鳴っている途中で次のメロディまたはボイスに切り替わります。また、同一時刻に2つ以上のアラームを設定したときは、若いアラーム番号が有効になります。途中で中止するときは操作パネルのいずれかのボタンを押します。
- お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。
- 子機には、この機能はありません。

■ 設定する

1 機能 7 3 を押す



2 で設定するアラームを選び 確定 を押す



3 で「ON」を選び を押す



4 メロディまたはボイスを鳴らす時刻を指定する

時刻を4桁（24時間制）で入力します。

- ・ 午前9時5分のとき：0 9 0 5
- ・ 午後3時45分のとき：1 5 4 5

5 でメロディまたはボイスを鳴らす間隔を選び 確定 を押す

毎日／1回のみ／平日（月～金）／
月～土／土日／月曜日のみ／…／
日曜日のみ

- ・ 「毎日」：指定した時刻に毎日鳴ります。
- ・ 「1回のみ」：指定した時刻に1回のみ鳴ります。
- ・ 「平日（月～金）」：月～金曜日まで指定した時刻に鳴ります。
- ・ 「月～土」：月～土曜日まで指定した時刻に鳴ります。
- ・ 「土日」：土、日曜日に指定した時刻に鳴ります。
- ・ 「月曜日のみ／…／日曜日のみ」：毎週、指定した曜日、時刻に鳴ります。

6 でジャンルを選び を押す

ジャンルについて「メロディー一覧」（P.67ページ）

ベル1／着信ボイス12／
楽しいメロディ5／癒しのメロディ15／
季節のメロディ12／目覚ましボイス6

7 でメロディまたはボイスを選び 確定 を押す

メロディまたはボイスについて「メロディー一覧」（P.67ページ）

ベル1／メロディ・ボイス1～50（曲名・ボイス）

8 で音量を選び 確定 を押す

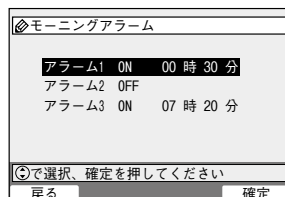
- ・ 音量は4段階の調整ができます。
- ・ 「受けつけました」と表示されます。

9 を押す

停止
を表示します。

■ 解除する

1 機能 7 3 を押す



2 で解除したいアラームを選び 確定 を押す

3 で「OFF」を選び 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

4 を押す

停止
の表示が消えます。（3つのアラームがすべてOFFのとき）

お願い

電源コードを抜いたり停電になったあと、数時間経過するとモーニングアラームの設定は「OFF」になります。もう一度設定し直してください。

メモ

モーニングアラームの指定時刻に電話、通信、設定などをしているときは操作が終了してからメロディまたはボイスが鳴ります。

準備する
第1章

ご使用する前に
第2章

電話
第3章

ファックス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときには
第9章

付録
第10章

レポート、リストを印刷する

送受信の結果や設定の内容などを印刷して確認できます。

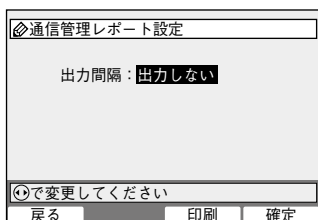
通信管理レポート

最近送受信した30件分の通信結果を印刷します。
お買い上げ時は、「出力しない」に設定されています。

■ すぐに印刷するとき

- 1 記録紙をセットする
・「記録紙をセットする」(☞11ページ)
・「原稿・記録紙について」(☞49ページ)

- 2 機能 **5** **2** を押す



- 3 **印刷** を押す

- 4 **開始** を押す

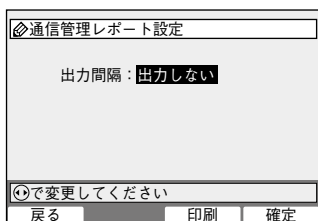
- 5 **停止** を押す

メモ

- ケータイ通話お得サービスで設定した事業者識別番号 (☞28 ページ) や加入電話選択番号 (IP 電話解除番号) (☞28 ページ) は通信管理レポートに表示されません。

■ 出力間隔を設定するとき

- 1 機能 **5** **2** を押す

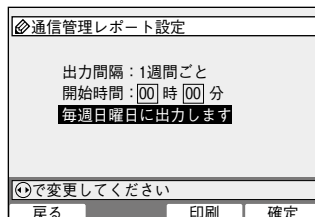


- 2 **で** で通信管理レポートの出力間隔を選ぶ

出力しない／6時間ごと／12時間ごと／
24時間ごと／2日ごと／1週間ごと／
30件ごと

手順2で「一週間ごと」を選んだとき

- 3 **時間** を押し開始時刻を指定する
時間は24時間制で入力します。



- 4 **で** で出力する曜日を選び **確定** を押す
「受けつけました」と表示されます。

- 5 **停止** を押す
設定を終了します。

手順2で「6/12/24時間ごと」、「2日ごと」を選んだとき

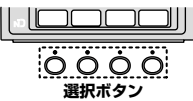
- 3 **時間** を押し開始時刻を指定して **確定** を押す
・ 時間は24時間制で入力します。
・ 「受けつけました」と表示されます。

- 4 **停止** を押す
設定を終了します。

手順2で「出力しない」、「30件ごと」を選んだとき

- 3 **確定** を押す
「受けつけました」と表示されます。

- 4 **停止** を押す
設定を終了します。



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

いろいろなレポート、リストの印刷のしかた

送信レポートを設定する

送信レポートの印刷方法を設定する

機能 **5** **1** **あ** 押す ▶ で印刷方法
を選ぶ ▶ **確定** 押す ▶ 押す

メモ

- お買い上げ時は
「エラーのみ出力」に設定されています。
- 印刷方法は
「出力する」：常に結果レポートを印刷します。
「エラーのみ出力」：送信エラーがあるときだけ結果レポートを印刷します。
「出力しない」：結果レポートは印刷しません。

電話帳リストを印刷する

電話帳の登録内容を印刷する

記録紙を
セットする ▶ 機能 **5** **3** **さ** 押す ▶ **開始** 押す ▶ 押す

設定リストを印刷する

設定内容を印刷する

記録紙を
セットする ▶ 機能 **5** **4** **た** 押す ▶ **開始** 押す ▶ 押す

メモリー状況リストを印刷する

メモリーの使用状況を印刷する

記録紙を
セットする ▶ 機能 **5** **5** **な** 押す ▶ **開始** 押す ▶ 押す

ご注文シートを印刷する

リボンカートリッジなどの消耗品をファクスでご注文いただくための
「ご注文シート」(※108 ページ) を印刷する

記録紙を
セットする ▶ 機能 **5** **6** **は** 押す ▶ **開始** 押す ▶ 押す

一括送信レポートを設定する

一括送信レポートの印刷方法を設定する

機能 **5** **7** **ま** 押す ▶ で印刷方法
を選ぶ ▶ **確定** 押す ▶ 押す

メモ

- お買い上げ時は
「出力する」に設定されています。
- 印刷方法は
「出力する」：常に結果レポートを印刷します。
「エラーのみ出力する」：送信エラーがあるときだけ結果レポートを印刷します。

機能案内リストを印刷する

機能の解説や文字入力表を印刷する

記録紙を
セットする ▶ 機能 押す ▶ **機能案内** 押す ▶ **開始** 押す ▶ 押す

準備する
第1章

ご使用する
前に
第2章

電
話
第3章

ファ
クス
第4章

コ
ピ
ー
第5章

留守
番機
機能
第6章

ナン
バー
ディ
スプレイ
第7章

活用する
第8章

こんな
とき
には
第9章

付
録
第10章

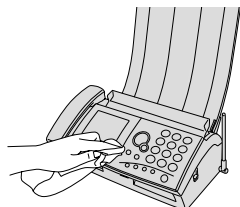
お手入れのしかた

注意

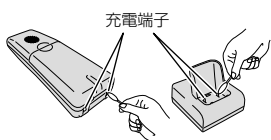
清掃するときは、電源コードやACアダプタを抜いてください。消去されるデータ(※91ページ)があります。電源を抜く前にご確認ください。

本機を清掃する

本体は乾いた布で軽く拭いてください。



充電端子は定期的に綿棒などで清掃してください。子機の充電端子が汚れていると、充電できなかったり、勝手に使用中の状態になったりすることがあります。充電端子の汚れは、必ず拭き取ってください。



原稿読取部を清掃する

読取部が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめに読取部を清掃してください。

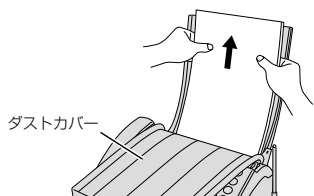
メモ

本機の上カバーを開閉するたびに、ディスプレイに「リボンを交換しましたか?」と表示されますが、リボンカートリッジを交換しなかったときは「いいえ」を押してください。「はい」を押すと、誤ったリボン残量が表示されることがあります。

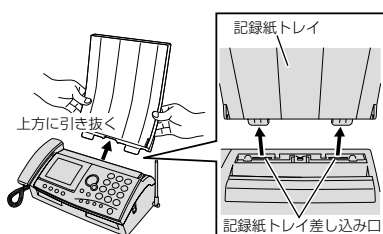
注意

ベンジン、シンナーなどの有機溶剤やアルコールを使用したり、それらを染み込ませた布などで拭いたりしないでください。

1 ダストカバーを開けて、記録紙を取り除く



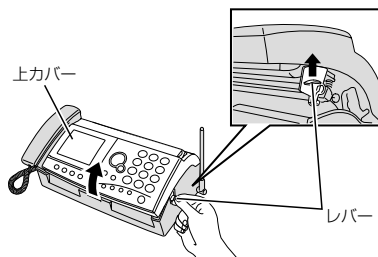
2 ダストカバーを閉めて、記録紙トレイを取り外す



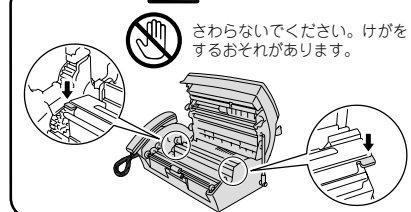
3

上カバーを開ける

右側のレバーを矢印の方向へ持ち上げて、上カバーを開きます。



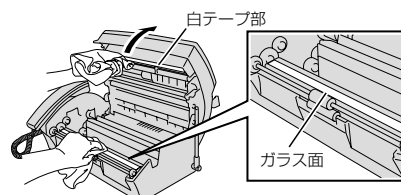
警告



4

白テープ部とガラス面を拭く

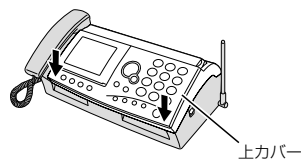
水を含ませて硬く絞った柔らかい布で拭きます。



5

上カバーを閉めて「いいえ」を押す

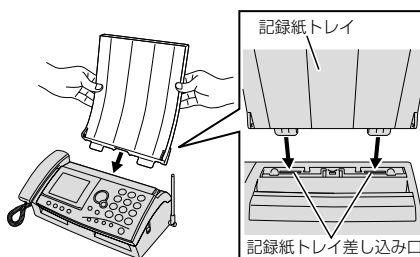
- ・上カバーの両端を押して確実に閉めます。
- ・正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか?」と表示されるので「いいえ」を押してください。



6

記録紙トレイを取り付ける

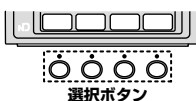
記録紙トレイは両手で持って完全に差し込みます。



7

記録紙をセットし直す

「記録紙をセットする」(※11ページ)



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

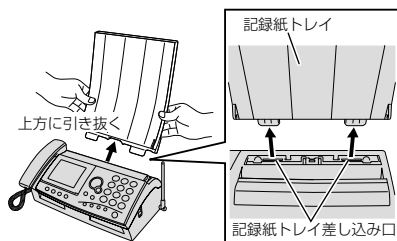
記録部を清掃する

記録部が汚れていると、本機から出力された用紙にたて縞が入ることがあります。きれいな画質を保つために、こまめに記録部を清掃してください。

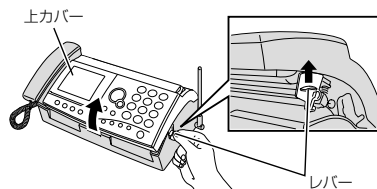
メモ

本機の上カバーを開閉するたびに、ディスプレイに「リボンを交換しましたか?」と表示されますが、リボンカートリッジを交換しなかったときは「いいえ」を押してください。「はい」を押すと、誤ったリボン残量が表示されることがあります。

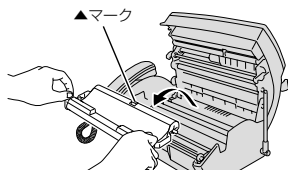
- 1 ダストカバーを開けて、記録紙を取り除く
72ページ「原稿読取部を清掃する」の手順1参照。
- 2 ダストカバーを閉めて、記録紙トレイを取り外す



- 3 上カバーを開ける
右側のレバーを矢印の方向へ持ち上げて、上カバーを開きます。

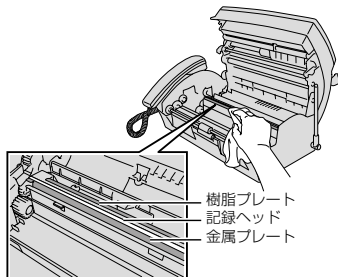


- 4 リボンカートリッジを取り外す

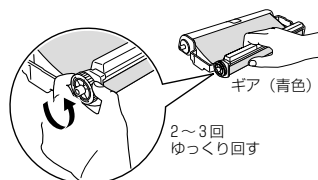


- 5 記録ヘッドと金属プレートまたは樹脂プレートを拭く

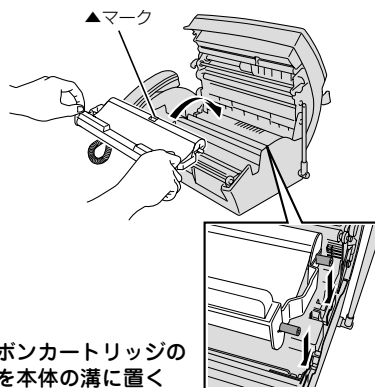
- ・水を含ませて硬く絞った柔らかい布で拭きます。
- ・それでも汚れが取れないときは、無水エタノール、OAクリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD用レンズクリーナーなどを使用してください。



- 6 ギア（青色）を矢印の向きに2～3回、回してリボンのたるみを取る

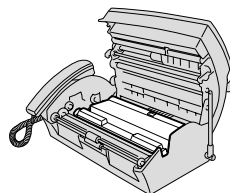


- 7 リボンカートリッジを本体にセットする



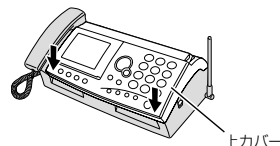
- 8 リボンカートリッジが正常にセットされているか確認する

本体にリボンカートリッジをセットしたあと、リボンカートリッジが傾いていないか確認してください。

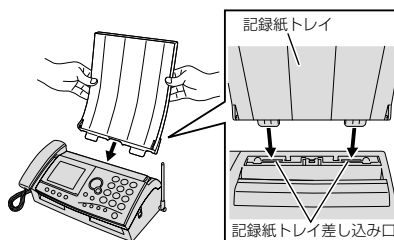


- 9 上カバーを閉めて「いいえ」を押す

- ・上カバーの両端を押して確実に閉めます。
- ・正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか?」と表示されますので「いいえ」を押してください。



- 10 記録紙トレイを取り付ける
記録紙トレイは両手で持って完全に差し込みます。



- 11 記録紙をセットし直す
「記録紙をセットする」(P.11ページ)

準備する 第1章

ご使用の前に 第2章

電話 第3章

ファックス 第4章

コピー 第5章

留守番機能 第6章

ナンバーディスプレイ 第7章

活用する 第8章

こんなときは 第9章

付録 第10章

紙がつまったら

原稿や記録紙がつまると、ブザーが鳴ってディスプレイに次のメッセージが表示されます。

- 原稿がつまったとき.....「原稿を送れません！ 停止ボタンを押してやり直してください」
「原稿がつまりました！ カバーを開けて手前に引き出してください」
- 記録紙がつまったとき.....「記録紙がつまっています！ カバーを開け、つまった紙を取り除いてください」

原稿がつまったときは

メモ

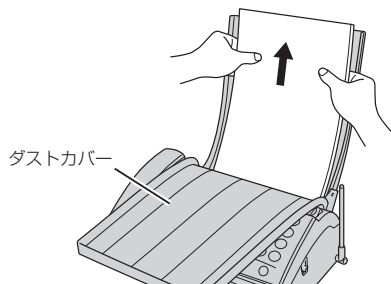
本機の上カバーを開閉するたびに、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されますが、リボンカートリッジを交換しなかったときは「いいえ」を押してください。「はい」を押すと、誤ったリボン残量が表示されることがあります。

1 残っている原稿を取る

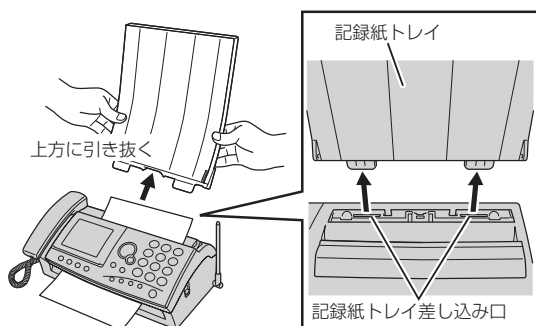
すでに引き込まれている原稿は、無理に抜かないでください。



2 ダストカバーを開けて、記録紙を取り除く



3 ダストカバーを閉めて、記録紙トレイを取り外す

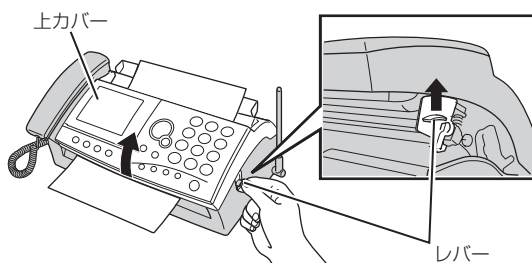


メモ

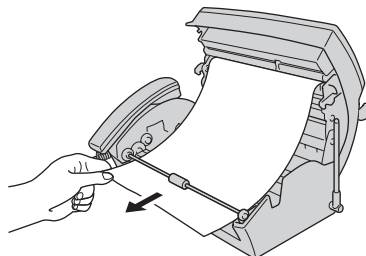
記録紙トレイは親機の背後に障害物がない場合、取り外す必要がないときもあります。

4 上カバーを開ける

右側のレバーを矢印の方向へ持ち上げて、上カバーを開きます。

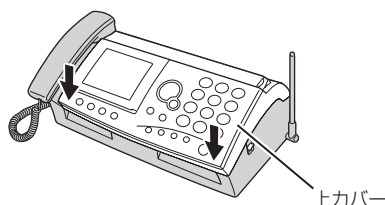


5 つまっている原稿を手前に引いて取り除く



6 上カバーを閉めて「いいえ」を押す

- ・ 上カバーの両端を押して確実に閉めます。
- ・ 正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されるので「いいえ」を押してください。

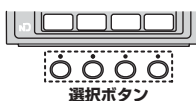


7 記録紙トレイを取り付ける

記録紙トレイは両手で持って完全に差し込みます。72ページ「原稿読取部を清掃する」の手順6参照。

8 記録紙をセットし直す

「記録紙をセットする」(P.11ページ)



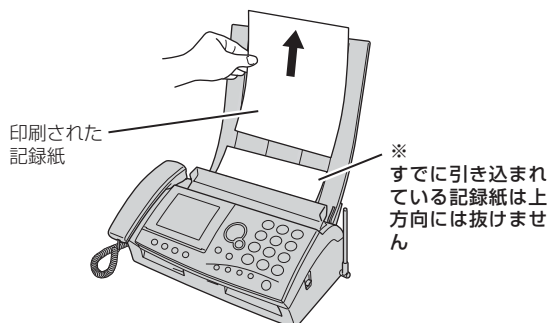
□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

記録紙がつまったときは

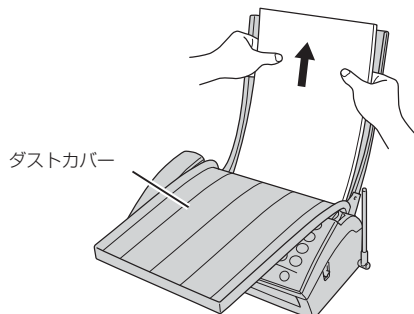
メモ

本機の上カバーを開閉するたびに、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されますが、リボンカートリッジを交換しなかったときは「いいえ」を押してください。「はい」を押すと、誤ったリボン残量が表示されることがあります。

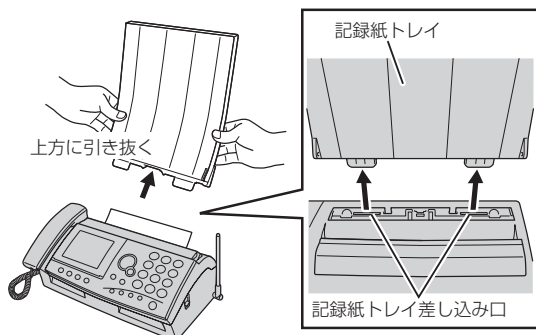
1 記録紙トレイにある印刷された記録紙を取る



2 ダストカバーを開けて、記録紙を取り除く



3 ダストカバーを閉めて、記録紙トレイを取り外す

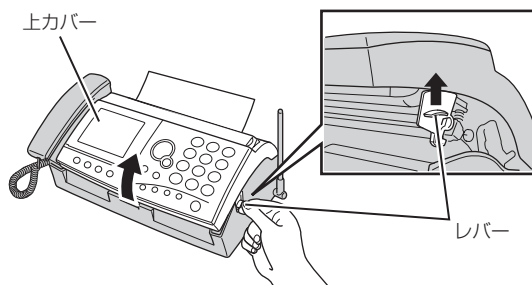


メモ

記録紙トレイは親機の背後に障害物がない場合、取り外す必要がないときもあります。

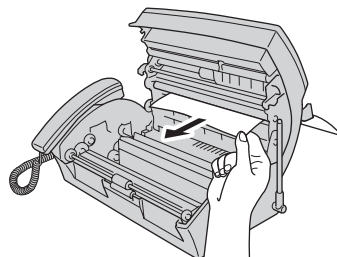
4 上カバーを開ける

右側のレバーを矢印の方向へ持ち上げて、上カバーを開きます。



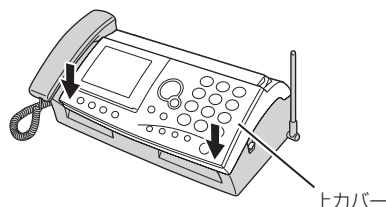
5 つまった記録紙を矢印の方向に引いて取り除く

カバー内に破れた記録紙などが残っていないことを確認してください。



6 上カバーを閉めて「いいえ」を押す

- ・上カバーの両端を押して確実に閉めます。
- ・正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されるので「いいえ」を押してください。



7 記録紙トレイを取り付ける

記録紙トレイは両手で持って完全に差し込みます。73ページ「記録部を清掃する」の手順10参照。

8 記録紙をセットし直す

「記録紙をセットする」(P.11ページ)

準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファックス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときには
第9章

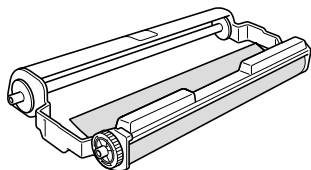
付録
第10章

リボンがなくなったら

リボンが完全なくなると、ディスプレイに「リボン（品番：PC-551）がありません！上カバーを開け新しいリボンのたるみを取りセットしてください」と表示されますので、すみやかにリボンカートリッジを交換してください。「リボンカートリッジ（PC-551）」では、約128枚の印刷が可能です。「消耗品などのご注文について」（※108ページ）

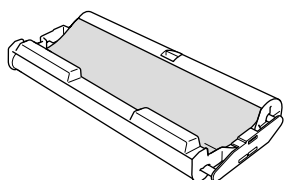
●リボンが完全なくなると

青色のギア側にリボンがすべて巻き取られた状態になります。



●当社指定リボンカートリッジ

〈リボン交換用当社指定品〉



リボンカートリッジ
(PC-551)

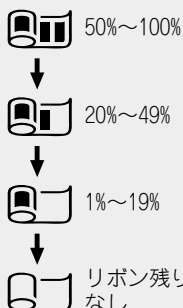
お願い

- 「リボンカートリッジ（PC-551）」は当社指定品をお使いください。「消耗品などのご注文について」（※108ページ）なお、当社製であってもPC-551以外は使用できませんのでご注意ください。
- 当社指定以外のリボンカートリッジをお使いいただくと、故障の原因になります。
- カバー開閉や電源コードを抜き差しなどの使用状況によって、リボン残量が少なくなることがあります。

メモ

リボンが切れても、A4サイズの下稿で約60枚分までは本体のメモリーに受信したファクスを記憶できます。

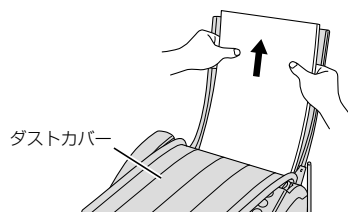
リボン残量表示



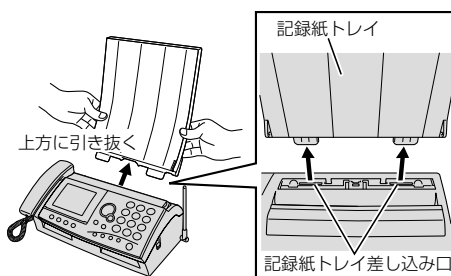
- ディスプレイにはリボンの残量が左図のように表示されます。
- お買い上げ時には、約30枚分印刷できる「お試し用リボン」がセットされており、そのリボンに応じたリボン残量が表示されます。

リボンカートリッジを交換する

1 ダストカバーを開けて、記録紙を取り除く



2 ダストカバーを閉めて、記録紙トレイを取り外す

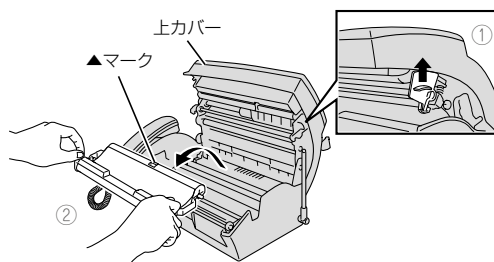


メモ

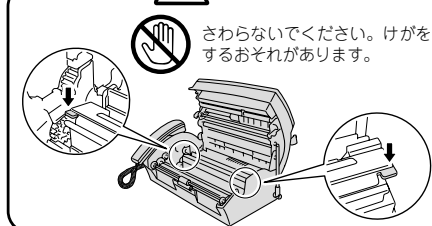
記録紙トレイは親機の背後に障害物がない場合、取り外す必要がないときもあります。

3 上カバーを開けて、リボンカートリッジを取り出す

- ① 本体右側のレバーを持ち上げて上カバーを開ける
- ② リボンカートリッジを取り出す



警告



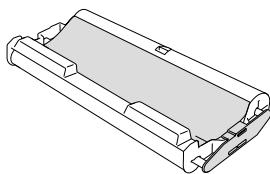
お願い

- 使用済みのリボンには印字した内容が白く残ります。廃棄の際には、リボンはさみで切るなどして、印字した内容の保護にご注意ください。
- 使用済みリボンは新しいリボンに同梱されている説明書にしたがって廃棄してください。

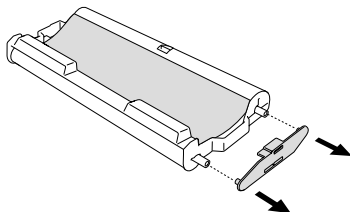


□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

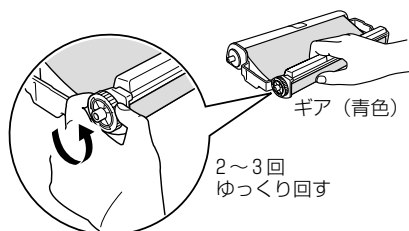
- 4** 新しいリボンカートリッジを準備する
リボンカートリッジの向きを確認してください。



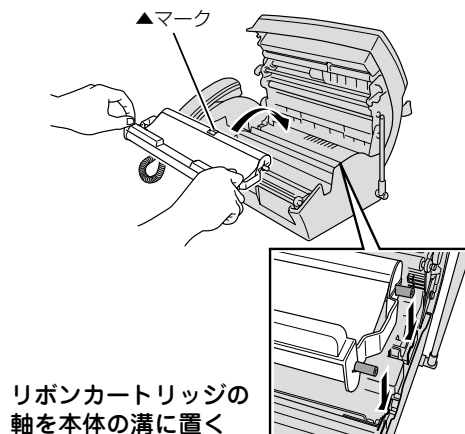
- 5** 新しいリボンカートリッジのストッパーを取り外す



- 6** ギア（青色）を矢印の向きに2～3回、回してリボンのたるみを取る

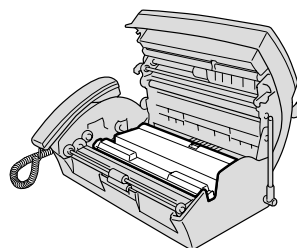


- 7** リボンカートリッジを本体にセットする

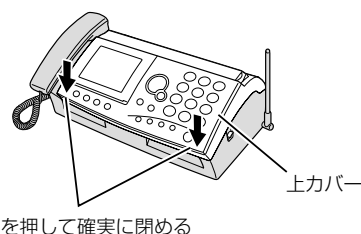


- 8** リボンカートリッジが正常にセットされているか確認する

本体にリボンカートリッジをセットしたあと、リボンカートリッジが傾いていないか確認してください。



- 9** 上カバーの両端を押して確実に閉める



- 10** リボンカウンタをリセットする

①上カバーを閉じると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されます。

4分以内に ☐ はい **を押す**

4分以内に ☐ はい を押さないとカウンタはリセットされません。

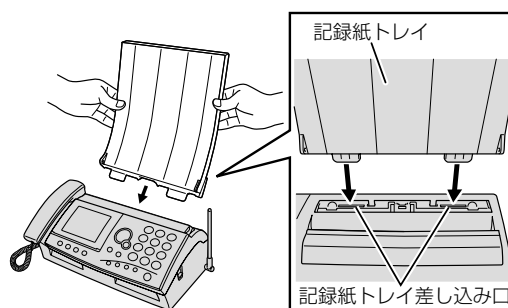
②「もう一度確認します。リボンを交換しましたか？」と表示されます。

4分以内に ☐ はい **を押す**

「リボン 残り 約 100%」と表示され、設定が終了します。

- 11** 記録紙トレイを取り付ける

記録紙トレイは両手で持って完全に差し込みます。



- 12** 記録紙をセットし直す

「記録紙をセットする」(P.11ページ)

準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファックス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときは
第9章

付録
第10章

子機のバッテリーを交換する

子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換時期の目安は約1年です。

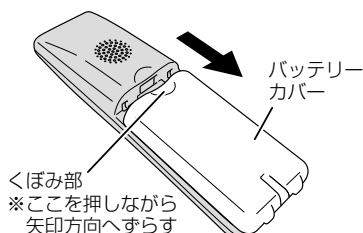
交換バッテリー（型名：BCL-BT30）は、本機または子機をお買い上げの販売店でお買い求めください。

注意

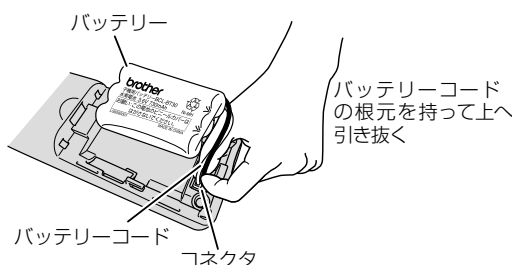
- バッテリーを覆っている白色のビニールカバーは、はがさないでください。
- バッテリーを交換したら必ず 12 時間以上充電してください。
- 子機のバッテリーは消耗品です。充電が完了しても使える時間が短くなったときは交換してください。バッテリーはお買い上げの販売店またはご注文シート（※108 ページ）でお求めください。

1 バッテリーカバーを開ける

バッテリーカバーのくぼみ部を押しながら、矢印の方向へずらします。バッテリーカバーの後端部を持ち上げ、バッテリーカバーを外します。

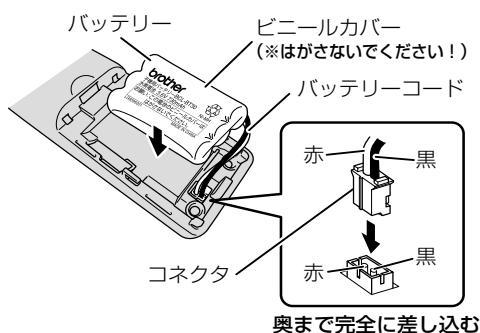


2 バッテリーを取り出し、コネクタを上へ引き抜く

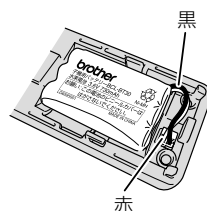


3 新しいバッテリーコネクタを差し込む

コネクタは下図の向きに差し込みます。向きを間違えないように注意してください。

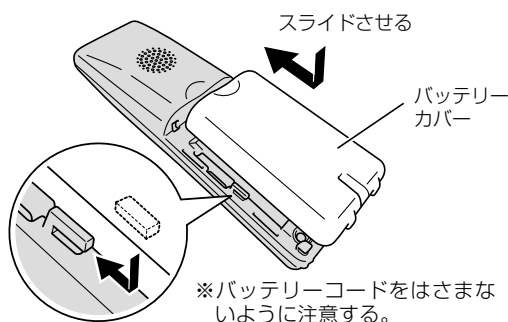


4 バッテリーを子機に入れる



5 バッテリーカバーを閉める

バッテリーコードをはさまないように注意してください。



お願い

バッテリーには充電式ニッケル水素電池を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。

- ビニールカバーははがさないでリサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ



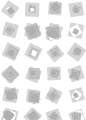
Ni-MH

エラーメッセージが表示されたら（親機）

本機や電話回線に異常があるときは、下記のようなエラーメッセージがディスプレイに表示されます。
「お客様相談窓口へ（コールセンターへ）お電話ください」と表示されたときは、「お客様相談窓口（コールセンター）：0120-161-170」にご連絡ください。

ディスプレイ表示	原因	処置
相手から応答がありません 電話番号を確認して もう一度送信してください	送信先の電話番号が間違っている。	送信先の電話番号を確認して、もう一度送信してください。
●メッセージ内容一覧 ・印刷できません！ ・書き込みできません！ ・原稿を読めません！ ・子機が反応しません！ ・初期化できません！ ・留守番電話が使えません！ XXXXXXX 電源コードを抜いて もう一度、さして下さい	本機に何らかの異常が発生した。	電源コードを抜いて電源OFFにし、数秒後に電源ONにしてください。
XXXXXXX エラーNO.XX お客様相談窓口へ お電話ください	上記のエラーが解除されない場合に表示されます。	お客様相談窓口（プラザーコールセンター）へご連絡ください。
印刷できません！ ただ今、回復中です しばらくお待ちください	連続使用により記録部分が熱くなっている。	しばらく待ってください。回復すると待ち受け画面に戻ります。原稿がつまっているときは「停止ボタンを押してください」と表示されます。このときは、○を押してください。
応答メッセージはありません	メッセージが録音されていない。	応答メッセージを設定してください。 「応答メッセージの設定」（☞52ページ）
⊗ 回線種別が 設定できませんでした！ 回線を接続し機能ボタンから 回線種別を設定してください	電話機コードが接続されていない。 回線種別が設定されていない。	電話機コードがはずれていないか確認してください。「手動で回線種別を設定する」（☞10ページ）
カバーが開いています！ カバーを閉めてください	上カバーが完全に閉まっていない。	上カバーを再度、閉め直してください。
記録紙がありません！ 記録紙をセットしてください [再試行]を押すと、 印刷を開始します	記録紙がセットされていない。 記録紙がなくなった。	A4サイズの記録紙をセットしたあと、 再試行 を押して印刷を続けます。
記録紙がつまっています！ カバーを開け、つまった紙を 取り除いてください	記録紙が記録部につまっている。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。 「記録紙がつまったときは」（☞75ページ）
原稿がつまりました！ カバーを開けて 手前に引き出してください	下記の原因で原稿がつまっている。 原稿挿入口に原稿が正しくセットされていない 原稿が正しく送信されていない 原稿サイズが長い	上カバーを開いて原稿を取り除きます。上カバーを閉め、原稿の幅に原稿ガイドを合わせて正しくセットし、再度コピー、または送信し直してください。「原稿がつまったときは」（☞74ページ）
①原稿がセットされていません！	原稿がセットされていない。	ファクスの送信設定をするまえに、原稿をセットしてください。
原稿を送れません！ 停止ボタンを押して やり直してください	原稿を読み取る直前に原稿が抜かれた。	○を押して、もう一度始めからやり直してください。

準備する
第1章ご使用する前に
第2章電話
第3章ファックス
第4章コピー
第5章留守番機能
第6章ナンバーディスプレイ
第7章活用する
第8章こんなときは
第9章付録
第10章

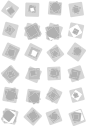


エラーメッセージが表示されたら（親機）

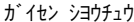
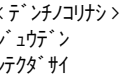
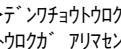
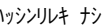
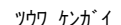
ディスプレイ表示	原因	処置
受信できません ファクスや留守録を削除して メモリを空けてください	空きメモリーがない。	空きメモリーが不足しています。不要なファクスや留守録データを消去してください。
受信に失敗しました 相手先に確認してください	本機に何らかの異常が発生した。 回線の状態が悪い。	安心通信モードに設定し、相手に連絡してファクス受信をやり直してください。「安心通信モード」(P.94ページ)
受話器を戻してください やり直してください	受話器を上げたまま、留守応答メッセージを再生・録音した。	受話器を置いて操作をやり直してください。
送信できません 回線種別の設定を確認して もう一度送信してください	回線状態が悪い。	回線種別を確認してください。
送信できません 電話回線を確認して もう一度送信してください	電話機コードがはずれている。 回線状態が悪い。	電話機コードがはずれてないか確認してください。 安心通信モードに設定してください。「安心通信モード」(P.94ページ)
送信できません もう一度送信してください	本機に何らかの異常が発生した。 回線状態が悪い。	もう一度送信してください。再度、エラーメッセージが表示されるときは電源コードを抜いて電源をOFFにし、数秒後に電源をONにしてください。
通信が切断されました もう一度送信してください	通信中に相手機から回線が遮断された。	相手先に電話をし、原因を解除してもらい、再度送信してください。
①通信の設定がありません	メモリー送信の設定がされていません。	そのままお使いください。
電話機コードを 接続してください	電話機コードが接続されていない。	電話機コードを接続してください。
電話帳の番号が消えています 電話番号を入力して もう一度送信してください	ファクスの一括送信を設定したあとに、送信先の電話番号を電話帳から削除した。	ファクスを送信しなおしてください。
登録できません！ 番号が長すぎます	20桁を超えて電話番号を登録した。	電話番号が登録できるのは20桁までです。
「特別回線対応」の設定が 「PBX」の時は 変更できません	特別回線の設定が「PBX」のとき「ナンバー・ディスプレイ」の設定をONにしたとき。	特別回線の設定が「PBX」のときは「ナンバー・ディスプレイ」の設定をONすることができません。
ナンバー・ディスプレイの 着信履歴がありません	ナンバー・ディスプレイに着信履歴がないときに着信履歴ボタンを押した。	着信履歴がありません。そのまま、お使いください。
相手が話中です もう一度送信してください	相手先が話中または、受信待機状態になっていない。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
①発信元が設定されていません！ 発信元を入力してから やり直してください	発信元登録が設定されてない。	送付書を送信するには、発信元登録してください。「名前とファクス番号を登録する（発信元登録）」(P.22ページ)
メモリーが少なくなりました 本機に記憶されている ファクスや留守録を 削除してください	空きメモリーが不足している。	不要なファクスや留守録データを消去してください。
①メモリーが無くなりました！ XXページまで送信できます 送信：スタートボタン 取消：停止ボタン ↓（1ページ目の場合） ①メモリーが無くなりました！ 停止ボタンを押してください	空きメモリーが不足している。	空きメモリーが不足しています。○を押すと、すでに読み込んだ原稿を送信します。○を押すと送信を中止します。 停止 受信したファクスや留守録データを消去してください。

ディスプレイ表示	原因	処置
①メモリーが無くなりました！ XXページまで印刷できます 印刷：コピーボタン 取消：停止ボタン ↓（1 ページ目の場合） ①メモリーが無くなりました！ 停止ボタンを押してください	空きメモリーが不足している。	空きメモリーが不足しています。  を押すと、すでに読み込んだ原稿をコピーします。  を押すとコピーを中止します。 受信したファクスや留守録データを消去してください。
①メモリーが無くなりました！ 本機に記憶されている ファクスや留守録を 削除してください	空きメモリーが不足している。	不要なファクスや留守録データを消去してください。
やり直してください	操作手順がまちがえている。	もう一度、操作をやり直してください。
用件は録音されていません	メッセージが録音されていません。	留守中に録音されたメッセージはありません。そのままお使いください。
リボン（品番：PC-551）が ありません！ 上カバーを開け 新しいリボンのたるみを取り セットしてください	リボンがなくなった。	新しいリボンカートリッジと交換してください。 「リボンがなくなったら」（☞76ページ）

準備する
第1章ご使用の前に
第2章電話
第3章ファクス
第4章コピー
第5章留守番機能
第6章ナンバーディスプレイ
第7章活用する
第8章こんなときには
第9章付録
第10章



エラーメッセージが表示されたら（子機）

ディスプレイ表示	原因	処置
 ガイセン ショウチュウ	親機またはその他の子機が使用中。	使い終わるのを待ってください。
 オキキ サカ シテイマス	通話中に子機の使用圏内（親機から、障害物のない直線距離で約100 m以内）を越えた。	通信中は使用圏内に戻ってください。
 くテンチノコリナシ ジュウテン シテタ サイ	バッテリーがなくなった。	充電器に置いて充電してください。
 ガイセンホ タン オシテタ サイ (子機をとってから30秒後)  コキカ ハス レテイマス (子機をとってから 60 秒後)	子機または充電器の充電端子が汚れている可能性がある。（ただし、充電器から子機をとり、何も操作しないまま約60秒経過したときも表示されます。）	子機および充電器の充電端子は定期的に掃除してください。 「お手入れのしかた」（☞72ページ） 充電器に子機を戻す、または ^① 切を押すと表示が消えます。
 デンワショウカ イッパ イデス!	登録できる件数を超過している。	不要な電話番号を消去してください。
 ▶デンワショウトウロク トウロクカ アリマセン	電話帳に登録がない。	電話帳に登録してください。「電話帳に登録する」（☞37ページ）
 ハッシンリレ ナシ	発信履歴に電話番号がない。	そのまま、お使いください。
 ツウ ケンガイ	電波状態が悪い。 親機の電源が入っていない。	親機の状態を確認してください。 子機の ^② 外線を押してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の項目をチェックしてください。また、[ディスプレイ表示が正しく表示されない]・[ボタンが操作できない]などは、親機を強制的にお買い上げ時の状態に戻すこともできます。「親機を強制リセットする（修理を依頼される前に）」（※106ページ）それでも異常があるときは「お客様相談窓口（コールセンター）：☎0120-161-170」へご連絡ください。

こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない	回線種別が正しく設定されていますか。 回線種別を正しく設定してください。 「手動で回線種別を設定する」（※10ページ）
	モジュージャックから本機の電話機コードを外した状態で本機に電話をかけると、話し中になっていませんか。	回線自体に問題がある可能性があります。 ご利用の電話会社へご連絡ください。
	電話をかけられない場合がある（インターネット電話やIP電話などのIP網を使用している場合）	回線種別を正しく設定してください。 「手動で回線種別を設定する」（※10ページ）
	電話帳機能を利用してかけていませんか。	「0」発信や電話会社を選択している場合は、番号のあとに（親機）または（子機）でポーズ（約3秒間の待ち時間）を入れてください。
	手動で「0」発信や電話会社を選択してかけていませんか。	「0」や選択番号のあとに少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳機能を利用して電話をかけられない場合がある	登録している電話番号の間にポーズ「p」（親機）、「P」（子機）が入っていませんか。
	スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい	スピーカー音量の設定が小さくありませんか。 スピーカー音量を大きくしてください。 「スピーカー音量を設定する」（※68ページ）
	電話の着信音が小さい	着信音量の設定が小さくありませんか。 着信音量を大きくしてください。 「受話音量を設定する」（※68ページ）
	電話機からの相手の声が聞き取りにくい	受話音量の設定が小さくありませんか。 回線状況が悪くありませんか。 受話口をふさいでいませんか。 受話音量を大きくしてください。 「スピーカー音量を設定する」（※68ページ）
	相手に声が聞こえないと言われる	受話器の送話口（マイク）をふさいでいませんか。 送話口（マイク）をふさがないでください。
	スピーカーホン通話がうまくできない	周りの音がうるさくありませんか。 受話器をとって、受話器で通話してください。（または、  を押して受話器に切り替えてください。） 子機の場合は（子機）  を押して子機を持って話してください。
	通話中、三者通話中、スピーカーホン通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい	通話音質調整の設定を変更してみてください。音質が改善されることがあります。「通話音質調整」（※93ページ）
	電話がかかってきても応答しない／着信音が鳴らない	受信モードが「ファクス専用」で呼出回数が0回になっていませんか。 受信モードと呼出回数を確認してください。「電話やファクスの受けかた」（※23ページ）
		本機に電話をかけてみると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れる。 ターミナルアダプタの設定に誤りがあります。設定を確認してください。
		構内交換機（PBX）に接続しているのに、ナンバー・ディスプレイの設定が「あり」になっていませんか。 ナンバー・ディスプレイの設定を「なし」に設定してください。 「ナンバー・ディスプレイを設定する」（※59ページ）
	携帯電話に電話がかけられない	加入電話選択番号（IP電話解除番号）（※28ページ）のあとにポーズ「p」（※96ページ）を入力または未入力ではありませんか。 ポーズ「p」を入力している場合はポーズを削除して加入電話選択番号を設定し直してください。ポーズ「p」を入力していない場合はポーズを入れて設定し直してください。 なお、ポーズの入力が必要かどうかは予告なく変更されることがあります。ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。

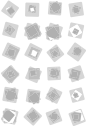
準備する
第1章ご使用の前に
第2章電話
第3章ファクス
第4章コピー
第5章留守番機能
第6章ナンバーディスプレイ
第7章活用する
第8章こんなときは
第9章付録
第10章

故障かな？と思ったら

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
電話	携帯電話に電話がかけられない	ひかり電話サービス、直収電話サービス（☎28ページ）、ケーブルTV局が提供する電話サービスをご利用していて、ケータイ通話お得サービスを「する」に設定していませんか。	ケータイ通話お得サービスを「しない」に設定してください。（☎28ページ）
		IP電話サービスを利用して、加入電話選択番号（IP電話解除番号）の登録をしていない、または間違った番号を登録してケータイ通話お得サービスを「する」に設定していませんか。	加入電話選択番号（IP電話解除番号）を登録してください。（☎28ページ）。 加入電話選択番号が不明な場合は、ケータイ通話お得サービスを「しない」に設定してください。（☎28ページ）
		事業者識別番号を正しく入力しましたか。	事業者識別番号（☎28ページ）を設定してください。
	電話がかかってきても応答しない/ベル音になる	内線通話中ではありませんか。	着信音をメロディまたはボイスに設定していても、内線通話中に外線からの着信があるとベル音が鳴ります。「着信音の設定」（☎65ページ）
	受話器から「ツー」という音が聞こえない	○（親機のスピーカーホン）を押して、スピーカーホンから「ツー」という音が聞こえていますか。	「ツー」という音が聞こえている場合は、受話器コードが親機にしっかり差し込まれているか確認してください。聞こえていない場合は、電源コードと電話機コードがそれぞれしっかり差し込まれているか確認してください。
		電源コードと電話機コードが正しく接続されていますか。	電源コードと電話機コードがそれぞれしっかり差し込まれているか確認してください。
		本機が接続されているアナログポートを「使用しない」に設定していませんか。	「使用する」に設定してください。
	連続的に雑音が入る	本機底面の機能接地端子（銀色ネジ）にアース線を接続すると、雑音が少なくなる場合があります。	
	声が途切れる	インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していませんか。（「050」で始まる電話番号でかけた場合の相手側を含む）	インターネット電話やIP電話など、IP網の状況により声が途切れることがありますので、IP網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。
	通話が切れる	声や周りの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁に起こるときは、「親切受信」を「しない」に設定してください。 「親切受信」（☎46ページ） ※このときは、ファクスを手動で受信します。「電話に出てから受ける（手動受信）」（☎44ページ）
		インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していませんか。（「050」で始まる電話番号でかけた場合の相手側を含む）	インターネット電話やIP電話など、IP網の状況により通話が切れることがありますので、IP網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。
		ナンバー・ディスプレイを契約しているのにナンバー・ディスプレイの設定が「なし」になっていませんか。	ナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にしてください。「ナンバー・ディスプレイを設定する」（☎59ページ）
	発信すると本機の電話番号が非通知になる	本機では設定することができません。	ご利用の電話会社へお問い合わせください。
	親機のメロディが鳴り出してとまらない	回線種別設定をしていますか。	回線種別を設定してください。（☎10ページ） それでもとまらないときは  ① ① ① を押してください。
	電話をかけるときに、間違った相手にかかったり、正しくダイヤルされない	電話の環境が影響している可能性があります。	受話器をあげて、発信音（ツー音）を確認してからダイヤルしてください。
	ボキーン 雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。（☎14ページ）

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
電話	ナンバーディスプレイ	電話番号が表示されない	ブランチ接続（並列接続）していませんか。 IP電話機能付きADSLモデムにつないでいませんか。
		電話番号は表示されるが着信音がメロディにならない	着信鳴り分けが「ベル」に設定されていませんか。 着信鳴り分けの設定を確認してください。 「着信鳴り分けを設定する」(☞60ページ)
	キャッチホン・ディスプレイ	キャッチホンが入ったとき、雑音が入りキャッチホン・ディスプレイデータを受けられない	キャッチホン・ディスプレイの設定が「なし」に設定されていませんか。 キャッチホン・ディスプレイの設定を「あり」にします。 「キャッチホン・ディスプレイを利用する」(☞59ページ)
	子機	「おかけ直しボタン」が表示され、ボタンを押しても反応しない	2分間待ってください。その後、増設されずメニュー画面に戻ります。
		動作しない 電話がかけられない	（切）を約5秒間押してください。それでも動作しない場合は、子機のバッテリーのコネクタを抜き差ししてください。
		動作しない ボタンを押しても反応しない	子機のバッテリーコネクタを抜き差ししてください。
		動作しない 子機の内線番号がディスプレイに表示されない	増設子機（別売り）を登録しましたか。 増設子機（別売り）を登録する、または登録し直してください。増設コードレス子機取扱説明書（☞12、13ページ）を参照してください。それでも動作しない場合は、親機のコンセントを抜き差ししてください。
		動作しない 着信音が鳴らない	バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。
			バッテリーの残量がなくなっていますか。
			回線種別が正しく設定されていますか。
			着信音量が「OFF」になっていませんか。
			親機から離れすぎていませんか。
			近くに雑音の原因となる電気製品がありませんか。
			親機で機能の設定・登録をしていませんか。
			子機通信チャンネルの設定を変更しましたか。
			親機でコピーをしていませんか。
			親機や他の子機を使用していませんか。
			親機のアンテナと子機用ACアダプタのコードが近くにありませんか。
			子機のアンテナ表示（  ）が2本（  ）、1本（  ）、0本（  ）になっていませんか。
			携帯電話の充電器や、ACアダプタが近くにいたり、電源が一緒になっていませんか。
			音が途切れる
			インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していませんか。（「050」で始まる電話番号でかけた場合の相手側を含む）
			インターネット電話やIP電話など、IP網の状況により音が途切れることがありますので、IP網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。

準備する
第1章ご使用の前に
第2章電話
第3章ファックス
第4章コピー
第5章留守番機能
第6章ナンバーディスプレイ
第7章活用する
第8章こんなときは
第9章付録
第10章



故障かな？と思ったら

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
電話	子機	通話が切れる	頻繁に起こるときは、「親切受信」を「しない」に設定してください。 「親切受信」(☞46ページ) ※このときは、ファックスを手動で受信します。「子機で受ける」(☞44ページ)
		インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していませんか。(「050」で始まる電話番号でかけた場合の相手側を含む)	インターネット電話やIP電話など、IP網の状況により通話が切れることがありますので、IP網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。
		ナンバー・ディスプレイを契約しているのにナンバー・ディスプレイ設定が「なし」になっていませんか。	親機のナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にしてください。「ナンバー・ディスプレイを設定する」(☞59ページ)
		雑音が入りやすい	親機のアンテナを起こし、向きを調節してみてください。
		近くに電気製品や障害物はありませんか。(☞8ページ) ※設置環境を確認してください。「通話がうまくいかないときは」(☞92ページ)	親機や子機の置き場所や向きを変えてみてください。
			親機のアンテナから子機用ACアダプタのコードを遠ざけてください。(アンテナに巻き付けたり、引っ掛けたりしないでください。)
			親機、子機、電気製品の電源を別々のコンセントに接続してみてください。
		ご近所、同じマンション内で別のコードレス電話機を使用していませんか。	雑音が消えるまでしばらくお待ちください。または、一時的に親機をご使用ください。
		移動しながら子機を使用していませんか。	使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。
		雑音が入りやすい通話が切れる	子機のアンテナ表示(☞)が2本(☞)、1本(☞)、0本(☞)になっていませんか。
			また子機のアンテナが3本表示(☞)される所でご使用ください。
			子機の「通話パワー」を「ツヨイ」に設定してください。「通話パワー(子機)」(☞95ページ)
		相手の声が聞こえない	受話口をふさがいでいませんか。
		受話音量の設定が小さくありませんか。	受話口をふさがないでください。
			受話音量を大きくしてください。「受話音量を設定する」(☞68ページ)
		相手から聞こえないと言われる	送話口(マイク)をふさがいでいませんか。
			受話口、送話口(マイク)をふさがないでください。
		通話中、三者通話中、スピーカーホン通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい	通話音質調整の設定を変更してみてください。音質が改善されることがあります。「通話音質調整」(☞93ページ)
		親機または子機の着信音が遅れて鳴る	故障ではありません。 (電波を使用しているため、電話がかかってくると親機または子機の着信音が少し遅れて鳴ることがあります。)
		充電器に置いても「ジューン」と表示しない	そのままお使いください。
		充電器の子機用ACアダプタは確実に差し込まれていますか。	子機用ACアダプタの電源プラグを充電器に「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、ACアダプタをコンセントに差し込んでください。
		充電器に正しく置かれていますか。	ディスプレイが正面に見える方向に、子機を置いてください。
		充電端子が汚れていませんか。	充電端子をきれいに拭いてください。 「お手入れのしかた」(☞72ページ)
		バッテリーを交換しましたか。	新しいバッテリーは充電されてないことがあります。その場合は、充電器に置いて約2分後に「ジューン」と表示されますので、表示されたら約12時間充電してください。

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
電話	子機	LCD表示が薄いまたは表示されない	12時間以上充電しましたか。 充電してください。それでも薄いまたは表示されないときは、コントラストを調節してください。「コントラスト（子機）」（※19ページ）
		子機が温かい	充電中や充電直後はバッテリーが温かくなります。故障ではありません。
		充電できない 電源が入らない 何も表示されない	バッテリーが寿命ではありませんか。 バッテリーを外して充電器にセットしてください。 ・表示する場合 バッテリーの寿命もしくはバッテリーコードを確認してください。 ・表示しない場合 ACアダプタと充電器を確認してください。
	子機（警告音）	充電器からとったり、 （外線）を押すと、「ピッピッピッ」と鳴る	親機や他の子機を使用していませんか。 親機から離れすぎていませんか。 電波が干渉しやすい場所で使用していませんか。 使い終わるのを待ってください。 親機の近く（通話圏内）に戻ってください。 通話できる位置まで移動してください。
		充電が完了しても バッテリー警告音 （ピッピッピッ…） が鳴り、ディスプレイ に「<電池ノリナ> ジュンシタサ」と 表示される	バッテリーが消耗しています。 バッテリーを交換してください。 「子機のバッテリーを交換する」（※78ページ） バッテリーのコネクタが子機にしっかり差し込まれているか、ACアダプタの電源プラグが奥まで完全に差し込まれているかを確認してください。 「子機を準備する」（※12ページ）
		警告音（ピーピーピー） が鳴り、ディスプレイ に「コカ ハレタイマ」と 表示される	充電端子が汚れていませんか。 充電器から子機をとり、ダイヤル操作なしで60秒経過していませんか。 充電端子をきれいに拭いてください。 「お手入れのしかた」（※72ページ） 子機を充電器に戻してください。
		通話開始後、約1分経過 すると、警告音（ピー ピーピー）が鳴り、ディ スプレイに「コカ ハレ タイマ」と表示される	親機から子機へ通話を切り替えるとき、 親機の  を押さずに受話器に戻していませんか。 親機の  を押して通話を切り替えてください。「電話を取り次ぐ」（※32ページ）
		通話中に警告音（ピッ ピッ ピッ）が鳴る	子機で通話中に電波の届かないところまで離れている、または移動していませんか。 親機の近く（通話圏内）に戻ってください。
		通話中に警告音 （ピッピッピッ ピッピッピッ ピッピッピッ） が鳴る	バッテリーの残量（  ）が少なくなっていますか。 通話を終了して子機を充電器に戻してください。 通話を保留にして子機を充電器に戻し、親機で通話を続けてください。
	留守番電話	外出先からの操作ができない	トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機からかけていない。 トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。
		メッセージが録音の途中で切れている	録音中に8秒以上無音が続いた。 メッセージを入れるときは続けて話すよう、相手に伝えてください。
		メッセージが録音できない	メモリー容量がいっぱいになっている。 音声メッセージを消去してください。 メモリー受信したファクスがあるときは、メモリー内の不要なファクスを削除してください。

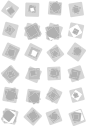
準備する
第1章ご使用の前に
第2章電話
第3章ファクス
第4章コピー
第5章留守番機能
第6章ナンバーディスプレイ
第7章活用する
第8章こんなときは
第9章付録
第10章

故障かな？と思ったら

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
ADSL回線	以前に比べて自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい	ADSLのスプリッタが影響している可能性があります。	ADSL回線のスプリッタを交換すると改善場合があります。ADSL 契約会社、またはスプリッタの製造メーカーにお問い合わせください。
	通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなる	ADSL回線を使用して、ブランチ接続（並列接続）をしていますか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。
	電話をかけられない場合がある	インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していませんか。	回線種別を正しく設定してください。 「手動で回線種別を設定する」(☞10 ページ)
		電話帳機能を利用してかけていませんか。	「0」発信や電話会社を選択している場合は、番号のあとに(☎)（親機）または ^{文字の表示} ☎（子機）でポーズ（約3秒間の待ち時間）を入れてください。
		手動で「0」発信や電話会社を選択してかけていませんか。	「0」や選択番号のあとに少し待ってからダイヤルしてください。
電話	自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい	ISDN回線のターミナルアダプタに接続していませんか。	ターミナルアダプタに受話音量の設定がある場合は、受話音量「ショウ」に設定してください。また、本機を受話音量を小さくしてください。「受話音量を設定する」(☞68ページ)
	電話がかけられない	回線種別が「プッシュ回線」に設定されていない。	回線種別を「プッシュ回線」に設定してください。「手動で回線種別を設定する」(☞10ページ)
		本機が接続されているアナログポートを「使用しない」に設定していませんか。	「使用する」に設定してください。
	電話を受けてもベルが鳴らない	何も接続していない空アナログポートは「使用しない」に設定してください。	
		契約回線番号、またはi・ナンバーは正しく入力されているか確認してください。	
	本機が接続されているアナログポートに1～2回おきにしか着信しない	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1～2回おきにしか着信できません。	
	ISDN回線	本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認します。	契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。 サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC設定：「HLC設定しない」 識別着信：「識別着信しない」
			i・ナンバーのアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。 i・ナンバーを登録する サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC設定：「HLC設定しない」 識別着信：「識別着信しない」
			ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認し、異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。
	契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、i・ナンバーのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る	i・ナンバーのアナログポートの設定を確認します。	グローバル着信は「しない」に設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない	特別回線対応の設定を「ISDN」にしてください。(☞93 ページ) それでも異常がある場合は、「お客様相談窓口（コールセンター）」：☎ 0120-161-170へご連絡ください。	
	ファクス送受信ができない（電話も使えない）	ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認し、異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。回線に異常がなければ、「お客様相談窓口（コールセンター）」：☎ 0120-161-170へご連絡ください。	

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	スタートボタンを押しても送信／受信しない	原稿がセットされているのに受信しようとしていませんか。	原稿を外して受信します。 「電話に出てから受ける(手動受信)」(☞44ページ)
		原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿を正しくセットしてください。
		○ スタート/コピーを押す前に、受話器を戻していませんか。	○ スタート/コピーを押してから受話器を戻します。 「話をしてから送る(手動送信)」(☞40ページ)、「電話に出てから受ける(手動受信)」(☞44ページ)
		回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 「手動で回線種別を設定する」(☞10ページ)
	ファクス送信／受信ができない	インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していないか。(「050」で始まる電話番号でかけた場合の相手側を含む)	インターネット電話やIP電話など、IP網の状況によりファクス送信／受信ができないことがありますので、IP網を使わずに送信／受信してください。不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。 安心通信モードの設定を「する」にしてください。(☞94ページ) 送信の場合は、一般電話回線を使用して送信してください。
		ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がありますか。	安心通信モードの設定を「する」にしてください。(☞94ページ)
		ファクス送信ができない	再ダイヤル待機中はファクス送信ができません。再ダイヤルを中止してよい場合は○ _再 で中止し、送信してください。
	ファクスを送信できない場合がある(インターネット電話やIP電話などのIP網を使用している場合)	回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 「手動で回線種別を設定する」(☞10ページ)
		電話帳機能を利用してファクスを送っていますか。	「0」発信や電話会社を選択している場合は、番号のあとに(☎)でポーズ(約3秒間の待ち時間)を入れてください。
		自動送信機能を使用していますか。(☞40ページ)	
		手動で「0」発信や電話会社を選択して送信していませんか。	「0」や選択番号のあとに少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳機能を利用してファクスを送信できない場合がある	登録している電話番号の間にポーズ「p」(親機)、「P」(子機)が入っていませんか。	「p」(親機)、「P」(子機)を削除してください。
	送信後、相手から画像が乱れていると連絡があった	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読取部の清掃をしてください。 「お手入れのしかた」(☞72ページ)
		相手先に異常がありませんか。	相手先に確認します。
		画質モードは適切ですか。	画質を調整します。 「画質の調整」(☞48ページ)
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。 「キャッチホンを利用する」(☞31ページ)
	受信／コピーしても、記録紙が出てこない	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙、または上カバーを正しくセットします。「記録紙をセットする」(☞11ページ)
		記録紙がなくなっていないですか。	
		上カバーは確実に閉まっていますか。	
		記録紙がつまっていますか。	つまった記録紙を取り除きます。 「記録紙がつまったときは」(☞75ページ)

準備する
第1章ご使用の前に
第2章電話
第3章ファクス
第4章コピー
第5章留守番機能
第6章ナンバーディスプレイ
第7章活用する
第8章こんなときには
第9章付録
第10章



故障かな？と思ったら

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる	相手側と連絡を取り、原稿を裏返しに送信していないかを確認してください。 コピーは正しくとれますか。	コピーが正しくとれるか確認してください。「コピーする」(☞47ページ)
	受信したファクスの同じページを何度も印刷する	記録紙トレイにセットされている記録紙が1～2枚になっていませんか。	A4サイズの記録紙を多めにセットしてください。
	きれいに受信できない	電話回線の接続が悪いため起こります。 相手側の原稿に異常がありませんか。(うすい、かすれなど)	相手にもう一度、送信し直してもらってください。 相手に確認し、もう一度送信し直してもらってください。
	受信したファクスが縮小されて印刷される	相手が A4 よりも長いサイズ of 原稿を送信していませんか。	分割して印刷されてもよいときは、A4 自動縮小受信の設定を「OFF」にしてください。「A4自動縮小受信」(☞46ページ)
	きれいにコピーできない	読取部が汚れていませんか。	読取部を清掃してください。 「お手入れのしかた」(☞72ページ)
	記録紙が重なって送り込まれる	紙をさばいて入れ直してください。「記録紙をセットする」(☞11ページ)	
	B4 サイズの原稿が受信できない	相手側の問題です。	
	自動受信できない	呼出回数が多すぎませんか。	在宅モードのときは呼出回数を6回以下に、留守モードのときは呼出回数を2回以下に設定してください。 「呼出回数の設定」(☞25ページ) または  を押して手動で受信してください。
	構内交換機(PBX)に内線接続したときに、ファクス受信できない	内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認し、特別回線対応の設定を「PBX」にしてください。(☞93ページ) それでも異常がある場合は、「お客様相談窓口(コールセンター): ☎0120-161-170」にご連絡ください。	
	受信したファクスの印刷中にリボンがなくなった。	新しいリボンをセットすると、印刷を開始します。	
原稿	原稿が繰り込まれていかない	原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	原稿を正しくセットします。 「原稿のセットのしかた」(☞40ページ)
		上カバーは確実に閉まっていますか。	
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	
		原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。	
	原稿が斜めになってしまう	原稿ガイドを送信原稿に合わせていますか。	使用できる原稿を確認してください。 「原稿・記録紙について」(☞49ページ)
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていますか。	
その他	電源が入らない	電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグを確実に差し込みます。(雷で電源が入らなくなったときは、有償修理になります。)
	無線 LAN 機器の速度が低下する 接続が切れるときがある	親機や子機が近くにありませんか。	親機や子機から無線LAN機器を3m以上離してください。または、親機と子機間の「子機通信チャンネル」の設定を変更してください。(☞94ページ)

お願い

製品の異常により修理が必要となった場合、故障箇所や修理箇所によっては「消去されないデータ」(☞91ページ)でも消えることがあります。

停電になったとき

本機はAC電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話機（AC電源を必要としない電話機）を保管することをおすすめします。

お願い

- 半日以上停電が続いたときは、日付が正しく表示されないことがあります。再設定してください。
- 子機のバッテリーを取り外したときは、日付・時刻を再設定してください。
- 停電によって消去されたデータを復活させることはできません。

メモ

- 停電時のデータについて

消去されないデータ	電話帳（親機、子機）、各種登録・設定内容、着信履歴（子機）、発信履歴（子機）
数時間以上経つと消去されるデータ※	着信履歴（親機）、発信履歴（親機）、通信管理レポート、メモリーに受信したファクス、音声メッセージ、モーニングアラーム設定内容（親機）
停電後すぐ消去されるデータ	読み取ったファクス原稿

※ただし、停電前に連続1週間以上、電源が入った状態にしておく必要があります。

- 通話中に停電になったときは、親機、子機ともに電話は切れます。
- 留守モード時、メッセージを録音中に停電になったときは、録音中の内容は保存されません。

- 停電回復時の動作

停電回復時には、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されます。そのまま放置しておくと、約4分後にリボンカウンタはそのままリボンを巻き取り、待機状態に戻ります。

準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

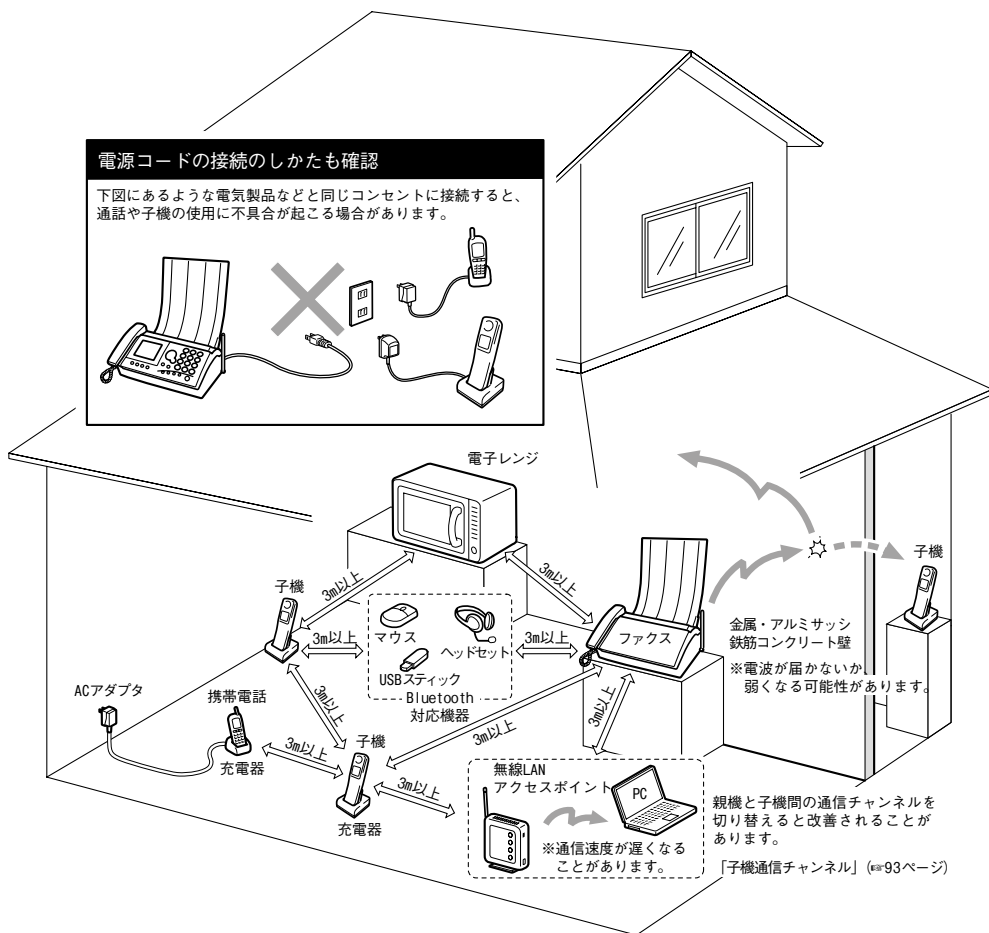
こんなときには
第9章

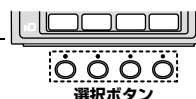
付録
第10章

通話がうまくいかないときは

通話や子機の使用に影響を及ぼす可能性のある環境

親機や子機の近くに微弱な電波を発する電気製品がある場合は、通話や子機の使用に影響を受けることがあります。通話状況が良くないときは、以下の環境をご確認ください。





を選択するときには
下部の選択ボタンを
押してください。

特別設定について

使用状況に応じて以下の設定をしてください。

特別回線対応

ファクスがうまく送受信できないときや電話が使えないときなどに使用している回線を設定します。
お買い上げ時は、「一般」に設定されています。

ISDN 回線のとき	ISDN 回線を使用しているときに設定する
機能 0 わ 1 あ 押す ▶ で「ISDN」を選ぶ ▶ 確定 押す ▶ 停止 押す	
構内交換機 (PBX) のとき	構内交換機 (PBX) を使用しているときに設定する
機能 0 わ 1 あ 押す ▶ で「PBX」を選ぶ ▶ 確定 押す ▶ 停止 押す	
注意 「PBX」に設定すると自動的にナンバー・ディスプレイの設定が「なし」になります。 ナンバー・ディスプレイの設定を再度「あり」にするときは、特別回線対応の設定を「一般」にしてください。	
初期設定に戻すとき	初期状態「一般」に戻すときに設定する
機能 0 わ 1 あ 押す ▶ で「一般」を選ぶ ▶ 確定 押す ▶ 停止 押す	

通話音質調整

三者通話または外線通話中に相手の声が聞こえにくかったり、スピーカーホン通話で自分の声が響いたりするときは、通話音質調整を設定することにより改善されることがあります。

親機は「設定1」から「設定2」、子機は「設定1」から「設定4」の順にお試ください。親機で設定します。
お買い上げ時は、「設定1」に設定されています。

子機の音質を調整するとき	
機能 0 わ 2 か 押す ▶ で「子機通話調整」を選ぶ ▶ で「設定1」から「設定4」を選ぶ ▶ 確定 押す ▶ 停止 押す ▶	「受けつけました」と表示されたあと、 全ての子機のバッテリーコネクタを 抜き差しする (P.78ページ)
親機の音質を調整するとき	
機能 0 わ 2 か 押す ▶ で「親機通話調整」を選ぶ ▶ で「設定2」を選ぶ ▶ 確定 押す ▶ 停止 押す ▶	「受けつけました」と表示されたあと、 全ての子機のバッテリーコネクタを 抜き差しする (P.78ページ)

準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

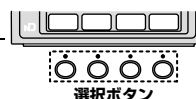
留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときは
第9章

付録
第10章



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

特別設定について

安心通信モード

通信エラーの発生しやすい回線にファクスをより確実に通信したいときに設定します。
「する」に設定すると通信できる可能性が高くなりますが、通常の通信時間に比べて多少時間がかかります。
お買い上げ時は、「しない」に設定されています。

設定するとき	安心通信モードを設定する
機能 0 _わ 3 _さ D 押す ▶ 地球儀で「する」を選ぶ ▶ 確定 押す ▶ 停止 押す	
解除するとき	安心通信モードを解除する
機能 0 _わ 3 _さ D 押す ▶ 地球儀で「しない」を選ぶ ▶ 確定 押す ▶ 停止 押す	

ダイヤルトーン設定

ファクス送信時に「おかけになった番号は現在使われておりません」などのメッセージが流れて正しく自動送信できない場合は、「する」に設定します。
お買い上げ時は、「しない」に設定されています。

設定するとき	ダイヤルトーンを設定する
機能 0 _わ 4 _た G 押す ▶ 地球儀で「する」を選ぶ ▶ 確定 押す ▶ 停止 押す	
注意 ⚡	
接続環境によって送信できない場合は、「しない」に設定してください。	
解除するとき	ダイヤルトーン設定を解除する
機能 0 _わ 4 _た G 押す ▶ 地球儀で「しない」を選ぶ ▶ 確定 押す ▶ 停止 押す	

子機通信チャンネル（親機）

使用環境によって無線LANの通信速度が低下する場合や通話状況がよくないときなどに設定します。親機と子機間の通信チャンネルを切り替えると改善されることがあります。親機で設定します。
お買い上げ時は、「設定3」に設定されています。

「設定 1」に設定するとき	
機能 0 _わ 5 _な J 押す ▶ 地球儀で「設定1」を選ぶ ▶ 確定 押す ▶ 停止 押す ▶ 「受けつけました」と表示されたあと、全ての子機のバッテリーコネクタを抜き差しする（P.78ページ）	

注意 ⚡

- 子機の日付と時刻はお買い上げ時の状態になりますので、再設定してください。（P.21 ページ）
- お使いになっている全ての子機のバッテリーコネクタを抜き差ししてください。

通話パワー（子機）

子機の電波状況がよくないときに設定します。子機で設定します。
お買い上げ時は、「ヒヨッ」に設定されています。

第10章
付録

注意

通話パワーを「弱」に設定すると音質の劣化を少なくし、通話品質が改善されることがあります。連続通話時間が約5時間（「弱」時の約7割）になることがあります。

子機増設モード

注意 _____

別売りの増設子機を増設するときに必要な設定です。増設設定後、増設子機として使用することができます。子機を増設しないとき、子機のディスプレイに「**おかけ付け子機**」と表示されたときは、**切**を押してください。すぐに**切**を押さないと「**おかけ付け子機**」が2分間表示されて増設されずメニュー画面に戻ります。

- 増設子機は別売りです。本機または子機をお買い上げの販売店またはご注文シート（[P.108ページ](#)）でお求めください。
- 増設できる子機は、親機に付属の子機を含めて4台です。
- 登録方法は増設子機（別売り）の取扱説明書をご覧ください。

文字の入れかた（親機）

発信元登録、電話帳の登録、各種コメントでは、ダイアルボタンを使って文字を入力します。親機で入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字、記号です。

入力できる文字と入力制限

■ 入力できる文字（文字列一覧表）

ボタン	ひらがな	カタカナ	英字	数字
① ^a	あいうえおあいうえお	アイウエオアイウエオ	—	1
② ^{かA}	かきくけこ	カキクケコ	abcABC	2
③ ^{さD}	さしすせそ	サシスセソ	defDEF	3
④ ^{たG}	たちつてとっ	タチツテトツ	ghiGHI	4
⑤ ^{なJ}	なにぬねの	ナニヌネノ	jklIJKL	5
⑥ ^{はM}	はひふへほ	ハヒフヘホ	mnoMNO	6
⑦ ^{まP}	まみむめも	マミムメモ	pqrPQRS	7
⑧ ^{やT}	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	tuvTUV	8
⑨ ^{らW}	らりるれろ	ラリルレロ	wxyzWXYZ	9
⑩ ^{わ・}	わをん、。－（スペース）	ワヲン、。－（スペース）	（半角スペース）	0
✕ [＊]	＊	＊	—	＊
# ^{記号}	記号表		~/_,:@;!?"#\$%&'()*+<>= [] ^`¥{ }	#

〈記号表〉		◀▶	
▲ ◀▶ ▼	1) . , ' : ; ? ! * ° ´ ˘ ˆ ˇ ˉ _ ○	※「ひらがな」「カタカナ」入力時に (#) を押して ◀▶ で選択し、 確定 で 決定する	
	2) — — / \ ~ ‘ ’ “ ”		
	3) () [] { } < > 《 》 「 」 『 』 【 】		
	4) + - ± × ÷ = ≠ < > ≤ ≥ ∞		
	5) ∴ ♂ ♀ ° ´ ˘ ˆ ˇ °C ¥ \$ € £ %		
	6) # & * @ § ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆		
	7) □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓		
	8) ⇒ ⇄ ≡ ÷ ≪ ≫ √ # b ♪		

■ 入力できる文字の種類や文字数

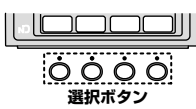
項目	ひらがな・漢字	全角 カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数	
				全角	半角
電話番号・ファクス番号	×	×	○（＊１）	×	20
読み仮名	×	○（半角）	○	×	16
名前（＊２）	○	○	○	10	20

1：電話番号入力時は、0～9、「」、「#」、ポーズ（約3秒間の待ち時間）のみ入力できます。

発信元登録の電話番号・ファクス番号入力時には、0～9、先頭に「+」（※）で入力）のみ入力してください。

ポーズはで入力します。入力したポーズはディスプレイに「p」で表示されます。

*2：発信元登録では、半角32文字（全角16文字）まで入力できます。



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

入力画面とボタン操作

本機では下記のような画面で文字を入力します。

④発信元登録

FAX :

TEL :

名前 :

ダイヤルボタンで入力してください

戻る 文字削除 確定

- 入力する項目や内容を表示します。
 - ・ 電話番号、ファクス番号などの数字入力時は、入力域に直接入力します。(直接入力)
 - ・ 名前などの入力時は、**[入力]**を押してから文字を入力します。(変換入力)
- 入力の操作方法が表示されます。
- 選択できる操作が表示されます。

例) **[かな]** : 入力できる文字の種類を切り替えます。(文字切替)
(**[かな]** → **[カナ]** → **[英]** → **[数]** → **[かな]** …)

[変換] : ひらがなを漢字に変換します。

[入力] : 文字入力モードに入ります。

[文字削除] : 選択している文字を削除します。(選択位置より右に文字がないときは、1つ手前の文字を削除します。)

[確定] : 入力した文字を確定させます。

入力例

■ 入力例 1 : 電話帳の名前に『BRO) ブラザー太郎』と入力する。

[入力] **[英]** **(2nd)** × 5回 **(7th)** × 7回 **(6th)** × 6回 **(#^{8th})** × 18回 **[確定]**

「英」を表示 **B** **R** **O** **)**

[かな] **(6th)** × 3回 **(*)** × 1回 **(9th)** × 1回 **(3rd)** × 1回 **(*)** × 1回 **(0th)** × 6回 **[かな]**

スペース「カナ」を表示 **ブ** **ラ** **ザ** **ー** 「かな」を表示

(4th) × 1回 **(9th)** × 5回 **(1st)** × 3回

た **ろ** **う**

[変換]

太郎 足ろう たろう (画面に変換候補が表示されます)

[左矢印] で変換したい文字を選び **[確定]** を押す

■ 入力例 2

● 文字を修正する	[左矢印] を押して■(カーソル)を移動させ、文字を削除して入力し直す
● 文字の種類を切り替える	[かな] (文字切替)を押す (かな→カナ→英→数→かな…)
● スペースを入れる	(0th) を7回押す、または [右矢印] を押して■(カーソル)を右に移動させる
● 記号を入力する	「英」のときは (#^{8th}) を押して記号を選び [確定] を押して入力する 「かな」「カナ」のときは、 (#^{8th}) を押して [上下矢印] で記号を選び、 [確定] を押して入力する
● 同じボタンで続けて文字を入力する	[右矢印] を押して■(カーソル)を1文字分移動させて入力する
● 漢字の変換候補を選ぶ	[左矢印] で変換候補を切り替える
● 文字を削除する	[左矢印] を押して消去したい文字まで■(カーソル)を移動し、 [文字削除] を押す

準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときは
第9章

付録
第10章

文字の入れかた（子機）

電話帳の登録など、ダイヤルボタンを使って入力します。
子機で入力できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。

入力できる文字と入力制限

■ 入力できる文字（文字列一覧表）

ボタン	カタカナ	英・数字
① ^ア	アイウエオアイウエオ	1
② ^{カ ABC}	カキクケコ	a b c A B C 2
③ ^{サ DEF}	サシスセソ	d e f D E F 3
④ ^{タ GHI}	タチツテトッ	g h i G H I 4
⑤ ^{ナ JKL}	ナニヌネノ	j k l J K L 5
⑥ ^{ハ MNO}	ハヒフヘホ	m n o M N O 6
⑦ ^{マ PQRS}	マミムメモ	p q r s P Q R S 7
⑧ ^{ヤ TUV}	ヤユヨヤユヨ	t u v T U V 8
⑨ ^{ワ WXYZ}	ラリルレロ	w x y z W X Y Z 9
⑩ ^{ワ 〃}	ワヲン * ° 、 。 -	0
* ^{メモ ホーン}	- / . (スペース) ! " # \$ % & ' () * + ,	
# ^{メモ 2}	_ : @ ; < = > ? [] ^	

■ 入力できる文字の種類や文字数

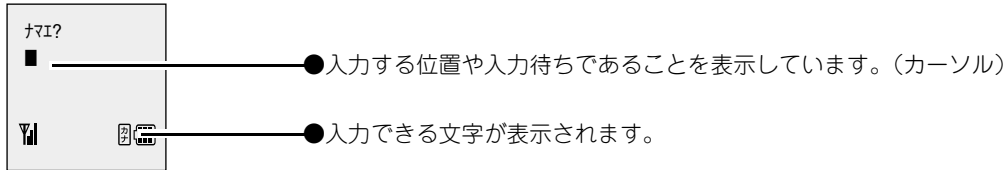
項目		カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話帳	電話番号	×	○（*1）	20文字
	名前	○	○	11文字

1：0～9、「」、「#」、ポーズ（約3秒間の待ち時間）のみ入力できます。

ポーズは^{文字切替/P}で入力します。入力したポーズはディスプレイに「P」で表示されます。

入力画面とボタン操作

本機では下記のような画面で文字を入力します。



例) 文字切替/P : 入力できる文字の種類を切り替えます。

(英 → カ → ナ → 英 ...)

電話番号入力時は、ポーズ(約3秒間の待ち時間)を入力します。

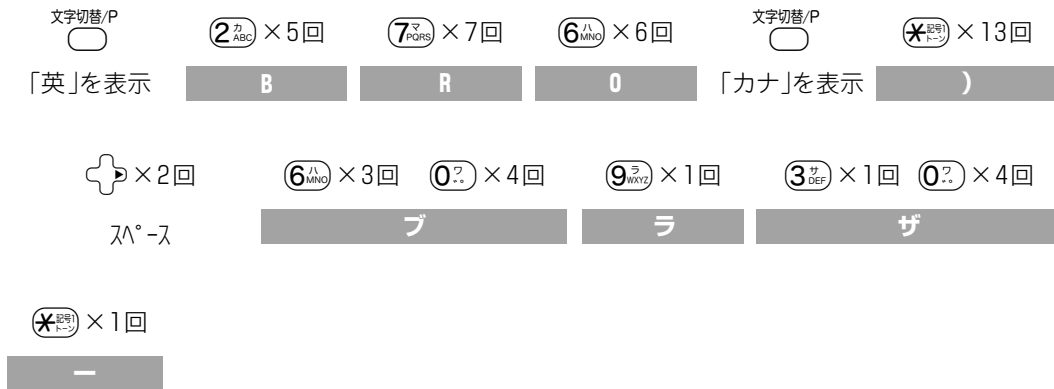
⬅ : ➡ で ■ (カーソル) 位置を移動させます。

クリア : 選択位置の文字を削除します。
(選択位置より右に文字がないときは、1つ手前の文字を削除します)

機能 確定 : 入力した文字を確定させます。

入力例

■ 入力例 1 : 電話帳の名前に『BRO) ブラザー』と入力する。



■ 入力例 2

● 文字を修正する	⬅を押して■(カーソル)を移動させ、文字を削除して入力し直す
● 文字の種類を切り替える	文字切替/Pを押す(英→カナ→英...)
● スペースを入れる	※不明を4回押す、または⬅を2回押す
● 記号を入力する	入力したい記号ボタン(※不明または#)を押して記号を選ぶ
● 同じボタンで続けて文字を入力する	⬅を押して■(カーソル)を1文字分移動させて入力する
● 文字を削除する	⬅を押して消去したい文字まで■(カーソル)を移動し、クリアを押す

準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

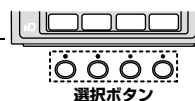
ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときは
第9章

付 録
第10章

ユーザー辞書に登録する（親機）

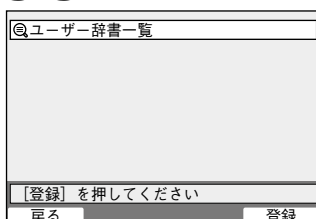


○を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

変換してもすぐに出てこない単語などを登録すると、すばやく入力することができます。

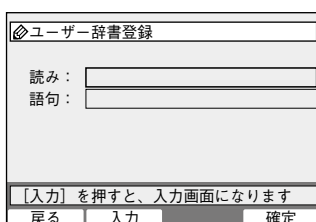
■ 登録する

1 機能 1[※] 6^{はM}を押す



何も登録されていない場合は「登録されていません」と表示されます。

2 登録を押す



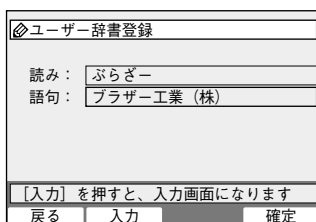
3 入力を押して読みを入力し 確定を押す

- ・全角ひらがなが使用できます。
- ・「文字の入れかた（親機）」（※96ページ）

4 方向キーを押す

5 入力を押して語句を入力し 確定を押す

「文字の入れかた（親機）」（※96ページ）



6 確定を押す

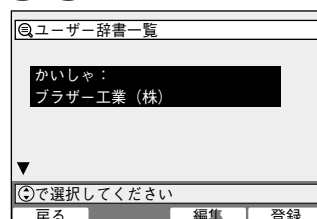
「受けつけました」と表示されます。

7 ○を押す

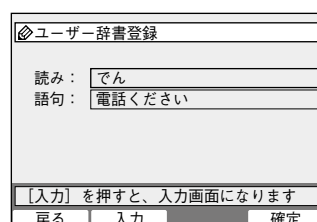
停止

■ 修正する

1 機能 1[※] 6^{はM}を押す



2 方向キーで修正したい語句を選び 編集を押す



「読み」の入力枠が選択されています。

3 以降の操作は、左記「■登録する」の手順3からと同様に操作します。

■ 削除する

1 機能 1[※] 6^{はM}を押す

2 方向キーで削除したい語句を選び 消去/キャッチを押す

3 はいを押す

選択した語句が削除されます。

4 ○を押す

停止

機能一覧（親機）

本機で設定できる機能や設定は次のようになります。
ディスプレイに表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

機能	設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	操作	参照 ページ
初期設定	回線種別設定	電話回線に合わせて回線種別を設定します。	プッシュ回線 ダイヤル10PPS ダイヤル20PPS 自動設定	機能 ① ^あ ① ^あ	10ページ
	日時設定	現在の日付と時刻を登録します。	06年 01月 01日 00時 00分	機能 ① ^あ ② ^{かA}	21ページ
	発信元登録	ファクスに印刷される発信元の名前やファクス番号と送付書に印刷される電話番号を登録します。	—	機能 ① ^あ ③ ^{さD}	22ページ
	ボタン確認音	ボタンを押したときの音量を設定します。	切 小 中 大	機能 ① ^あ ④ ^{たG}	68ページ
	みるだけ受信	ファクスの内容をディスプレイで確認します。	する しない	機能 ① ^あ ⑤ ^{なJ}	45ページ
	ユーザー辞書登録	変換してもすぐに出てこない単語などを登録します。	—	機能 ① ^あ ⑥ ^{はM}	100ページ
	画面のコントラスト	ディスプレイのコントラストを調整します。	1～8（ 5 ）	機能 ① ^あ ⑦ ^{まP}	17ページ
	子機増設モード	増設子機（別売り）のID登録をします。登録後、増設子機が使用できます。	—	機能 ① ^あ ⑧ ^{やT}	95ページ 詳しくは、増設子機（別売り）の取扱説明書をご覧ください。
受信設定	呼出回数	着信してから本機が応答するまでに鳴る呼出回数を設定します。	在宅モード （0～（ 8回 ）～15回／無制限） 留守モード （0～（ 2回 ）～07回／トールセーバー）	機能 ② ^{かA} ① ^あ	25ページ
	再呼出設定	在宅モードのときの受信のしかたや応答のしかたを選択します。	ON （電話呼出（相手にベル／相手にメッセージ）） OFF （ファクス専用）	機能 ② ^{かA} ② ^{かA}	26ページ
	親切受信	ファクスの親切受信を設定します。	する しない	機能 ② ^{かA} ③ ^{さD}	46ページ
	A4自動縮小受信	A4サイズより長い原稿が送られてきたとき、自動的に縮小する／しないを設定します。	する しない	機能 ② ^{かA} ④ ^{たG}	46ページ



操作を途中で中止するときは、○を押します。

準備する
第1章ご使用の前に
第2章電 話
第3章ファクス
第4章コ ピー
第5章留守番機能
第6章ナンバーディスプレイ
第7章活用する
第8章こんなときは
第9章付 録
第10章

機能一覧（親機）

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	操作	参照 ページ
送信設定	送付書付き送信	ファクスを送信するとき、「送付書」を付ける／付けないを設定します。	今回のみ付ける 今回のみ付けない いつも付ける いつも付けない	機能 3 _D 1 _A	42ページ
	送付書コメント登録	「送付書」に記載するコメントを作成します。(2種類のオリジナルコメントを登録できます。)	—	機能 3 _D 2 _A	43ページ
	原稿濃度	原稿の文字の濃さに合わせた調整をします。	濃く 普通 薄く	機能 3 _D 3 _D	48ページ
	海外送信モード	海外にファクスを送信するときを設定します。	する しない	機能 3 _D 4 _G	41ページ
待機一覧		送信の設定を解除します。	—	機能 4 _G	41ページ
リスト出力	送信レポート	ファクス送信後に送信結果を印刷するための設定をします。	出力する エラーのみ出力 出力しない	機能 5 _J 1 _A	71ページ
	通信管理レポート	最新の通信結果を印刷します。(送信、受信合わせて30件です。)	出力しない 6/12/24時間ごと、2日ごと、1週間ごと、30件ごと	機能 5 _J 2 _A	70ページ
	電話帳リスト	電話帳に登録した内容を50音順に印刷します。	—	機能 5 _J 3 _D	71ページ
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	—	機能 5 _J 4 _G	71ページ
	メモリー使用状況リスト	使用可能なメモリー量など、メモリーの使用状況を印刷します。	—	機能 5 _J 5 _J	71ページ
	ご注文シート	リボンカートリッジなどの消耗品を注文する、「ご注文シート」を印刷します。	—	機能 5 _J 6 _M	71ページ
	一括送信レポート	一括送信後に送信結果を印刷するための設定をします。	出力する エラーのみ出力	機能 5 _J 7 _P	71ページ
留守設定	応答メッセージ	留守応答メッセージ（留守応答1、留守応答2）、在宅応答メッセージ（在宅応答）の録音／再生／消去をします。	留守応答1 留守応答2 在宅応答	機能 6 _M 1 _A	52ページ
	メッセージ録音時間	1件の音声メッセージの最長録音時間を設定します。	30秒 60秒 120秒 180秒	機能 6 _M 2 _A	53ページ
	留守録モニター	留守録メモリーに録音中の相手の声が、スピーカーから聞こえる／聞こえないを設定します。	する しない	機能 6 _M 3 _D	53ページ
	暗証番号設定	外出先から本機を操作するための暗証番号を設定します。	暗証番号: ---*	機能 6 _M 4 _G	54ページ
	ファクス／留守録転送	メッセージを受信したとき、「ファクス転送」や「留守録転送」をするための設定をします。	しない ファクス 留守録	機能 6 _M 5 _J	56、57ページ



操作を途中で中止するときは、○を押します。

停止

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	操作	参照 ページ
メロディ／ボイス設定	着信音	着信音の鳴りかたを設定します。	ベル1～4 着信ボイス1～12 楽しいメロディ1～5 癒しのメロディ1～15 季節のメロディ1～12 目覚ましボイス1～6	機能 7 _マ ^プ 1 ^あ	65ページ
	保留メロディ	保留音の鳴りかたを設定します。	メロディ 1～32 花のワルツ	機能 7 _マ ^プ 2 ^か _A	66ページ
	モーニングアラーム	モーニングアラームの鳴りかたと時刻を設定します。	アラーム1 アラーム2 アラーム3	機能 7 _マ ^プ 3 ^さ _D	69ページ
ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイ	NTTのナンバー・ディスプレイを使用する／しないを設定します。	あり なし	機能 8 _ヤ ^ト 1 ^あ	59ページ
	着信鳴り分け設定	電話帳に登録した電話番号ごとに、着信先や着信音を設定します。また、かかってきた電話番号が非通知の場合の着信音を設定することができます。	電話／ファクス／迷惑指定 着信音：ベル1～4／ メロディ 1～32／ ボイス1～18	機能 8 _ヤ ^ト 2 ^か _A	60ページ
	非通知着信拒否	電話番号非通知の相手先からの着信を拒否します。	する しない	機能 8 _ヤ ^ト 3 ^さ _D	61ページ
	公衆電話拒否	公衆電話からの着信を拒否します。	する しない	機能 8 _ヤ ^ト 4 ^た _G	61ページ
	着信拒否モニター	着信拒否メッセージを再生するとき、スピーカーから聞こえる／聞こえないを設定します。	する しない	機能 8 _ヤ ^ト 5 ^な _J	61ページ
	キャッチホンディスプレイ	NTTのキャッチホン・ディスプレイを使用する／しないを設定します。	あり なし	機能 8 _ヤ ^ト 6 ^は _M	59ページ
	着信履歴消去	着信履歴の内容をすべて消去します。	—	機能 8 _ヤ ^ト 7 _マ ^プ	63ページ
その他	特別回線対応	ファクスがうまく送受信できないときや電話が使えないときなどに使用している回線を特定し、設定します。	一般 ISDN PBX	機能 0 ^わ _ハ 1 ^あ	93ページ
	通話音質調整	相手の声が聞こえにくかったり、自分の声が響いたりするときに設定します。	子機通話調整 (設定1／設定2／ 設定3／設定4) 親機通話調整 (設定1／設定2)	機能 0 ^わ _ハ 2 ^か _A	93ページ
	安心通信モード	通信エラーの発生しやすい回線にファクスをより確実に通信したいときに設定します。	する しない	機能 0 ^わ _ハ 3 ^さ _D	94ページ
	ダイヤルトーン設定	ファクス通信時に、より早く確実にダイヤルしたいときに設定します。	する しない	機能 0 ^つ _ハ 4 ^た _G	94ページ
	子機通信チャネル	使用環境によって、無線LANの通信速度が低下する場合や通話状況がよくないときなどに設定します。	設定1 設定2 設定3	機能 0 ^つ _ハ 5 ^な _J	94ページ
	ケータイ通話お得サービス	携帯電話に電話をかけるとき、携帯電話番号の前に事業者識別番号を付けて発信するように設定します。	する (0033) しない	機能 0 ^つ _ハ 6 ^は _M	27ページ
	事業者識別番号	「0033」(NTTコミュニケーションズ) 以外のサービスをご利用のとき事業者識別番号を変更します。	0033	機能 0 ^つ _ハ 7 _マ ^プ	28ページ
	個人情報消去	お客さまの情報を消去します。	—	機能 0 ^わ _ハ 8 _ヤ ^ト	105ページ
	機能設定初期化	お買い上げいただいたときの状態に戻します。	—	機能 0 ^わ _ハ 9 ^さ _W	106ページ



操作を途中で中止するときは、○を押します。

停止

準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときは
第9章

付録
第10章

機能一覧（子機）

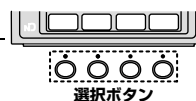
機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	操作	参照 ページ
ダイヤル登録	電話帳登録	電話帳に電話番号や相手の名前を登録します。	(全100件)	 ⇒  ⇒ 	38ページ
	電話帳変更	電話帳に登録した電話番号や相手の名前を変更します。	—	 ⇒  ⇒  ⇒ 	39ページ
鳴動音設定	着信音選択	着信音を選択します。	ベル アヴェ・マリア オオキナフルドケイ	 ⇒  ⇒  ⇒ 	65ページ
	着信鳴り分け	電話帳に登録した電話番号の着信音を設定します。	ガボット キラキラボン シキヨリ [ハル] ハナノワルツ	 ⇒  ⇒  ⇒  ⇒ 	60ページ
	ボタン確認音	ボタンを押したときの音を設定します。	ON OFF	 ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒ 	68ページ
発信履歴	一件消去	発信履歴の内容を一件消去します。	—	 ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒ 	64ページ
	全件消去	発信履歴の内容をすべて消去します。	—	 ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒ 	64ページ
	電話帳登録	発信履歴から電話帳に登録をします。	—	 ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒ 	39ページ
着信履歴	一件消去	着信履歴の内容を一件消去します。	—	 ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒ 	63ページ
	全件消去	着信履歴の内容をすべて消去します。	—	 ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒ 	63ページ
	電話帳登録	着信履歴から電話帳に登録をします。	—	 ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒  ⇒ 	39ページ
画面のコントラスト	—	ディスプレイのコントラストを設定します。	1～7 (4)	 ⇒  ⇒ 	19ページ
時計設定	—	現在の日付と時刻を登録します。	—	 ⇒  ⇒ 	21ページ
通話パワー	—	子機の電波環境の悪いときに設定します。	ヒョウジュン ツヨイ	 ⇒  ⇒ 	95ページ
子機増設	—	増設子機（別売り）のID登録をします。登録後増設子機が使用できます。	—	 ⇒  ⇒ 	95ページ 詳しくは、増設子機（別売り）の取扱説明書をご覧ください。
子機ライト	—	子機のバックライトを点灯させたままの状態にします。	—	 2秒以上押す	19ページ

注意

通話パワーを「ツヨイ」に設定したときは、連続通話時間が約5時間（「ヒョウジュン」時の約7割）になることがあります。

メモ

操作を途中で中止するときは、を押します。



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

初期状態に戻す（親機）

登録した内容をお買い上げいただいたときの状態に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。

注意

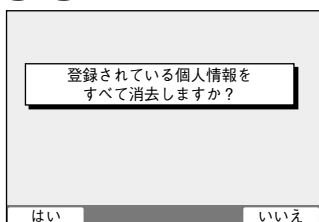
- 初期状態に戻してしまうと、設定・電話帳などの内容は戻せませんのでご注意ください。
- 電話帳に登録されている電話番号は印刷して保存してください。「電話帳リストを印刷する」(P.71ページ)
- データを消去すると受信したファクスの内容がすべて消去されます。消去する前に印刷して保存してください。「受信したファクスをディスプレイで見る（みるだけ受信）・印刷する」(P.45ページ)
- 音声メッセージを消去するとき、新しく録音されたメッセージも含めすべて消去されます。消去する前にメッセージの内容を確認してください。「音声メッセージがあるとき」(P.51ページ)
- 子機に登録された内容の消去は子機ごとに行ってください。消去する前に電話帳などの内容はメモをとるなどしてください。

個人情報消去する

操作をおこなうと次の内容を一度にすべて消去することができます。

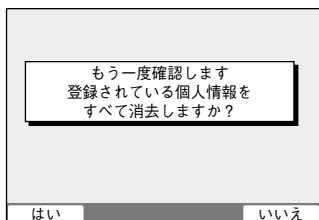
- お客様の名前・電話番号「名前とファクス番号を登録する（発信元登録）」(P.22ページ)
- 電話帳の内容「電話帳の登録」(P.37ページ)
- 発信履歴（再ダイヤル機能）の内容「発信履歴を利用する」(P.64ページ)
- 留守録転送先の内容と転送設定解除「留守録転送」(P.56ページ)
- ファクス転送先の内容と転送設定解除「ファクス転送」(P.57ページ)
- 暗証番号「暗証番号の設定」(P.54ページ)
- 送付書のコメント「コメントを登録する」(P.43ページ)
- メモリー送信ファクスの内容「メモリー送信」(P.41ページ)
- 本機が再ダイヤルする相手先の内容「ファクスを送る（自動送信）」(P.40ページ)
- 一括に送信する相手先の内容「一括送信」(P.41ページ)
- メモリー受信ファクスの内容「受信したファクスをディスプレイで見る（みるだけ受信）・印刷する」(P.45ページ)
- 音声メッセージの内容「音声メッセージがあるとき」(P.51ページ)
- 着信鳴り分けの内容「着信鳴り分けを設定する」(P.60ページ)
- 着信履歴の内容「着信履歴を利用する」(P.63ページ)
- ユーザー辞書の内容「ユーザー辞書に登録する（親機）」(P.100ページ)
- 通信管理レポート「通信管理レポート」(P.70ページ)

1 機能 0 (8) を押す



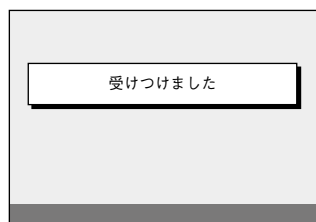
2 はいを押す

確認メッセージが表示されます。



3 はいを押す

「受けつけました」と約2秒間表示されたあと、「しばらくお待ちください」と表示されます。



個人情報が消去されたあと、待ち受け画面に戻ります。

準備する
第1章ご使用の前に
第2章電話
第3章ファクス
第4章コピー
第5章留守番機能
第6章ナンバーディスプレイ
第7章活用する
第8章こんなときは
第9章付録
第10章

初期状態に戻す（親機）



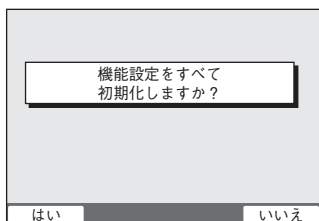
□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

機能設定をもとに戻す

操作をおこなうと次の設定を一度にすべてお買い上げ時の状態に戻すことができます。

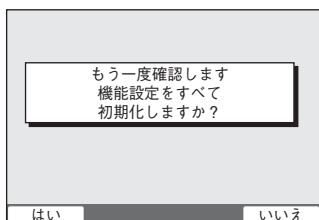
- 回線種別の設定「自動で回線種別を設定する」(P.10ページ)、「手動で回線種別を設定する」(P.10ページ)
- 現在の日付と時刻「現在の日付・時刻を設定する」(P.21ページ)
- モーニングアラーム「モーニングアラームを設定する（親機）」(P.69ページ)
- 「メモリー送信」(P.41ページ)、「一括送信」(P.41ページ)などの通信待ちデータ。

1 機能 0 9 を押す



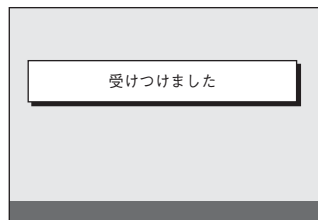
2 はい を押す

確認メッセージが表示されます。



3 はい を押す

「受けつけました」と約2秒間表示されたあと、「しばらくお待ちください」と表示されます。



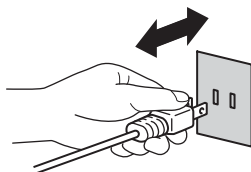
設定した機能が消去されて、お買い上げ時の状態に戻ります。

親機を強制リセットする（修理を依頼される前に）

本機に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動しているおそれがあります。

- ディスプレイが正しく表示されない
- ボタンが操作できない
- 電話帳リストなどが正しく印刷されない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起こる
- その他、正しく動作しない

このようなときは、電源コードを抜いて電源をOFFにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これだけでも、改善される場合があります。



強制リセットをしても、不具合が改善されないときは「お客様相談窓口（コールセンター）：☎ 0120-161-170」へご連絡ください。

消耗品などのご注文について

- 消耗品はお近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、当社にてインターネット、電話、ファクスによるご注文も承っております。
- ファクスにてご注文される場合はご注文シートにご記入の上、お申し込みください。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が5,000円以上の場合は全国無料です。
5,000円未満の場合は500円の配送料をいただきます。(代引き手数料は全国一律無料)
- 納期については土・日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- 配送地域は日本国内に限らせていただきます。

<代引き> . . . ご注文後 2 ～ 3 営業日後の商品発送

※ 配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。

<お振込（銀行・郵便）> . . . ご入金確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送

※ 代金は先払いとなります。(銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振り込みください。)

※ 振込手数料はお客様負担となります。

<クレジットカード> . . . カード番号確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送

ご注文先

ブラザー販売（株）

インターネット：

ファクス：

電話：

振込先：

情報機器事業部ダイレクトクラブ

<http://direct.brother.co.jp>

052 - 825 - 0311

☎ 0120 - 118 - 825 (土・日・祝日、長期休暇を除く 9時～12時、13時～17時)

口座名義：ブラザー販売株式会社

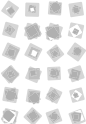
銀行：三井住友銀行 上野津（カミマエツ）支店 普通 6428357

郵便：振り込み番号 00860 - 1 - 27600

■ ご注文シート

本機から印刷することができます。「ご注文シートを印刷する」(P.71ページ)

ご注文シート			
ブラザー販売（株） 情報機器事業部ダイレクトクラブ 行 FAX X 052-825-0311 (TEL: 0120-118-825)			
(お客様ご住所)			
(お名前)		(TEL)	(FAX)
(お支払い方法) 1) 銀行前振込 2) 郵便前振込 3) 代引き 4) クレジットカード			
(カード種類) 1) VISA 2) JCB 3) UC 4) DINERS 5) CF 6) Master 7) JACCS			
(カード名義人名)		(有効期限)	年 月
(カードNo.)			
品名	単価(税込) (※2)	ご注文数	金額(税込)
リポカードリッジ (カセットリボン) PC-551 (※1)	x1個 1,365円		
増設子機 (カナ表示) BCL-030	16,800円		
子機用バッテリー BCL-B130	1,680円		
(※1) リボンの長さはA4サイズ約128枚分です。 (※2) 消費税改定に伴い、単価が変わる可能性があります。 消費税：2006年5月現在 (※3) 配送料は変わる可能性があります。 ※お振込みの場合は、ご入金確認後の商品発送となります。		小計	
振込先：口座名義：ブラザー販売株式会社 銀行：三井住友銀行 上野津（カミマエツ）支店 普通 6428357 郵便 振込番号 00860-1-27600		配送料 (※3) (どちらかに○を付けて下さい) ●小計が5,000円以上→ 0円 ●小計が5,000円未満→ 500円 合計 (小計+配送料)	
ブラザーファクスをご愛用頂きありがとうございます。 インターネットのブラザーダイレクトクラブのサイト からも消耗品をご注文いただけます。 ぜひ一度下記URLをご覧ください。 (URL) http://direct.brother.co.jp			



リモコンアクセスカード

外出先から本機を操作する場合「リモコンアクセス」(54ページ)、下記の「リモコンアクセスカード」を切り取ってお持ちいただくと便利です。

<キトリ線>

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。

2. 応答メッセージが再生されたら、**(#)**、**(*)**、暗証番号を入力します。

3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは〇〇件です」というガイダンスが聞こえます。

そのあと、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。

4. リモコンコードを入力します。

5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

暗 証 番 号

○ ○ ○ *

あなたの暗証番号を
記入してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえますので、もう1度やり直してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。

2. 応答メッセージが再生されたら、**(#)**、**(*)**、暗証番号を入力します。

3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは〇〇件です」というガイダンスが聞こえます。

そのあと、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。

4. リモコンコードを入力します。

5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

暗 証 番 号

○ ○ ○ *

あなたの暗証番号を
記入してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえますので、もう1度やり直してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。

2. 応答メッセージが再生されたら、**(#)**、**(*)**、暗証番号を入力します。

3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは〇〇件です」というガイダンスが聞こえます。

そのあと、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。

4. リモコンコードを入力します。

5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

暗 証 番 号

○ ○ ○ *

あなたの暗証番号を
記入してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえますので、もう1度やり直してください。

準備する
第1章

ご使用する
前に
第2章

電
話
第3章

フ
ァ
ク
ス
第4章

コ
ピ
ー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

活用する
第8章

こんなときは
第9章

付
録
第10章

109

リモコンアクセスカード

<キリトリ線>

リモコンコード

操作内容	ボタン操作	操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91	みただけ受信の 設定	する しない
戻し	再生中に 1	ファクスの取り出し	962+ダイヤル 入力+##
送り	2		
中止	9		
音声メッセージを消去(※1)	93	受信状況の チェック(※2)	ファクス 音声メッセージ
留守録転送、ファクス 転送の設定変更	951 ファクス転送	受信モードの 変更	留守 在宅
ファクス転送番号の 登録・変更	952(※3) 954+転送番号 入力+##	終了	981 982 90

※1: 「ビビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。

※2: 「ビー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ビビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

※3: 転送番号が登録されていないときは、転送機能を「ON」にすることはできません。

リモコンコード

操作内容	ボタン操作	操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91	みただけ受信の 設定	する しない
戻し	再生中に 1	ファクスの取り出し	962+ダイヤル 入力+##
送り	2		
中止	9		
音声メッセージを消去(※1)	93	受信状況の チェック(※2)	ファクス 音声メッセージ
留守録転送、ファクス 転送の設定変更	951 ファクス転送	受信モードの 変更	留守 在宅
ファクス転送番号の 登録・変更	952(※3) 954+転送番号 入力+##	終了	981 982 90

※1: 「ビビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。

※2: 「ビー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ビビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

※3: 転送番号が登録されていないときは、転送機能を「ON」にすることはできません。

リモコンコード

操作内容	ボタン操作	操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91	みただけ受信の 設定	する しない
戻し	再生中に 1	ファクスの取り出し	962+ダイヤル 入力+##
送り	2		
中止	9		
音声メッセージを消去(※1)	93	受信状況の チェック(※2)	ファクス 音声メッセージ
留守録転送、ファクス 転送の設定変更	951 ファクス転送	受信モードの 変更	留守 在宅
ファクス転送番号の 登録・変更	952(※3) 954+転送番号 入力+##	終了	981 982 90

※1: 「ビビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。

※2: 「ビー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ビビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

※3: 転送番号が登録されていないときは、転送機能を「ON」にすることはできません。

索引

A

A4自動縮小受信	46
ADSL回線	13
IP電話解除番号（加入電話選択番号）	28
ISDN回線	13
PHONE（TEL）端子	13

あ

暗証番号の消去	54
暗証番号の設定	54
安心通信モード	94
アンテナ	15
一括送信	41
一括送信レポートの設定	71
エラーメッセージ	79
応答メッセージ	52
お手入れのしかた	72
親機を強制リセットする	106
音量の設定	
受話音量	68
スピーカー音量	68
着信音量	68
ボタン確認音量	68

か

海外送信	41
外観図	
外観図（親機）	15
外観図（子機）	19
回線種別	10
回線接続端子	15
拡大／縮小コピー	47
画質の調整	48
加入電話選択番号（IP電話解除番号）	9
機能案内リスト	71
機能一覧	
機能一覧（親機）	101
機能一覧（子機）	104
機能設定をもとに戻す	106
キャッチホン	31
キャッチホン・ディスプレイ	59
記録紙	
記録紙	49
記録紙がしまったときは	75
記録紙挿入口	15
記録紙トレイ	15
記録紙のセット	11
記録紙排出口	15
ケータイ通話お得サービス	
ケータイ通話お得サービスとは	27
ケータイ通話お得サービスの設定	28
事業者識別番号を変更する	28
原稿	
原稿ガイド	15
原稿がしまったときは	74
原稿カバー	15
原稿挿入口	15
原稿のサイズと紙厚	49
原稿のセット	40
原稿の読み取り範囲	49

原稿排出口	15
使用できない原稿	49
交換	
子機のバッテリー交換	78
リボンカートリッジの交換	76
公衆電話拒否	61
構内交換機（PBX）	14
子機増設モード	95
子機通信チャンネル設定（親機）	94
子機ライト	19
故障	83
個人情報を消去する	105
ご注文シート	71, 108
コピー	47
コントラスト（親機）	17
コントラスト（子機）	19

さ

再ダイヤル機能	30
再呼び出し設定	26
三者通話（トリプル通話）	36
事業者識別番号	27, 28
自動縮小受信	46
充電	
子機の充電	12
充電端子	19, 72
充電表示ランプ	19
受信したファックスをディスプレイで見る（みるだけ受信）・印刷する	45
受話音量	68
受話器	
受話器	15
受話器コード	15
受話器接続端子	15
仕様	107
初期設定	21
親切受信	46
スピーカー音量	68
スピーカーホン通話	29
清掃	
記録部の清掃	73
原稿読取部の清掃	72
本機の清掃	72
接続	9
設定リスト	71
操作パネル	
操作パネル（親機）	16
操作パネル（子機）	20
送信レポートの設定	71
送付書	
コメント登録	43
送付書送信	42

準備する
第1章ご使用する前に
第2章電話
第3章ファックス
第4章コピー
第5章留守番機能
第6章ナンバーディスプレイ
第7章活用する
第8章こんなときには
第9章付録
第10章

索引

た

待機一覧	41
ダイヤルトーン設定	94
ダストカバー	15
着信	
着信音の設定	65
着信音量	68
着信拒否モニター	61
着信鳴り分け機能	60
着信履歴	63
着信履歴から電話する	30, 63
直収電話サービス	27
著作権	47
通信管理レポート	70
通話	
通話がうまくいかないとき	92
通話の切り替え	31
通話の録音	31
通話音質調整	93
通話パワー(子機)	95
ディスプレイ	
ディスプレイ(親機)	17
ディスプレイ(子機)	19
文字サイズ	18
停電になったとき	91
デモ画面	10
電源コード	15
電話帳	
電話帳の登録	37
電話帳の変更・削除	39
電話帳リスト	71
履歴からの登録	39
電話番号表示機能	58
トールセーバー機能	25
トーン(プッシュ)信号	29
特別回線対応	93
取り次ぐ(電話を取り次ぐ)	32
トリプル通話(三者通話)	36

な

内線	34
内線番号	32
名前表示機能	58
ナンバー・ディスプレイ	58
ネーム・ディスプレイ	62
濃度の調整	48

は

パソコン	13
バックライト(子機)	19
発信元登録(名前とファクス番号を登録する)	22
発信履歴	
発信履歴	64
発信履歴から電話する	30, 64
バッテリー	
子機のバッテリー交換	78
バッテリーカバー	19
充電	12
ピクト(絵文字)	17, 19
ビジネスホン	14

非通知着信拒否	61
日付・時刻設定	21
ファクス	
ファクス転送	57
ファクスを受ける	44
ファクスを送る	40
複数コピー	47
ランチ接続	14
並列接続	14
傍受	8
ポーズ	96, 98
ホームテレホン	14
ボタン確認音量	68
保留	
保留	31
保留音の設定	66

ま

マイク	15
待ち受け画面	17
みるだけ受信	45, 46
迷惑電話防止	58, 61
メッセージ	52
メッセージの録音時間	53
メモリー	
メモリー使用状況リスト	71
メモリー送信	41
メロディ	
メロディー一覧	67
メロディの選びかた	67
モーニングアラーム(親機)	69
文字の入れかた(親機)	96
文字の入れかた(子機)	98

や

ユーザー辞書の登録	100
呼出回数設定	25

ら

リボンカートリッジ	76
リモコン	
リモコンアクセス	54
リモコンアクセスカード	109
リモコンコード表	55
留守	
音声メッセージがあるとき	51
ファクスが届いているとき	51
留守応答メッセージ	53
留守番機能	50
留守録転送	56
留守録モニター	53
レバー	15
レポート	70
録音(通話の録音)	31

お客様相談窓口(コールセンター): ☎ 0120-161-170

本製品の取り扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のお客様相談窓口(コールセンター)にお気軽にお問い合わせください。

受付時間 月曜日～金曜日: 午前9:00～午後8:00
土曜日: 午前9:00～午後5:00

営業日 月曜日～土曜日

(日・祝日および当社(ブラザー販売(株))の休日は休みとさせていただきます。)

ダイレクトクラブにて消耗品のファクス注文受付中!

ファクス番号: 052-825-0311

(ご注文シートは親機から印刷できます。)

本書71ページ、108ページ参照

- ブラザー純正品のリボンカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質保証されます。

brother

467-8561 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1
ブラザー工業株式会社

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はおやめください。現地で各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. **Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.**

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。
- 本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

FAX-360DL/360DW